

# みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

## The Diary of Hisakatsu Hijikata (V)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-02-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 土方, 久功 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15021/00000853">https://doi.org/10.15021/00000853</a>

## 土方久功日記 第27冊

1940年1月1日～10月15日（昭和15年）

### 解説

この第27冊には、昭和15年（1940）1月1日から10月15日までが収められている。しかし、『日記』1月10日に、

「コロール」ノ正月モ酒ヲ飲マサレル位ガ関ノ山ト、Ngheangngal デ正月ヲスル  
心算デ暮ノ二十六日ニちちぶ丸デ Ngerhelong ニ渡ル。

と書かれているように、暮の26日から1月5日まで、久功は、パラオ熱帯生物研究所の研究員達と調査を兼ね、パラオ本島の北32kmにある離島カヤンガル島で年末年始を過ごすために旅行した（ただし、この旅行では、船の故障などのため、カヤンガル島へ渡るのは断念した）。この旅行中のことが、この第27冊に収められている。また、この旅行記は、1月10日以降の『日記』の中に分割されて書かれているので、第27冊の冒頭は、1月6日になっている。

1月26日に着いた笠置丸で赤松俊子（のちの、丸木俊）がパラオに来島し、翌日、役所に久功を訪ねて来た。赤松は、パラオに滞在し、創作活動をしたが、展示できる作品がある程度出来上がったのであろう、3月5日、展覧会開催依頼のため、役所に来て久功と会った。その後、二人はアラカベサンの佐伯清のところへ行く事になった。その日の『日記』には、次のように書かれている。

ソレカラ赤松君、私ノ処デ永イコト話シテ居タガ、真珠養殖場ノ佐伯氏ノ処ニ遊ビ  
ニ行カウト云ヒ出ス。ソレハシャリヤッピンノレコードヲキカウト云フノdeal。三  
時前、一寸興発倶楽部ニ寄り、自動車ヲタノンデ「アラカベサン」ニ行ク。佐伯サン  
ノ処デ蓄音機ヲキキ、コーヒーヲ飲ミ、ソシテ永イコト永イコト、古イパラオノコト  
ナドラ話シ、ソレカラ晚餐マデ馳走ニナッテ、七時半、自動車デ送ラレテ帰ッテ来  
ル。

赤松は、既に佐伯のところを何度か訪れ、親しくなっていたようである。一緒に行った久功は、恐らく佐伯と会うのは初めてであったであろう。しかし、レコードを聴くだけでなく、「ソシテ永イコト永イコト、古イパラオノコトナドラ話シ」たのである。佐伯は、久功のパラオの昔話を大変興味をもって聞いたであろう。文化的教養をもつものが少ないパラオで、久功に会った佐伯は、芸術を愛する者であったから、久功の来訪を歓迎したものと考えられる。これを契機に、久功はしばしば佐伯の家を訪れるようになった。

3月15日から17日まで、昌南倶楽部で赤松俊子の展覧会が開かれた。展覧会の最終日

の17日の日曜日、久功は赤松とともに佐伯の招待を受け、再びアラカベサンを訪れた。その日の『日記』には、次のように書かれている。

六時、紀美水産ノ中村陸男サンカラ迎ヘノ車ガ来タノデ、赤松サント二人デ行ク。佐伯サンノ晴サンモ先キニ来テ居ル、話、蓄音器、トマトチーズノスープト ngdūil ノコキールトダックノ丸アブリト、ポテトトニンゲン、ソレカラキウリトアスバラガスト卵ノ皿、ビールノ夕食、バインアップルトパイトコーヒーノデザート、ソレカラ又話ト歌ト蓄音器ト、笑ヒト親シサト。ソレカラスバラシイ貝ノコレクショントバリノ珍ラシイ彫刻物ト。デ十二時前ニナツテシマフ。

迎ヘノ車デ三人、ミュンスデ清サンガオリ、興発クラブデ赤松サンガオリ、ソシテ十二時少シマハツテ、オ手製ノオミヤゲノパンヲ持ッテ帰ッテクル。パラオデハナカッタ様ナ一夜。

ここから、久功等がどのようなもてなしを受けたかがよくわかる。

3月20日、久功は、赤松俊子、熱帯生物研究所の和田清治とともに、パラオ本島の北にある離島カヤンガル島へ発った。本島北端近くのおコトルで一泊し、三人は、翌21日の昼前、カヤンガル島へ着いた。滞在中の『日記』には、

夜、十時半迄 note ヲ取り、ソレカラ南海岸ニ行ク。和田君ト、四人ノ娘達ト月ノ浜デ十二時頃、歌ッたり、フザケたり、ウカレル。(23日)

夜九時頃カラ南ノ浜ヘ。沢山ノ女達。赤松君ハ汀デ終始踊ヲ習ッテ居ル。十二時前ニ帰ッテ来ルト、三四人ノ女達ガ又家マデツイテ来ル。又休ミ場ニ腰ヲオロシテ一時過ギマデ話シテ居ル。ソナニ惜シイ月。(24日)

などと記され、他では味わえない至福の時を過ごしたことがわかる。

10日間程の滞在であったが、カヤンガル島は、赤松にとっては実に楽しい、印象に残る所であった。赤松は、3か月近くパラオに滞在したのであるが、その著書『女絵かきの誕生』には、カヤンガル島滞在中のことしか書かれていない。長くなるが、赤松の著書からその部分を引用してみよう。

「いよう、オトートルの神様、塩づけになるよ、帰りなさい」

土方さんが呼んでいます。土方さんは俗世間を捨てて南洋に来たのだそうです。もう二、三十年も住んでいるということです。島の人びとの生活、言葉、歴史、伝説、いろいろのことを知っています。日本の美術学校を卒業した彫刻家なのです。島を統治する日本のやり方がひどいと、たいへん憤慨していました。島の人びとからは、やさしい神様としたわられていました。悲しい顔をしてあらわれたわたしを、「人間ざらいになった

んだろ。日本人のいないところへ行こう」と、このカヤンガル島へつれてきてくれたのです。

もう一人の変りものが南海の動物研究に来ていました。目に見えないような小さな動物をつかまえてきては悦に入っています。純粹そのものの若い学者です。この世にあきれてしまった世捨て人たち三人は、小さな船にのってこの島にやってきたのでした。(中略)

一人の男はコンコンと人形を創造します。一人の男は、不思議な動物をとらえてきます。また一人の女は、病気を治します。少しばかり薬を持っていたものですから。庭を掃きにきてくれる青年もいます。わたしは歌を歌い、いっしょに踊って、美しい人間の姿を発見するのです。

「オトートル」

「ウァッ」

わたしは返事をします。島の「ハイ」は「ウァッ」と、かん高い声で叫ぶように言います。

若者たちは海辺へいそぐのです。こげ茶色の娘は、桃色の掌ではおのほつれ毛をかきあげ、若者はレモン色の香花を耳にはさんでいます。すれちがい、もつれあって、なんとなく椰子油の匂いがします。椰子油を塗ると、一層のつやをまし、なまめいてくるのです。黄色い花の粉を顔にはたいて、娘たちは、さんざめいています。わたしもズボンやシャツをぬいで、腰みのをつけました。腰みのはなるべく低くはくものだと島の女は教えます。おへその下が長いほど美人です。

「ずり落ちますよ」

「それならちょっと立ちどまって足で蹴あげてください」

その動作がまたひとしおいいものなんだと言います。おっぱいは三角のピラミッド型がよいのだそうです。けれどわたしは島の娘のように長い足ではないので、美しいポーズが生れてきません。「まったく色が白い」と、その点だけはほめてくれます。(87-89頁)

オトートルとは、島の砂浜にいる、ずんぐりしたむっくりの枕の形に似ている貝の名で、赤松がそれに似ているからオトートルというのだという。カヤンガル島は、人口100人ほどで、久功は、日本人のいないこの島が気に入っていて、しばしば訪れていた。この島で撮った、メカル(Makar)と赤松が、腰蓑だけつけた二人の写真が残っているが、実に楽しそうな雰囲気漂っている。だいたい後年のことになるが、昭和42年(1967)5月6日の丸木美術館開館記念式に出席したとき、久功は赤松俊子との出会いを『日記』(第96冊)に次のように書いている。

マルキ俊子君(赤松俊子君)トノ出合イワ、モオ古イコトニナル。昭和14年、私がサトワル島カラパラオニ出テ来タ年ダツト思ウ。サツソウト、ハツラツト、シヨート・パンツニリユククラシヨツテ、若キ俊子君ガコロールニ乗リコンデ来タノワ。

ソシテ、ドコデモイイ、日本人ノ居ナイ島マデ連レテ行ッテクレト言ウノデ、熱帯生物研究所ノ研究員ダツタ若キ和田清治君ヲ誘ッテ皆デ、カヤンガル島ニ行ッタノダツタ。俊子君ノ喜ビヨオツタラナク、早速島民ノ娘タチト仲ヨクナッテ、歌ト踊（マトマトン）ヲナラッテ、オボエテ帰ッタノダツタ。

また、赤松は、『南洋群島』第6巻第6号（昭和15年6月）に、スケッチと「カヤンガルにて」と題した詩を寄せている。

カヤンガルにて

砂浜の反射か そこいら中が明るい  
銀の光にみちへてゐる とでも言はうか  
あさみどりのバナナの葉 ザウへと踊って  
にはとりのとさかゝ まつかなのです  
コツコツとコプラをたべてゐるのです。

赤松俊子

4月16日の夜、赤松の送別会が開かれた。久功、佐伯等6人だけのささやかな会であったが、なぜかカヤンガル島へ一緒に行った熱帯生物研究所の和田清治は出席しなかった。また、赤松は翌日の船でパラオを発ったと考えられるが、翌17日の『日記』には、天気のほかには「終日背中痛ム」としか書かれていない。久功が見送りに行ったのかどうかもわからない。ここでも久功は、沈黙を守っていた。赤松が去って、久功の心の中にポツカリと穴が開いてしまったのだろうか。

この頃になると、既にパラオでは、物資不足が起こってきた。5月2日の『日記』には、ずっと煙草が切れていて、2日前に入港した船で「響」が千包やっと着いた。その翌日、朝9時から南貿で売るようになったが、一人3個だけという制限付きだった。朝から黒山の人ばかりで、10時に行った久功は、ただ驚くばかりであった。店の中に入れたのはわずかな人々で、外にはまだまだたくさんの方がいた。その後、買い求めに押しかけて来た人々によって、ショーウインドーは壊され、警官が出て来て整理したという。マッチは既に日時をきって、1軒あて12個の配給売りがなされていた、と書かれている。

久功がアラカベサンの佐伯清のところへ最初に泊りに行ったのは、5月4日の土曜日であった。その日の『日記』には、

六時半頃、佐伯サンカラ電話デ、宿リニ来ナイカト云ッテ来タノデ、アラカベサンニ出カケル。

と記され、翌日は油絵を描き、夜の11時に帰った。

次の土曜日 11 日にも、午後アラカベサンに行き、油絵 2 枚を描き、翌日 6 時半に帰った。

翌週の土曜日 18 日には、夜に舟木、高崎両武官から金寿司に招待されていたのでアラカベサンへ行けなかったが、翌朝 8 時のバスで佐伯の家へ行き、油絵を描いた。

その翌週の土・日曜日、25・26 日は仕事があり、また、体調が悪かったのでアラカベサンへは行かなかったが、翌週、6 月 1 日には、午後 1 時のバスでアラカベサンへ行き、翌日 10 時に車で帰った。6 月 8・9 日の土・日曜日にもアラカベサンへ行って、額板を仕上げた。7 月 6・7 日の土・日曜日にもアラカベサンに泊まり、木彫レリーフを制作した。この後も、ほぼ毎土・日曜日、久功はアラカベサンの佐伯清を訪れ、作品を制作した。

久功の部屋は、人の出入りが絶えず、本を読むことも、手紙を書くこともできないと嘆いていた。佐伯清がその状況を知って同情し、自宅敷地内にある仕事場を提供したのであろう。久功はその好意に甘え、毎週のようにアラカベサンへ行き、作品を制作したのであった。

5 月 13 日、金子九平次の紹介状をもって、西尾善積という画家が役所に久功を訪ねてきた。西尾は、明治 45 年（1912）京都に生まれ、戦前は父親の仕事の関係で台湾の台北に住んだ。昭和 13 年（1938）、東京美術学校西洋画科在学中に第 2 回新文展に初入選した。翌年美術学校を卒業し、昭和 15 年（1940）、サイパン、ヤップを回ってパラオにやってきたのだった。

20 日には、洋画家の武田範芳が、久功のところへ、展覧会の紹介文を書いてくれとやってきた。武田は、大正 2 年（1913）北海道に生まれ、北海道庁立永山農業学校林学科を卒業して上川支庁林務課に勤めた。昭和 9 年（1934）上京し、本郷と目白の絵画研究所に学んだ。昭和 14 年（1939）3 月、旺玄社展の最高賞「目白賞」を受賞。10 月、南洋群島へ来たのだった。久功は、武田の宿泊先の山田旅館へ行って絵を見た。武田の展覧会は、その月の 24 日から 27 日まで昌南倶楽部で開催された。

8 月 15 日には、役所に洋画家の矢崎牧広を訪ねて来、久功は、その世話を頼まれた。矢崎はその後、マルキョクへ行き、9 月 19 日にはヤップへ行った。また、同じ日には、ヤップ島にいる九鬼の紹介状を持って、「水野ト云フ画カキサン」が訪ねて来た。

内地から多くの画家達がパラオへ来、久功のもとを訪れた。なお、赤松俊子、武田範芳、西尾善積は、2008 年に町田市立国際版画美術館等で開催された「美術家たちの南洋群島」で紹介されている。

6 月 18 日から 29 日まで、久功は内地から来た花井重次囑託員とパラオ本島一周の出張旅行へ出た。16 ミリ映画の撮影機材をもち、西側の朝日村植民地、清水村をはじめ、右回りに本島の村々を訪れ、調査し、撮影した。『日記』には、植民村の詳しい状況が記されている。また、ガラスマオの要塞化されてゆく様子も書かれている。

ポカント西ノ空ノ薄黄色キヲボンヤリナガメ居レバ、後ノ方ニテガヤガヤト立騒グ

音シテ、一艘ノ大型機艇ニギッシリト七八十人モ水兵ノ乗り組ミテ、沖ノ方ニボンボント出デ行キケリ。沖ニハ一隻ノ軍艦静カニトマレル。

五時半ニ梅丸動キテ、二十分程水道ヲサカノボリテ村ニツキヌ。職員宿泊所ニ入レバ花井氏先着、軍艦トキワナル由ニテ砲術長、航海長来テ居リ。

晩ニ再ビ来ルベシトテデキニ帰リユク。

入浴後、坂口氏ト共ニ御馳走ニビール、此ノ間兵隊達大イニ演習ト見エテ、向ヒノ山ヨリ盛ニサーチライトヲテラシ来ル。後又海軍ノ若キ士官達五・六名来テ、盛ニ地図ヲヒロゲテ会議セシガ、ヤガテ代ル代ル風呂ヲアビテ十時頃帰リユキヌ。ガラツマ オノ地、要塞トシテ唯一ナル地形ナル由ニテ、種々設備演習中ナルナリ（6月20日）。

ヨーロッパでは、前年10月、独ソ不可侵条約が調印され、この翌月には、ドイツがポーランドに侵攻し、第2次世界大戦が勃発した。7月には、第2次近衛内閣が成立し、9月には、日独伊三国同盟が成立した。日本は戦争への道を進んでいた。南洋群島にも緊張感が漂ってきた。

9月4日になると、パラオのコロールで防空演習が始まり、空襲警報が発せられるようになった。久功にも演習の当番が割り当てられた。

ところで、この第27冊で気になるのが、8月24日から28日までの5日間、『日記』が書かれていないことである。久功には珍しいことである。久功に何があったのか。

前兆はいくつかあった。この年4月3日の『日記』には、次のように書かれている。

ドウシタノカ、日記ヲツケルノガ面倒臭クテ仕方ガナイ、ト云フヨリ記スコトガ出テ来ナイ。マトマッテ来ナイノダ。手紙サヘ書ケナイデ居ル。何ウシタノダカ。

その翌々日の5日には、

今日ハ手紙ヲ書カウト思ッテ一日トッテ置イタノデ、家ニ引込ンデ居テミタガ、何ダカ体が重クテゴロゴロシテ、ウトウトシテ、結局夜ニナッテ一通ノ手紙ヲ書イタダケ。何ヲ見テモ、何ヲ考ヘテモ、書クコトガナツナッテシマッタヨウダ。

さらに、5月8日には、次のように書かれている。

午後カラ夜迄背中痛ム。気分悪ク病人ノヤウデ、只々寝コロンデバカリ居ル。此ノ節日記モナイ。

『日記』が書けないのは、健康上のことによると考えられるが、これまでも痛みをおして『日記』を書いていたことがあったので、そればかりではなからう。このような状態はしばらく続いたようで、いよいよ8月11日の『日記』には、次のように書かれている。

一向オモシロイ日記モナイ。コンナ日記ナラツケナイ方ガイイノダガ、止メタラド  
コマデ止メテシマフカワカラナイカラ。無理ヤリニ。

このころの『日記』には、日々の雑事のみ書かれ、精彩に欠き、緊張感もなく、退屈な  
記事で占められている。

そして、約半月後の24日から5日間、『日記』を書かなかった。久功は、パラオでの生  
活に疲れてしまったのであろうか。

〔表紙〕  
〔27〕

昭和十五年

千九百四十年一月一日ヨリ 十月十五日迄

HISAKATSU. H.]

## 一月

六日 (土) 晴,

旅行中、岩山ノ話ガ出タ時、研究所ノ人達ガ機械船ヲ提供シヨウト云ツテクレタノデ、午後早速村ニ出テ、Ilamms ニ行ツタガ、Hobhoū ト Ebillükd トガ居タキリデ、Meledang 達ハ宿リガケデ Ngeronghol ニ行ツタ由、何ニモワカラナイノデ、Tehekī ニ行ツテ見タガ、此処モ若イ女ガ二人居タキリ、Müttokül ニ行ツタガ、ココモ女バカリデ、男達ハ Ngerbehed ニ死人ガアッテ出カケタ由ナノデ、引キカヘシテ、Ngerbehed ニ歩イテ行ク。Oreklil ヲツカマヘテ岩山ノ様子ヲキイテ見タガ、一向ハツキリシタ事ガワカラナイ。Ngirhowes ガ話ヲ引取ツテクレタガ、是レモハツキリシナイ。

併シ Ngermid ニ真水ノアル処ガアル事、Ngerhengngael 及ビ Risong ニハ話ノ様ニ (土) ガアリ、〔土〕ニ生エル木ガアルコトワ確カラシイ。其他砂浜ノアル所デハ Urür — コレハ Mürimarang ノ土地 — Ulong ノ東ニアタル Nghas ノ Wet, Müttükül Hoigüll ノ Bai'l Ihelū 等ハ見ルベキ所ラシイ。Risong ハ a Süh 家ノ Delbai (Uhel kemūil) ノ土地ニナツテ居ル由。

序ニ「熟生」研究所ニ行ク。羽根田君ハ Ngkeklaο デ得タ虱ノ様ニ小サナ光ル「キノコ」ヲ大事サウニ顕微鏡ノ下ニ置イテ居タ。ノゾイテ見ルト、ナカナカ<sup>〔複〕</sup>復雜デ立派サウダツタ。加藤君ハ Ngebükd デ得タ淡水魚ト「エビ」トヲ「アルコール」ニツケテ、札ガ□ハツテアツタ。和田君ハ例ニヨツテアトカラ、昼寝カラ起キテヤツテ来タ。

五時半ニ合宿ノ新年宴会? ガアルト云フノデ帰ツタガ、誰モ居ナイ。六時半ニナツテ、ヤツト皆野球見物カラ帰ツテ来ル。ソレカラ小林君ノ室デササヤカナ酒宴、九時散会、十時頃カラ、栗山、上地君ト一時間バカリ街ヲ散歩。

〔<sup>〔欄外に記す〕</sup>受信〕 杉浦健一、後藤貞二、園子、〕

七日 日曜日 晴、午後バラバラ雨二度、

□<sup>最</sup>早朝 Ilamms ニ行ク。都合ガヨクツタラ岩山ニデモ行クツモリデ。併シ、Ngelūil ガ、昨日 Meledang 達ガ岩山カラ取ツテ来ター尺モアル椰子蟹ヲ煮テ、pillūm ヲ□切ツテクレタダケデ田圃ニ行ツテシマツタノデ、十一時頃 Anna ノ所ニ行ツテ見ル。medalsal ト Mrolmi ガ居テ、相モカハラヌクダラナイ話ヲ面白ク話シテ居タ。引上ゲテ Anna ノ所ニ莫莖ヲ敷イテ寝コロンデ居タラ、高松君ガ帰ツテ来テ、ビールヲ二本サゲテ来タ。十二時半カー時頃、Anna ガ新ラシイ家ニ行クト云フノデ一緒ニ行ク。新ラシイ家ハ「ホ

テル」ノ前カラ右ニ降りテ行ツタakedノ上デ、Rüemaガ一人デポツポツ造作ヲヤツテ居タガ、私達ガ行ツタ時ハ寝テ居タ。RüemaガAnnaト結婚シテ居ルコトハ、Ungiwalカラ帰りノbilasデハジメテ知ツタノデ、今日来テミタノダツタ。二人ガ何カベチャベチャ話シテ居ルウチニ、私ハ涼シイ新ラシイ、併シ取りチラカッタ床ノ上ニ寝テシマツタ。起キタラ三時デ、モウ二人ハ居ナカッタ。雨ガバラバラ降ッテ来タノデ、ヤムノヲ待ッテ帰ッテクル。帰ッテ来タラMedalsalノ所ニNgelūūlガ来テ話シコンデ居タノデ、一寸寄ッテ話シテ居ルト、又雨ガ降ッテ来ル。雨ガヤンダラ高松君ガノッコリヤツテ来テ、重大ナ話ニ就イテ「スペイン坊主」ニ通訳シ□テホシイトシキリニタノンダガ、他ニ適ナ人ガ有ルラシイノデー応断ワツテ四時帰ッテ来ル。スルト又、高松君ガ追ヒカケテ来テ何デモ通訳シテクレト云フノデ、仕方ナク引受ケテ又戻ル。六時□迄待ッテ、教会ニ行ツタガ、又二十分程モ待タサレ、ソレカラオボツカナイ通訳ヲ果シテ出テクルト、既ニ真暗ニナツテ居タ。高松君ト分レテクルト、□氷屋ニMariaトKirūūト居テ呼ビ□止メラレ、「コーヒーシロップ」ヲパイツキ合ッテ一緒ニ出ル。何デモ飯ヲ食ベニ来イト云フノデ、Mariaノ家ニ行ッテ食事スル。□後又三人デ街ヲブラブラ歩キマハツテ、九時半頃帰ッテクル。

八日 月 晴、

夕食前、舟木氏ノ処ニ行ク。夜又、暫ク背中ガ痛ム。

〔発信〕 甘露寺方房、小山直彦、倉橋弥一、川路柳虹、島村米子、島村環、染木煦、皿井立三郎、島村捷三郎、田辺保英、上原一同、湯地孝、山口昇（歌子）

九日 火 晴、夜十一時半雨アリ、

十日 水 晴、早朝一シキリ雨アリ。

暮カラ日本大学□拓殖部ノ学生ガ十五名、義勇団ト云フノヲ組織シテ来テ居タガ、明日泰安丸デ帰ルト云フノデ、今日ハ午後二時カラ昌南倶楽部デ座談会ト云フ形デ質問会ヲスルカラ出テクレト云フノデ、出席スル。答□弁者ハ各課ノ課長デ、文化協会側カラ林君<sup>〔正章〕</sup>、野口君<sup>〔行雄〕</sup>、栗山君ガ主催シ、麻原<sup>〔三子雄〕</sup>地方課長、杉浦<sup>〔庸一〕</sup>農林課長、榊田<sup>〔幸太郎〕</sup>商工課長、塚原水産課長、田吹<sup>〔衛〕</sup>土木課長、警務課長代理中島氏、葦沢熱産所長ト自分ト。二時間近ク話シテ散会。

夕食後図書室へ。

〔欄外に記す〕

[12. 26. マガンラン<sup>200</sup>ヨリ]

「コロール」ノ正月モ酒ヲ飲マサレル位ガ関ノ山ト、Ngheangngal<sup>201</sup>デ正月ヲスル心算デ暮ノ二十六日ニちちぶ丸<sup>202</sup>Ngerhelongニ渡ル。十一時ニ「コロール」ヲ出テ、

暫ク島民ノ小供達ガカラカッテ居タガ、日ハガンガンアタルシ、船室ニ入ッテ寝テシマフ。午後四時前ニ Okoto<sup>203)</sup> ニ着ク。

Saisang ガ巡警ニナツテ居テ、波止場ニ出テ居タノデ荷物ヲタノンデ、長イ波止場ヲテクテク歩イタ。駐在所ニ寄ッテ大西巡査ニ挨拶シテ村ニ入り、村吏事□務所ニ行ク。村吏事務所ニハ、日本真珠ノ堀氏ガ来テ宿ッテ居ル由ダッタガ、何処カニ出テ居テ留守ダッタ。↙

十一日 木 晴、夜十一時頃バラバラ雨アリ、  
夜「レヴィウ」ト云フモノヲ見ニ行ク。

〔発信〕 八幡一郎、竹下源之介、津山尚、杉浦健一、

〔欄外に記す〕  
〔昔ノ思イ出ト——ソシテコンレイ<sup>204)</sup>ヘ〕

↘薄暮クナツタ頃、Saisang ノ後カラポツポツ歩キナガラ、ヤット事務所ノ所マデ来ルト、其ノ手前ノ家カラ突然男ノ声ガシテ、「ソノ外国人ハ誰ダネ」ト云フ。オイデナスツタ。島民ノ第一質問ハ、イツデモ、何処デモコレダ。彼等ハイツデモ第一ニソレヲ知ラナケレバナラナイノダ。ウルサイ人カ、厄介ナ人カ、サウデモナイ人カ、役所ノ人カ、民間ノ人カ、何ヲシニ来タ人カ。ソレガワカラナケレバ、彼等ハドウスベキカニ迷ハナケレバナラナイ。否、ソレヲ知ツタ上デ彼等ハ直チニ彼等ノ態度ヲ、腹ノ中デチャントキメテカカルノダ。役人ナラウツカリ落度ヲ見□セテハナラナイ。身分ノ高イ人、金□ノアル人ナラバ、ウマクヤルコトヲ忘レナイ。民間ノ身柄ノハッキリシナイ人ナラバ、ウツカリシテ損ヲシナイ様ニ用□□□心シナケレバナラナイ。第二ノ質問ハ、パラオ語ガ出来ル人カ、マルデ解ラナイ人カ。第三ガ、パラオニ古イ人カ、新ラシイ人カ。ソレニヨツテ譬ヘ自分達ノ言葉デ話スニシテモ、無思慮ニ馬鹿ナコトハ話セナイトカ、パラオ□語デナラバ何ヲ話サウト安心ダトカ、古イ人ナラバ老人達ナドノ間ニ意外ナ知合ヒナドガアツタリ、昔ノ事状ナドヲヨク知ッテ居□タリスルト、ヘマハ出来ナイガ、新ラシイ人ナラバ、コトニヨツテハ多少インチキヲヤツテモカマハナイトカ。兎モ角、最初ノ此ノ二三ノ質問ニヨツテ、彼等ハ腹ノ中ニ彼等ノ計算ヲウチタテルコトガ出来、ソレニヨツテ彼等ノシナケレバナラナイ所ト、スベキコトヲチャント心構ヘス□ノダ。例ヘバ□役所ノ人ダトカ、エライ人——コレハ結局ハ矢張り身分ノ高イ人トカ金□ノアル人トカ云フコトニヨツテ決定スルノダガ——ナラバ、村□長ニ予メ注意シテ置ク必要ガアリ、其ノ人ガヤサシイヨイ人デアツタニシテモ、或ハ無理ヲ押シ、我儘ノ云ヒ放題デ彼等ヲ困ラセタニシテモ、帰ル時ニハバナナノ一総ヲサゲテオ辞儀ヲシニ来ナケレバナラヌトカ。

処デ Saisang ハ私ガ、彼ガ子供ノ時カラ知ッテ居リ、パラオ語モワカルノデ、マゴマ

ゴシテ居ル間ニ、私ハ イタヅラ氣ヲ出シテ、「俺ハ昔カラ此ノ村ノ長老ヂャナカッタカ、オ前ハ自分ノ村ノ長老ヲ知ラナイノカ。」トバラオ語デ云ヒカヘシテヤッタ。スルト其ノ男ハ驚イテ惶テテ滑稽ニナッタ。ソシテ Udūlei (兄分) ト云フ言葉ヲ使ッタ。Rūbak<sup>(H)</sup> (丹那) ト云フヨリモ、ズット親シイ言葉デアル。

「兄分、誰方デシタカ、何処カラオイデナサッタノデスカ。何卒コチラニオイデ下サイ。誰方カ知ラナイガ、何卒コチラニオイデ下サイ」ト矢ヅキバヤニ私ニ呼ビカケタ。ソレデ私ハ ノコノコ ト其ノ家ノ処ニ登ッテ行ッタ。主屋ト厨家トヲツナ□イデ居ル屋根ツキノ廊下ニ、三十五六ノ男ガ乾イタコブラヲ切ッテ居タ。ソノ傍ニ四十カ、四十ヲチョット出タ位ノ男ガ座ッテ居タガ、此ノ男ハ何モ□言ハナカッタ。若イ方ノ男ハ私ガソコヘ行クト、コブラヲ箆ノ中ニ入レテ向フニ押シヤリ乍ラ、又全ジコトヲクリカヘシタ。私ノ顔ヲ シゲシゲ 見テ、ソレカラ頸ヲカシゲテ、又云フノダッタ。「兄分、何処カラオイデ□ナサッタノデスカ。兄分ハ□誰方デシタカネ、私ハヤイチデス。アナタハ私ヲ御存ジナノデスカ。私ハ巡警ヲシテ居タヤイチデス。私ハスッカリアナタヲオミソレシテシマヒマシタ。誰方ダッタカオッシャッテ下サイ。」ソシテ Saisang ニ向ッテモ「誰方ダッタネ」ト尋ネタ。併シ私ガ白状シナイノデ、Saisang モ□黙ッテニヤニヤシテ居ル。ヤイチト云フ此ノ男ヲ私ハ知ラナカッタ。ケレドモヤイチガ惶テルノデ、私ハナホ落着イテ居タ。ソシテ私ノ方デハヤイチヲ知ラナカッタガ、少クトモ名前モ、顔モ全ク思ヒ出セナカッタガ、若シカシタラ此ノ男ノ方デハ、私ヲ見タコトガアッタノデハナイカト考ヘタノデ、裏ノ家ヲ指サ□シテ、「俺ハアノ家ニモ泊ッテ居タ事ガアッタヂャナイカ。併シ大分昔ノ事ダカラ、忘レタナラ忘レタデモイイヨ」。實際私ハ、私ガズット前、十年モ前ニ バラオ ニ来タ当時、此処ニ来テ十日バカリモ滞在シ、此ノ裏ノ家ニ宿ッテ居タ事ガアリ、猶其ノ後ニモ二、三度来テ、一晚二晩泊ッタ事ガアッタノダッタ。「Ngesebei ト云フ子ガ居タガ、今モ此処ニ居ルカネ、モウスッカリ大人ニナッタと思フガ。」「アノ Ngesebei ヲ御存知デシタカ。処ガアレハ、三四年前ニ死ンデシマヒマシタヨ、兄分」✓

十二日 金 雨後晴、午後又雨、夕方止□ミ、夜星空、

役所ノカヘリ、「熱生」ニ行き、明後日ノ日曜日ニ皆デ岩山 Risong ヲ探検? ニユク相談。

夜、栗山君ニヒッパラレテ、<sup>(山田)</sup> 剛サント三人デ街ニ出、コロール波止場迄行ク。

十三日 土 雨降ッたり止ンダリ、

午後三時頃カラ Ilamms ニ出カケ、明日ノ岩山案内ヲ打合ハセニ行ッタ所、Meledang 達ハ明日 Ngattelngal ニ行ク由。雨ニ降り込メラレテ八時頃迄モ居テ帰ッテ来たら、伴サンカラ電話ガアッテ、明日ノ Risong 行きハ取止メニナッタ由、貼紙アリ。

ㄨ Saisang が私ノコトヲ説明スルト彼ハ云ツタ。「アア、ソーデシタカ、ダカラ私ハ思ヒ出サナカッタノデスヨ。アナタノコトハヨク聞イテ知ッテハ居マシタガ、丁度アノ頃私ハ巡<sup>査</sup>□□警ヲシテ居タノデ、ココニハ居ナカッタノデシタ。処デ今度ハ何ヲシニイラシッタノデスカ、事務所ニオトマリニナルノデスカ。」私ハ Holley ニ行キ度イノダガ、明日ノ朝デモ誰カ Holley □□<sup>ノ者</sup>ニ行ク者ガナイカト云フト、彼ハ傍ニ居タ男ヲサシテ、此ノ人ハ Kremiyūsūh ト云フ人デ Holley ノ人デスガ、今コレカラ帰ラウト云フテ居ルトコロデス」。ソレデ私ハコレカラ事務所ニ寝テミタ所デ仕方ガナイシ、コレカラ Hollei 迄ノ aked 道ヲ昼間歩クノハナカナカ楽デハナイト考ヘタノデ、幸ヒ今ハ月ガヨイシ、此ノ Kremiyūsūh ト一所ニ今夜コレカラ Hollei 迄入ッテシマハウト考ヘタ。

「サウデスカ、ソレデハマア上ッテ食事デモナサッテ、ユックリ行カレトライイデショウ、Kremiyūsūh ニモ待ッテ貰ヒマスカラ。」

私ハ上ッテ、主屋ノ窓ギワニ敷カレタ莫莖ニ座ツタ。此ノ家ハ新ラシク建テラレタバカリデ、キレイデ、ソレニ前ガ低クナッタ傾斜地ニ建テラレタノデ、前側ハ二階ニナッテ居テ、ズット高クナッテ居リ、私ノ座ツタ二階ノ戸ハ、全部硝子窓ニナッテ居タ。ソシテ窓ノ向フニ、椰子ノ木ノ間ニ大キナ月ガ漸ク光ヲマシテ来タ所ダッタ。風ハ涼シク、ソシテアタリハ静カダッタ。此ノ月、Ngerholong ノ月、椰子ノ木ノ間ノ山ノ上ノ月ヲ、私ハ忘レズニ懐カシム。ソレハ私ガ内地カラ来テ間モナク、ココニ来テ、ココデ嵐ニ逢ヒ、Ngerbao<sup>205</sup> ノ知ラナイ島民ノ家ニ一夜ヲカリ、ソコデ黒コゲノ魚ニ舌鼓ヲ打ち、十三四ノ女ノ子ト、夜遅クマデ珍ラシクモナイ話ヲポポット喋ッテ居タ。——アノ娘ニモ其後何処デデモ一度モ逢ハナイガ、何処カヨソノ村ニデモオ嫁ニ行ッテ、四五人ノ子供デモカカヘテ幸福ニ暮シテ居ルカシラ。ソレトモ Ngesebei ノ様ニ、若イ盛ヲ肺病ニデモカカッテ死ンデシマッタカシラ。

ソシテ其ノ翌日、名残ノ風ノ止マナイ中ヲ、此ノ Mangallang ニ帰ッテ来タ。ココラアタリ、道ニハ大キナタマナノ木ガ横倒シニ倒レテ居リ、バナナ、レモン、パイヤノヨウナ小サナ木ハ折レ倒レ、グシャグシャニ引キチギラレ、青イ破レタ木ノ葉ガ土モ見エナイ迄ニ散ラバツテ、濡レテ地面ニクツツイテ居タ。ソシテ椰子ノマダ青イ実ガモゲテ落ちテ、ムゴトラシクゴロゴロト転ガッテ居タ。其ノ夕方漸ク静マツタ青イ空ニ椰子ノ木ノダラリト下ツタ葉ノ間ニ、白イヨウナ月ガポッカリ上ツタ、実ニ荒寥タル静ケサヲ、寂シサヲ、若カッタ、ソシテ内地ヲマダ忘れ得ナイ新ラシイ旅人ノ感傷のナ心ニ、ヒシヒシト感ジタ思出。

ソノ全ジ月ヲ、今此ノ窓ニヨッテ食事ノ出来ル間、ポカント眺メル私ダッタ。ソシテモウ南洋ニモ古イ古イ、故郷ニデモ居ルヨウナ私ニ何か昔ノ若ヤカナ思ヒガ、寂シク快ク甦ッテ来ルノヲ覚エタ。

ソシテ暫クノ後ニ、コロールデ電気ノ光ニナジミキッタ私ニ、暗イランプノ下デ食事ヲ終ヘ——私ハ今夜ノ此ノ暗イランプノ光ヲ、何か傷ツイタ心ヲイタワルモノノ様ニ、

心安ク思フノダッタ。七時過ギニハ、私ト Kremiyūsūh トハ、裏ノ aked 道ニ出テ居タ。実ニナツカシイ Ngereholong ノ山。一面ノドコマデモ凸凹トツヅク禿山、ソレニクネクネット曲ッテ生キテ居ル<sup>タ</sup>コノ木、ソノ外ニハ何モナイ、左右ニ見下ス月ノ夜ノ海、音モナイ海、環礁ニ音ハナクテ色<sup>ダケ</sup>□□ニダケ白々ト碎ケル波。私ハ凸凹ノ道ニ注意シナガラモ、aked ノ、海ノ底ノヨウナ青黒イ眺メト、オバケノ群ノヨウナ<sup>タ</sup>コノ木ト、ソコニ蔭ト光トヲナゲル月トヲ、飽キナイ心デ次々ヘトクリカヘシクリカヘシ眺メタ。

Kremiyūsūh ト私ハ、殆ト一言モ口ヲキカズニ歩イタガ、彼ハ慣レタ道ヲ□素足ニドシンドシントシッカリ踏ミツケテ、平ラナ道ヲ行ク様ニ気がネナク歩□ムノデ、私ハイツモ二間モ三間モ<sup>後</sup>□遅レテ居タ。Ikisid ノ石畳ニ来タ時、私ガ後カラ、「休ンデ行カウカ」ト声ヲカケルト、「サウデスネ、コレカラ少シ道ガ悪イデスカラ、一ブクシテ行キマショウ」ト云ッテ腰ヲ下シタ。私モ上着ヲスイデ中央ノ台石ニ腰ヲオロシ、煙草ニ火ヲツケ、□彼レニモ出シタガ、裸ノ岩ノ様ナ彼ハ、其ノ煙草ニ□火ヲツケヨウトハシナイデ、手提カラ檳榔ノ実ヲ出シテ咬ミ、煙草ノハジヲチギッテ一緒ニ咬ンダ。此ノ男ハ実ニオトナシイ、口数ノ少ナイ男ダッタガ、私ノ質問ニ対シテポツポツト答ヘタ。「私ハ昔ノ話ト云ッテハ何モ知りマセンガ、聞イテ居ル所デハ、此ノ Ikisid カラコチラハ元来 Ngereholong ニハ附属シテハ居ナカッタモノデ、ソラ、ソコノコンモリシタ山デスネ、アスコガ Ukall ト云ッテ昔強イ村デシタ。ソシテ此ノ Ukall ガ<sup>北部</sup>□□ Hollei ヲハジメ北部ノ村々ヲ支配シテ、Ngereholong ニ対シテ居タノデ、此ノ北部ヲ総称シテ Heewataoh ト云ツタノデシタ」、ソナ風ニ話シタ。Ikisid カラ急ニ下リニナリ、Hollei ノ村ニ入ル迄ノ間ハ、上リ下リ曲リクネリ森ニ入り田□圃ヲ通り、□山ニホリツケタ石段ヲ上リオリシナケレバナラナイノ□デ、彼ハ道バタノ椰子ノ枯葉ヲチギッテ揃ヘテ、炬火ニシタ。二人ハ又黙リコクッテ、其ノ悪イ道ヲ上ツタリオリタリシタ。一時間ノ後、八時ニ私達ハ Hollei ニ入り、Beklehūr 家ニオチツイタ。

〔欄外に記す〕  
〔次頁へ〕

十四日 日曜日 夜明マデアッタ雨止ミテ晴ル、雲多キモドウニカ降ラズ、  
昼前 Ilamms ニ行キシモ人居ラズ、野□元氏ヲ訪ネシモ留□守、□安達氏ノ処ニ一寸、  
Sūh 家ニ Delbai ヲ訪ネシモ居ラズ。

Ibedūl ノ処ニ寄ッテ岩山ノ話ヲキキシモ、地図ナクテハ面白カラズ、又来ル事ニシテ、午後二時頃帰ッテクル。久々ニ三時頃カラ昼寝。夜ハ□相変ラズ人々が集マル。

〔欄外に記す〕  
〔前頁ヨリ〕

ソコニ a Bodoh ガ居タ。a Bodoh ハ大変瘦セテ、世帯ヤツレガシテ居ルヨウニ見エタ。併シ彼女ハ私ノコトヲ非常ニヨク覚エテ居テ、タッター一目デ私ヲ認メルト全時ニ非常ニ驚イタ。アノ特長ノアル昔□ト少シモ変ラナイ ウルンダ 眼ヲ見ハッテ、アノ、土人ニハ少ナイ薄イ唇ヲ小サク早く動カシテ、「マア、イツマタ□パラオ ニイラシタノ、

ソシテコンナキタナイ トコロヘ」ト、ハニカ□<sup>a</sup>ンダヨウニツケ加ヘタ。実際小サナ家が、峽<sup>[峽]</sup>イ程沢山ノ人間ト子供トデイッバイダッタ。ト云フノハ、Kloū blai (主屋)ヲ建直ス為ニ取りコワシテ居ルノデ、全家族ガ um (厨屋)ニ入ッテ居タカラ。少シ話ヲシテ居ルト、a Bodohハ全ク昔ノ a Bodoh デ、人ノイイ素直ナ女ダッタ。ソシテ何モナイ、何モナイト云ヒナガラ芋ヲムイテ切ッテクレ、焼魚ニ ショーユ ヲソヘテクレ、小サナヤカンニ水ヲ汲ンデ来テクレタ。ソシテ私が先日 Melekeokニ行ッテ、十日間モ□<sup>a</sup>□<sup>h</sup>□<sup>a</sup>□<sup>l</sup>□<sup>u</sup> Saharūleong (Malūbik)ノ所ニ宿ッタコト、Hoseekedモ嫁ヲ貰ッテ五ツニナル女ノ子ガアルコト、一日 Idūpニモ逢ッテ来タコトヲ話スト、如何ニモ懐カシサウニ聞イテ居タガ、稍淋シサウニ答ヘタ。「私ハココニ来テカラモ、オ父サンガ生キテ居タ間二度三度 Ungiwalニ行キマシタガ、オ父サンガ亡クナッテカラト云フモノ、一度モアチラニ行ッタコトモナイノデ、皆ガドンナニシテ居ルカチットモ知ラナイノデスヨ。パラオノ人ハ手紙一ツ書カナイノデスカラネ。」全ク彼等ハ上手ニ手紙ヲ書クコトガ出来ルニモ不拘、遠ク離レテ居テ手紙ヲヤリトリシテ、互ノ消息ヲ伝ヘルト云フ習慣ヲ持タナイ。a Bodohハ既ニ四人ノ子供達ノ母ニナッテ居タ。ソシテ亭主ノ Morosハ、私ノ方デハ全ク忘レテシマッテ居タガ、是レモ昔ノコロールノ生徒ノ一人デ、私ノコトヲヨク知ッテ居タ。Morosハ後カラ帰ッテ来テ、此ノ家ハ如何ニモセマクテ、子供達ガ多クテ場所ガナイカラト云ッテ、Temaclノ所ニ寝ルヨウニ話シニ行ッテクレタ。ソレデ九時半頃ニナッテ、私ハ a Bodohノ所ヲ辞シテ Temaclノ家ニ引上ゲタ。

モウ十年モ前ノコトニナル。私が Melekeokニ三ヶ月ノ間滞在シタ時、私ハ Iyehad (Malūbik) — 其ノ頃ハ前ノ Saharūleongガマダ生キテ居タノデ、彼ハ Iyehadト云フ小サナ Rūbakダッタ — ノ家ニ宿ッテ居タ。Iyehad夫妻ニハ実子ガナク、養子ノ Hoseeked (Melongoes)ハ Horeorノ学校ニ寄宿シテ居タノデ、家ニハ居ナカッタ。此ノ家ニ a Bodohト Idūpガ世話□ニナッテ居タノダッタ。二人トモ学校ニ行ッテ居タ関係ナノデ、家ハ Ungiwalニアッタ。ソレデ土曜日カラ日曜日ニカケテハ Ungiwalニ帰ルノヲ常トシタガ、平日ハ毎日私達ト全ジ家ニ起居シテ居タノデアッタ。尤モ私ハ塗丹ブキノ Kloū blaiニ寝起キシ、彼等ハ umノ方ニ居タノデハアッタガ。a Bodohハ三年生デ、Idūpノ方ハ二年生ダッタ。Idūpノ方ハ小サクテ、日本語モマダロクニ話セナカッタガ、a Bodohノ方ハ、幾分年モ上ダッタノカモ知レナイガ、早熟デ、身体モ大人ノヨウニ大キク、オ乳モ目立ツ程フ克蘭デ居タシ、緞デモ男女ヲ通ジテ一番大キク、ソシテ私が Melekeokヲ引上ゲル前ニ、一番デ学校ヲ卒業シタノダッタ。私ハヨク a Bodohト其ノ友達ノ Ingeyaolヲ座ラセテハデッサンシタ。其ノ頃ノパラオハ今ノ様ニ忙ガシクハナカッタ。子供達ナドハ殊ノ外閑カデ明ルカッタ。Melekeokノ月ノ浜ベハ実ニヨカッタ。海岸ニコンモリ茂ッタタマナノ木、真黒ナ其ノ蔭ノ□向フハ、真白ナ砂ガ、ドコマデモ一面ニ干上ッテ、影一ツナイ広イ砂原ニナッタ。男モ女モ村中ノ子供達ガ、ソナ晩ニハ皆此ノ砂浜ニ出テ、笑ヒサザメキ、歌ヒ踊リ、月ガ傾ク迄□ハ、身体ガ綿

ノヨウニ疲レキル迄ハ、寝ルコトヲ忘レ、空腹ヲモ忘レテ遊ブノダッタ。実ニ月サへ上レバ、毎晩ソナニシテ遊ビ呆ケテ居タノダッタ。a Bodoh ハ併シ、ドチラカト云フト、イツデモ何か物思フヨウナ子供デ、殆ド彼等ニ交ツテ夜ヲ更カスコトガナカッタ。トハ云へ小サイ Idüp が早く寝テシマッタ後ニ、彼女ハヨク、庭ノ芝生ノ上ニ一人デ横ニナツテ、ソレコソ夜中迄モポカント月ヲ見テ居ルノダッタ。ソナ時ノ彼女ハ、何かイタイタシイヨウダッタ。今夜、十年タツタ今、再ビ a Bodoh ニ逢ツテ、此ノ様ナ四人ノ子供ニトリカコマレテ、一家ノ女トシテノ仕事ニセイイッパイノ、云ハバ現実ノ生活ニメリコンデ居ル彼女ノ何処カニ、アノ昔ノ物思フ心ト、何か此ノ現実ノ外ニ非現実ナ感情、乃至情緒ノ雰囲気ヲ感ズルノハ私ダケダロウカ。

〔欄外へ記す〕  
〔次頁へ〕

十五日 月 晴、午後三時頃カラ夜ニカケテ三四度雨アリ。

夜、今日カラ<sup>M</sup>マレイ語ノ稽古、後、<sup>〔山田〕</sup>剛サント寿司ヲツマミニ出ル。

昼前、飛行機が来<sup>206)</sup>、<sup>〔務脱〕</sup>堂本内部長帰任、此ノ飛行機ハ三日前に来ル筈ダッタノガ、天候ガ悪カッタ為ニ、ウルシーニ来テ止マツテ居タノデアル。

受信 森井八十一

十六日 火 曇後漸次晴ル、夜十時雨アリ、

相変ラズ次々ヘトヒッキリナシノオ客、夜十二時迄。

〔欄外に記す〕  
〔前頁ヨリ〕

ドウモ此ノ記事ハ、連日何ヤカヤ、クダラナイコトノ為ニ妨ゲラレテ、一向進捗シナイ。ソレデ以下覚エダケヲ急行デ書イテシマツテ置イテ、氣ノ向イタ時ニ書き直スコトニスルヨリ仕方ガナイ。

○二十七日 晴。未明及ビ朝驟雨、午後四時頃又小雨。

Hollei ニ来タ目的ハ、a Mūdong ノ山ノ上ニアル昔ノ石棺ヲ見ルコトデアッタ。ダカラ今日ハ早速ソレヲ見ニ行クヨウニ、Temacl ニ案内ヲタノンダノダガ、Temacl ハ朝ノウチニ Ngardmao<sup>207)</sup> ニ運ブ魚ヲ取りニ行カネバナラヌカラ、帰ツテ来テカラ案内スルト云フ。

a Bodoh ノ所ニ行ツテ朝食ヲ取り、十時半頃 Moros ト a taoh ニ行ク。併シ Temacl ノ舟ハマダ見エテモ来ナイノデ、筏ノ上ニネコロンデウトウトスル。昼十二時ニナツテヤット Temacl 達ガ魚ヲ取ツテ帰ツテ来タ。三尺モアル Temakai ノ三ツヲハジメ、一尺アマリノ Otord ダノ Herengngel ダノ Kalmūlang, Mūhūr 等五六十モアツタガ、手頃ナ所ヲ一尾モラツテ来テ、再ビ a Bodoh ノ所ニ帰ツテ中食ヲスマセ、二時半ニ Temacl ニ案内シテ貰ツテ a Mūdong ニ登ツタ。登ル途々ノ急勾配ニ、ヤハリアマリ整

ッテハ居ナイガ、籬壇ガ作ラレテ、一見昔ノ家跡デアルコトガ肯カレ、土器片ガド□コニデモアルガ、今ノ Hollei ハ比較的近代ニ降りタモノデ、昔ハ此ノ a Mūdong ノ上ニアッタト明カニ伝ヘラレテ居ルノデアル。

四時ニ帰ッテ来テ、a Ibesang ノ adion ニ水ヲ浴ビニ行ク。此ノ洗身場ハ、水ノ悪イパラオデハ珍ラシイモノデ、全パラオ中デ コンナヨイ洗身場ハナイ。Ngatpang (旧)モ水ハ豊富デア□リ、Ngardmao モ川ハ大キイガ、ソシテ水モ綺麗□ダガ、川床ガ土デアリ、水ガ浅イキラヒガアル。所ガココハ川床ガ岩デ、洗身場ハ此ノ岩ニモッテ□イッテ八畳敷位ヒモノ広サニ、ソシテ四尺程モ□□掘リ込マレテ居ルノデア——ソシテソノ水ガ不断ニ流レテ居ルノデア、綺麗デ氣持ガヨイ。昔モココニ来テ此処デ水ヲアビテ、パラオ中ノドコノ洗身場ニモマシテ氣持ガヨカッタ。ソノ外デハ Ngaradmao ノ□川デノ水浴ト旧 Ngatpang ノ洗身池デノ洗身ヲ氣持ヨクオボエテ居ルガ、旧 Ngatpang ノ方ハ村ガナクナッテシマッテ、人ガナクナッテシマッテ居タノデア、ヨカッタノダト思フ。夕方ノ人モナイ野天デ此ノ水浴ヲ終ッテ、セイセイシテ a Bodoh ノ所ニ帰ッテ夕食ヲ済マセテ、勞レテネムル。

○二十八日、晴、何度トナク雨ガ来テハ□霽レル。

朝食事後、Temael ノ所ニ行キ、——昨日 a Mūdong ノ石棺ヲ見テ、何トシテモ蓋□ヲ開ケテ見度クナッタノダ——十人程島民ヲ集メテ、十時頃カラ又 a Mūdong ニ登リ、石ノ蓋ヲアケル。中ニハ古イボロボロノ人骨<sup>208)</sup>ガアッタダケデ、全ク副葬品ガアッタラシクナイ。但シ四年程前ニ Pelilioū ノ者等(パラオ教徒等)ガ来テアケタソウデアルカラ何トモ云ヘナイガ、何モナカッタト云フ。人骨ハモッテカヘル。石棺ニツイテハ Note ノ 7 ニ□記シタ。✓

十七日 水 曇、雨二三度アリ。

夕食後、Bahas a Melajoe, ソレカラ七時半□Tereeked, □□ソレカラ「ミクロネシア」雑誌ノ人、八時、高松君、九時過ぎ剛サン、栗山君、

毎日鬱陶シイノデア背中ガ重イ。

ㄨ今日 Horeor カラ来ル Bilas デ山田ノ剛サン、ト羽根田君、加藤君、和田君ガ来ル筈ニナッテ居ル。ソシテ明日ハ皆デ Ngheangngal ニ行キ、向フデ正月ヲ迎ヘルコトニナッテ居ルノダ。ソシテ十二時半、Moros ノ小サイボートデ Meteholoholoh ノ波止場カラ出テ、Okotol ニ向フ。天気ハ上々ダガ東風ガ強イ。舟ハヨク走ルガ汐ガ引イテ居ルノデア、真直グニ Okotol ニ向フコトガ出来ナイ。Okotol ノ水道ニ入ッテカラハ、風ニ向フノデアジグザグダ。水道ノ幅ガセマイノデア、一寸走ッテハ帆ヲカヘナケレバナラナイ。十度モ、モットモ、ジグザグヲクリカヘシテ、二時ニヤット波止場ニ着イタガ、Bilas——ちちぶ丸ハ全然見□エナイ。先日二十六日ニ来タ時モ機械ノ調子ガ悪イノデア、次ノ

Ngheangngal 行きハドウナルカワカラナイヨウナ事ヲ云ッテ居タガ、来ラレナイノデハ  
 ナイカシラ。船待屋ニ入ッテ休ンデ居ルト、<sup>〔為雄〕</sup>大西巡査ガヤッテ来タガ、Bilas ガ一向見  
 □□エナイノデ、暫ク話シテ後、皆デ横ニナッテ寝テシマフ。大西巡査ハ一寝入りシテ  
 目ヲサマスト、アキラメテ帰ッテシマフ。ソレカラ更ニ待ッテ居テモ、Bilas ハ影モ見  
 セナイ。四時前ニナッタノデ、イヨイヨ諦ラメテ、遊ビガテラ来テ居タ島民ノ子供ヲツ  
 カマヘテ、小サナ荷物ヲ持ッテモラッテ、長イ堤ヲトボトボト村ノ向ヘ歩イテ行クト、  
 暫クシテ後カラ オーイ オーイ ト呼ブ声ガスル。振りカヘッテミルト、Bilas ガ来タト  
 云フ合図ヲシテ居ルノデ、引返シナガラヨクヨク見ルト、遠クノ方ニソレラシイモノガ  
 見エル。ソレハマダ Ngardmao ノ波止場ニモ着イテ居ナイラシイ。併シ村カラモ見エタ  
 ト見エテ、其ノ頃ニナッテ村ノ島民青年達ガ七八人モゾロゾロトヤッテ来ル。□マダマ  
 ダシカシ、ココニ来ル迄ニハタツプリー一時間ハカカルダロウ。青年達ハアチコチニ座リ  
 コンデ、馬鹿ナ話ヲハジメタ。✓

十八日 木 晴、マダ雲多シ、夜ハ無数ノ星ト半月ト□ニテ珍ラシク明ルシ、  
 役所ノカヘリ、Ibedūil ノ所ニ行き、明後日 Risong ニ行ク様、案内人ヲ頼ンデクル。  
 夜、舟木氏ノトコロヘ。

ㄨ五時半過ギテヤット Bilas ガ来ル。剛サンモ来タシ、羽根田君、加藤君、和田君、皆  
 来タガ、ちちぶ丸ハ機械ガ悪ク、明日ハ何ウシテモ Ngheangngal ニハ行カナイト云フ。  
 何トモ仕方ガナイ。荷物ヲ後カラ届ケテ貰フ様ニ手筈シテ歩キ出スト、パラパラ雨が来  
 ル。雨ハダンダンヒドクナルガ、逃ゲコム所モナイノデ、濡レルニマカセテ村吏事務所  
 マデ来ル。研究所ノ連中ハ皆堀君ヲ知ッテ居タノデ、イキナリドヤドヤト堀君ノ室ニ押  
 シカケテシマフ。皆ペコペコニ腹ガヘッテ居ルガ、荷物モ未ダトドカナイノデ、ヤイチ  
 ノ所カラ クカウ芋ヲ貰ハセ、□罐詰ヲ□アケテ、メチャクチャナ夕食ヲ賑ヤカニ食ッテ  
 スマセ、ソレカラ紅茶ヲ入レテ、十二時迄モグロテスクナ会話。

○二十九日 晴、何度トナク東風ガ強ク吹イテハ雨が来ル。堀君ト研究所ノ連中ハ  
 Ngeyūngngal ニ「川」ヲ見ニ行クト云フノデ、私ト剛サントハ、若イ Talimeer ヲツレ  
 テ Bad r ūrhaū ニ行ク。Bad er ūrhaū デ雨ニ降ラレタガ、永クモ降ラズ止ンダ。此処  
 モ十年前ニハジメテ本島ニ来タ時ニ、□村山君ト見ニ来タ処ダ。ソレカラ更ニ又一年程  
 タッテ、再ビ来テ人面石 Klitm ヲスケッチシタコトガアッタ。ソノ頃カラ思フト、又一  
 シホ荒レタノデハナイカト思フ。Klitm ハアラカタ倒レテシマッテ居ルシ、草ハボウボ  
 ウトノビテ居ル。只此処ニ来ル道ダケガ、近頃ニ手ヲ入レラレタラシク、ヨクナッテ居  
 タ。ナガメハタイシテ変ラナイ筈ダノニ、何か少シ<sup>〔狭〕</sup>峽クナッタ様ナ気ガスル。aked ニ植  
 エラレタ椰子ノ木ガ大キクナッテ、禿山ヲセバクシタラシイ。此ノ遺跡ニツイテハ既ニ  
 書イタシ、今来テ見テモ新ラシイ考モ浮バナイ。

昼頃事務所ニ帰ッたら、研究人達モ既ニ早々ト帰ッテ来テ居タ。皆デ简单ニ中食ヲスマセテ、今度ハ波止場ノ突堤ノ上ノ、製材所ノ傍ノ滝ノ所ニ、デリスヲモッテ小魚ヲ取りニ行ク。研究人達ガ流レヲ堰イテデリスヲシカケテ居ル間、私ハ<sup>裸ニナッテ</sup>□□□□裸ニナッテ瀧ニウタレタ。流レガヨクトマラナイノデ、デリスノキキガ悪ク、加藤君ガ肝心ノ玉網ヲ忘レテ来タノデ成績ハフルハナカッタガ、ソレデモ鮎ノ類、エビ、ウナギノ子、ハゼノ類等少シツツトレタ。驟雨がヤッテ来タノデ製材小屋ニ逃ゲタガ、結局皆水ヲアビ□ナホシテ、帰ッテ来ル。

Hollei ノボートヲ出サセテ、Ngheangngal ニ渡ッテシマハウトアセルノダケレドモ、風ガ時ヲ定メ□ズ荒レルノデ、海ノ潮ガ悪イノデ、何トカカトカ、其ノ上Hollei マデハ話ガ遠クテ何トモ思フ様□ニナラナイ。ソレデNgheangngal 行キハ断念スル。

夜ハ又皆デIbūkūl ノ方迄ブラブラ歩キマハッテ来ル。✓

十九日 金 晴，暑，日暮レ暫ク雨アリ，

Bahasa Melajoe.

ㄨ○三十日，雨降ツタリ止ンダリ，風吹イダリ止ンダリ。

あるころん丸ガ西海岸ニマハッテ十時ニオコトル□ニ来ルト云フノデ、堀君ト剛サントハ、ソレデHoreor ニ帰ルシ、私達ハNgarald<sup>209)</sup> ニ行クツモリデ、十時頃荷物ト一緒ニOkotol ニ出タガ、あるころん丸ハマタ姿モ見セナイ。ソノウチニヒドイ雨風ガヤッテ来ル。寒イシ腹ハハッテ来ルシ、焚火ヲシテビスケットヲ出シ罐詰ヲ出シテ食事ヲスマシタガ、一時ヲ過ギテあるころん丸ハヤット<sup>やッテ来タ。</sup>□□□□□□ヤッテ来ル。併シコレガマタ機械ガ故障シテ居テ、一向出サウニモナイノダ。ドノ船モドノ船モ故障バカリナノデハ、ホトホトクサッテシマフ。仕方ガナイカラ、荷物ダケ明日ニナッテモカマハナイカラ、Ngabūkd<sup>210)</sup> マデ送ッテ貰フコトニシテ、私達ハコレカラ歩イテ行カウト云フコトニシテ、出カケヨウトスルト、ヤイチガ追ヒカケテ来テ、チャムロノボートガ一艘入ッテ来タカラ、a Ulong マデ送ッテ貰フ様ニ交渉スルカラ待ッテミテクレト云ッテクル。私達モコレカラ歩イテ行クノモ大変ダカラ、兎モ角チャムロノボートヲ待ツコトニスル。実ヲ云フト私ハチャムロハ大嫌ヒナノダガ。ソレデイヨイヨボートガ入ッテ来テ—ボートハNgatmel<sup>211)</sup> ノBasif ノデ、偶然ニモNgūrūbosang<sup>212)</sup> ノNgiraked ガ備ッテ来タモノデ、大キナボートニ荷物モナク、Ngiraked トBasif ト他ニ助手ノ小年ガ一人居タダケダッタ。—ヤイチト Ngiraked トガa Ulong マデ行ク様ニ交渉ヲハジメタガ、私ハ話ガツク迄口ヲ出サナカッタ。ソレガカハッテ悪イ結果ニナッタ。何故ナラヤイチヤNgiraked ハパラオ人ラシク感情のニ交渉シタカラ。つまり、此ノ外国人達ハ運ガワルクテ、船ガ皆故障ヲオコシタ為ニ目的ノ<sup>N g k</sup>□□□Ngheangngal ニ行クコトモナラズ、今モ亦コノあるころん丸ガ駄目ナノデ、何ウショウカト困ッテ居ル所ナノダ。氣ノ毒ナ人

達ナノダカラ何トカ……私ハチャムログソソコトニ頓着スル性デナイコトハヨクシッテ居ル。ハタシテ Basif ハガンバリ出シタ。「私ハ五円デ行カウト云ッテ居ルノダ、私ハ私ノ船ニノセテ アスコマデ引返シテ送ルコトニ対シテ五円クレト云ッテ居ルノデ、アノ人達が困ッテ居ルカ、氣ノ毒ナ事状ダトカニハ何ノ関係モナイヨ、ソレハ私ノシタ事デモ何デモナイノダカラネ。或ル人ハ三円デ行クカモ知レナイガ、私ハ五円デ行クト云ツタラ、ソレハハジメカラ、話ニヨッテハマケテヤッテモヨイト思ッテ云ツタノヂヤナイノダ。五円デタカイト思ツタラ、ヤメタライイヂヤナイカ。」日ガ暮レニ近ヅイテ居タノデ、Ngiraked トヤイチトハ、ゴテゴテシタ交渉ヲ長ビカセタクナカツシ、当ノ Ngiraked ハ舟ノ中デ Basif ニ泡盛ヲ飲マセノタノデ、Basif ガドノ位酔ッテ居ルカラ知ッテ居タノダ。ソレデ彼ハ五円デモ仕方ガナイト決心シタ。シカシ彼ハドコ迄モパラオ人ダツタ。ココデ打切レバ私達ガコマル。ケレドモ頑ナチャムロノ言ニ其ノ儘従フノバ不名譽、不見識ト考ヘル。ダカラ彼ハ云フノダ。「五円ココニアルカラ取りナサイ、三円ハアノ人達ノダ。ソシテ二円ハ俺カラ君ニヤル」。ソコデヤイチモ一肌見セタ。「ヨシ、Ngiraked ガ一円、ソシテ此ノ俺ガ一円ダ。」チャムロハ案ノ如ク耻ヂタ。「何故私ガパラオ人達カラ一錢デモ金ヲ貰フノダ。ソソコトハ出来ナイヨ」,「ソレナラ三円デ行ッたらライイヂヤナイカ」又カ、ソレトコレトハチガフヨ。,「ソレナラ俺達ノ二円ヲトレバイイヂヤナイカ。ソレ五円ニナル」,「ソソコトハ出来ナイヨ。」私ハトウトウ癩癩ニサワッテ中ニワリコンダ。「Ngiraked モヤイチモ引込メ。チャムロト云フ人間ハパラオ人トハ違フノダ。□彼等カラ金□ト金ノ考トヲトツタラ、何モナクナッテシマフヂヤナイカ。サ、チャムロ、此ノ五円ヲダマッテ取レ、ソレハ全部俺ノ金ダ。ドウダ、ソレデヨイノダロ、ボートヲ出セ。」私ガパラオ語デマクシタテタノデ、チャムロハ明ラカニウロタヘタ。「ダンナハヒドイ方ダ。コン□ナ風ニシテ耻ヲカカセナサルトハ。ダンナハパラオ語ガ出来ルノニ、何故サッキカラ一言モ云ハナイデ、黙ッテ見テ居タノデスカ。」□彼ハ何度モ何度モクリカヘシテ全ジコトヲ云ツタ。

Ngiraked ハ私ノ所ニ来テ云ツタ。「チャムロトキタラ仕末ニオヘナイ、アナタモヨク御存知ノ筈ダカラ、今日ノ処ハユルシテ下サイ。」

私達ハ直グニ、荷物ト一緒ニチャムロノ大キナボートニ乗りコンダ。

〔欄外へ記す〕  
〔32 頁へ〕

二十日 土 晴、午後カラ夜ニカケテ何度トナク雨。

〔欄外へ記す〕  
〔Risong〕

早朝役所ニ行キ、判ダケ押シテ生物研究所ニ行ク。岩山 Risong ニ行ク手筈ニナッテ居タカラ。案内ニハ Mürimarang ガ自身デデテ来ル。加藤サンハ体ノ調子悪ク行カズ。堀サンニ電話ヲカケテ呼ブ。九時半過ギテ、羽根田氏、和田氏、堀氏ト私、案内者ノ Mürimarang ト運転手ノ我那覇、「リサーチ」デ出カケル。

堀サンノ鼈甲養殖場ノ外ニ「リサーチ」ヲツケ、皆裸ニナツテ荷物ヲ一ツツツモツテ池ヲ渡ツテ上陸、マダ十一時ダツタガ、猿ニカラカヒナガラ中食。鼈甲ノ餌ノ俵□礮貝ヲトツテ生ノママカブリツキ、罐詰ヲアケビスケットト御飯トクカウ芋トヲチャンポンニ食ベテ、サ□テ裏ノ山ヲ越エテ Risong ノ盆地ニオリ□ル。ナル程深イ盆地ノ中ノ半分ガ aked ニナツテ居リ、ソコニハ aboūh ガ沢山アリ、ūkall, titimml 等ノ木ガアリ、ワヅカナガラ Hesülük (土器破片) モアル。ガ、ソレヨリモ□茸ノ類ガ多イノデ、羽根田君ハ大喜ビダ。aked ノ向フ側ニハ全ク岩山ニカコマレタ塩湖ガアツテ、マングローブガ茂ツテ居ル。外海ト全ク絶タレタ岩山<sup>[ママ]</sup>ノ底ノ湖ハ、風一ツアテズ死ノ池ノヨウナ静ケサダ。aked ノ片側ハ上手ニ淡水ノシミダレテ居ル湿地ガアツテ、僅カナガラブラク芋ガアリ、ソレガ更ニズツト広イ浅イ沼ニツヅイテ居ル。此ノ沼ニハ又別ナ洞穴カラ僅カニ水ガソソイテ居ルガ、ソレハ淡水デハナクテ塩水ダ。ダカラ此ノ浅イ坩沼ハ一面ニマングロップガ□生エテ居ル。併シ日モアタラナイ様ナ凹地ノ底トテ、気根バカリ ニヨキニヨキ 出テ居ルガ、木ハ多クナイ。処デ此ノ隔絶シタ坩沼ニ□トビハゼガ居テ ピョンピョン ハネ、ソレカラ鰻ノ様ナ泳ギ方ヲスル七八寸モアル魚ガ居リ、ヨク見ルト小サナ海老マデ居ル。ソレデ青酸加里ヲ溶カシテ撒イタガ、水ガ少シモ動カナイノト、深クハアルガダダツ広イノデ効メガミエナイ。ソレモ本尊ノ加藤君ガ今日ハ来テ居ナイノト、マングローブノ中□ヲ歩キマハルノガ大変ナノデ、トウトウ目的ヲ抛棄シテ沼ヲアキラメル。

元□来タ道ヲモドツテ、堀サンノ所ニ出テ来ル。一寸一休ミシテ、羽根田君ト水眼鏡ヲカケテ暫ク泳イデ居ルウチニ、皆ガ荷物ヲモツテキテクレタノデ、其儘船上ツテ帰ツテクル。四時前、研究所ニカヘリ、一時間バカリ雑談、オカシラ取りヨセ、パパイヤヲ食ベテ夕食、別レテカヘル。

六時半「トキワ」ニ行ク。地方課ノ宴会ナリ。今日ハ野球ノ第二回戦デ文書課ニ勝ツタノデ、祝勝会ニモナツタ訳ダ。

二十一日 日曜日 晴、午後雲多ク、夜処ニヨリパラパラ雨アリ、

昨日久々ニ岩山ヲヨヂ上リ、マングローブノヌカルミヲ歩キ、海ニ泳イダノデ、今日ハ脚ナド筋肉ガコツテイタイ。ソレニ夜ハ夜デ寝タノガ二時過ギテ居タシ、ソレデ今日ハマルデ元気ガナイ。寝ヨウト思ツテモ、チョコ チョク 人が来タリシテダメダツタガ、ソレデモ午後少シ寝ル。コンナ日曜日ハ珍ラシイコトダ。

夜ハ月ガイイノデ、堀君、小林君、上地君等ニサソハレ、ビールヲサゲテ Ngerekebesang ニ遠足。Miyūngs ノ浜ノ Bai ニ行ツテ月見、アイニク雲多クナル。十時半頃帰ツテクル。

二十二日 月 晴，朝カラ昼迄ハ曇ッテ，ノベツニ小サナ雨ガ音モナク降ッたり止ンダリシテ居ル。

Bahasa Melaoe, 九時頃山田君カラ電話デ，久保ハ研究所ノ人々ト一緒ニ居ル由，出カケテ行ッテ三四十分モ話シ込ミ，分レテカラ剛サント又，榮寿司ニツマミニ行ク。

〔欄外に記す〕  
〔28頁ヨリ〕

雨ノ去ッテ静カナ夕風ニ，ボートハ迂ル様ニ走ッテ。Basifハマダ私ニ，テレクサソウニ，「アナタハホントニヒドイ人ダ，アナタガパラオ語ガ出来ルトハ知ラナカッタ」ヲクリカヘシ，クリカヘシタ。ソレハ，アナタガソナニモ古クカラパラオニ来テ居テ，以前ノパラオヲ，又沢山ノパラオ人ヲ知ッテ居ル人ト知ッたら，コンナ風ニ出来ル自分デハナカッタノダト云ッテ居ルノデアル。併シ私ハ，Basifガ酔ッテ居ルノデ相手ニナラナカッタ。

ボートハヨク走り，雨アガリノ<sup>タベ</sup>□□ユウベハスガガシカッタガ，ボートガアウロンノ水道ニ入ルト風ガ向ヒニナルノデ，何度デモマギラナケ□レバナラナカッタ。ソシテ，ソウシテ居ルウチニ Basifハスッカリ酔ガマハッタト見エテ，カヂヲ持ッテママ居眠リバカリハジメタ。ソレカラ尚一曾悪イコトニハ，風ガナクナッテシマッテ，ボートハブカブカト浮ンダキリニナッテシマッタ。ソシテモ一ツ悪イコトニハ，小サナ雨ガパララ降ッテ来，ソレガ又ダンダンヒドクナッテ来ルノダッタ。私達ハ一部ノ荷物ヲヌレナイヨウニ片ヅケ，一部ノ荷物ヲヌラサナイ為ニ，レインコートヲカ□ブッテ荷物ノ上ニマタガッタ。油ノ様ナ海ノ上ニ，ボートハ一ツ処デ静カニクルクルトマハルダケダッタ。私達ハノベツニ Basifヲオコシタケレドモ，彼ハ何度デモ□リズニネムッテシマフノダッタ。日ハドンドン暮レテ行ッタガ，雨ハドウニカ止ンダ。三十分モソナニシテ居ルウチニ，僅カナガラ風ガ出テ来タ。ソシテ Basifモ起キテカヂヲ取り出し，薄暗クナル頃ニ私達ノボートハ，ヤット a Ulongノ□波止場ノ先キニ着イタ。私達ハ荷物ヲ小屋ニ入レテ，リュクサクトカバンダケモッテ歩キ出シタガ，永イ突堤ヲ過ギテ道ニカカルト，モウ急ニ暗クナッテシマヒ，懐中電燈ヲトモサナケレバ歩ケナイ程ニナッテシマッタ。午後カラノ何度カノ雨デ道ハヌカルミダッタシ，レインコートハベトベトト体ニツイテ気持ガ悪カッタ。ソナ道々モ羽根田君ハ，tililūyūh（ヒカリダケ）ヲ見ツケルトハ取ッテ歩クノダッタ。永イ永イ夜道ヲ歩イテ，全ク闇夜ニナッテ，私達ハ Ngabūkdニ入ッたノダッタ。Baiヲ過ギテ，アブナッカシイ石畳ノ道ヲ，懐中電氣ヲトモシテ Tūblaiニ入ラウトスルト，反対側ノ島民ノウチカラ，「ソコニハ家ガアリマセンヨ」ト云フ声ガスル。私ハ「Tūblaiハ何処ニ行ッたノカ」ト大キナ声デ答ヘルト，「Tūblaiナラ，其ノ上ニ移リマシタヨ」ト又声ガ答ヘタ。

私達ハ又引カヘシテ，ヤット a Madノ家ニ入ッたノダッタ。a Madハ脚ガ悪クテ歩ケナイト聞イテ居タガ，大キナハチキレソウナ体デ，下手ノ戸口ニ座ッテ居タシ，Diratublaiモ居タ。ソレカラ昔，ヤット十才位ノ時ニ——私ハ当時ヨクソノ子ニ腰蓑ヲ

ツケサセテスケッチシタ——見タ Pkūlahol が大キナオ腹ヲシテ居タ。一通り久□闊ヲ述ベルト、私ハ夕食ヲ求メタ。何モナイ何モナイト云ヒナガラモ、Diratūblai ハ Pkūlahol ニ手伝ハセテ、バナナトプラクトパンノ実ト、ソシテ煮魚トヲ私達ノ前ニ並ベタ。私達ハホントニ空腹ダッタノデ、ムサボルヨウニ其ノ夕食ニ舌鼓ヲ打ッタ。オ腹ガ出来テ一休ミスルト、Bai デ踊ガハジマッタノデ、皆デ寢床ノ用意ヲシテオイテ、Bai ニ踊ヲ見ニ行ッタ。

〔欄外に記す〕  
[51 頁へ]

二十三日 火 晴，風ナク暑シ，

夜，月ガアカルイノデ，剛サント外出，カナリヤデビールヲ少シ飲ンデ，Ibūkūl ノ方ヲ一マハリ散歩シ，十一時半ニ帰ッテクル。

二十四日 水 ドウニカ晴，

朝八時，サイパン丸入港。

京都大学ノ泉井久之助氏<sup>213)</sup>ガ来テ，支庁カラ，興発倶楽部ニ宿ラレタカラタノムト云ッテ来タノデ，夕食後一寸行ッテクル。舟木サンノ処ヘモ一寸。奥サン熱ヲ出シテネテ居ル。オ腹背中稍イタシ。

二十五日 木 晴，

十一時半頃，泉井氏役所ニ見エ，街デ中食，後公学校ニ行ク。寄宿舎ノ舎監室デ二時間程モ子供カラ言葉ヲキキ，夕方帰ル。

オ腹背中痛ク早寝スル。

ト云フコトニシテ，マサニ寝ヨウトシテ居タラ，Hobhoū ト Ebilūlūkd トガヤッテ来て喋ッテ居ルウチニ，Sailong ガヤッテ来ル。皆ガ帰ル前ニ入カハリニ堀君ガ来，又話シテ居ルウチニ栗山君ガ来テ，結局十一時ヲ過ギル。背中痛ク白金懐爐ヲ入レテ寝ル。

〔受信〕 平野義太郎，土方久顕，金子九平次（2），中沢英子，柴山妙子，竹下源之介，三沢露子，雑誌「太平洋」「南洋水産」

二十六日 金 晴，

昼前，泉井氏ト図書室ヘ。

午後五時，泉井氏ト「熟生」ヘ。六時，羽根田，和田，加藤氏皆デブラブラ歩イテ Teheki ヘ。剛サンモ来テ居テ途中デ逢フ。Teheki デ島民食ヲ馳走ニナル約束ナリ。稍オソカッタノデ，行ッたらバ スッカリ用意ガ出来テ居タ。

笠置丸入港。

二十七日 土 朝カラ真クラデ、ヒロヒロト風ガ冷タカッタガ、昼カラ終ニヒドイ風ニナリ止マナイ、

発信 後藤 禎二，園子，八重子，

受信 山田利三郎，

昨日ノ笠置丸デ来タ、赤松俊子ト云フ女流画家<sup>214)</sup>ガ役所ニ訪ネテ来ル。  
ヒドク背中ガ痛ンデタマラズ、十時半頃ニ役所カラ帰ッテ来テ、懐爐ヲ入レテ寝テシマフ。夜モ今日コソ八時ニハ寝テシマフ。

二十八日 日曜日 雲ガ多クキレタリツナガッタリ、雨ガ降<sup>[ママ]</sup>ッリ□降ッタリ、ソレカラ止ンダリ、午後ハ一寸日モ照リカケタリ、又何度デモ降り、夜ハ遅イ月ガ煌々ト照ッタリ、又チャンチャン雨ガ降ッタリ。

<sup>[欄外に記す]</sup>  
[Ngatkip]

今日ノサイパン丸デ課長ト飯田君ガ東京ニ出張スルノデ、ソレカラ松野君ガ休暇デ帰ルノデ、波止場マデ行クツモリデ、久保デ松野君ヘオ菓子ヲカッテ波止場ニ行ッたら、バスデマリヤニ逢フ。マリヤモ松野君ヲ送りニ行クト云フノデ、何デモ船マデ行カウト云フ。ソノウチニ松野君ガ来タノデ、船マデ行クコトニスル。課長ハ最後ノランチデ来ル。羽根田君ガリサーチデ来テ居タノデ、マリヤト其レニ乗ッテ先キニ帰ッテ来ルト、波止場ニ Uhelioyō ト Uhelbil トガ来テ居テ、松野君ヲ送りニ来タノダケド、遅レテ逢ヘナカッタノダトテ物足りナイ顔ヲシテ居ル。バスガスクノヲ待ッテ、皆デア・バイマデ帰ッテクルト、バイニ昨日ノ赤松氏ト守屋氏トガ居ル。大キナ守屋氏ガ小サナ絵具箱トスケッチ板トヲ持ッテ——赤松氏ハ半ズボンニネクタイナシノセビロ形ノ上着ヲ着□テ——守屋君ガア・バイノ説明ヲシテ□クレト云フノデ、マリヤ達ヲ待タセテオイテ、一通リ説明スル。ソコヘ Kasaol モヤッテ来テ、bilas ガ来テ居ルカラ Ngatkip<sup>215)</sup>ニ行カウト云フ。Uhelioyō 達ハ行ッテシマッタガ、今日ノ Ngatkip 行キノ本尊ハ Baūdong 達ダトノ事デ、Baūdong モ居タ。デ、マリヤト Baūdong トハ、着物ヲ着カヘテオミヤゲモノヲ揃ヘテ来ルト云フノデ、Kisaūl ト Tehekī ニ行ッテ待ツ。十一時半、小サナビナスニ乗ッテコロール波止場ヲ出、途中 Ngerhamai ニヨッテ更ニ四五人ノオ客——コノオ客ノ方ガ主ナノダガ、ヲ乗セテ行ク。十二時半ニ Ngatkip ニ着ク。bai デー休ミスルウチニ又雨ニナル。雨ノ中ヲ村ニ入り、ムサクルシイ感ジノスルー軒ノ家ニ案内サレル。小サナ ūm ノ様ナ其ノ家ニハ、イッパ□イ人が居リ、米□ノ飯ヲ盛ッタ皿ガ二三モボックスノ上下ニアッタ。Hap ニハ大キナ三尺モアル kawanang ニイッパイ、椰子ノ葉デククラレタ魚ガ煮エテ居タ。□Maria ハオ腹ガスイテ仕方ガナイカラ食ベルモノヲクレト云ッテ、行クトスグニ食物ヲ催促シタ。而シテ私ト Maria トハ Diokang ト Klongoes el ngikel トデ食事ヲスマセタ。其ノ間モ人々ガ来タリ行ッタリシタ。隣リノ□炊事小屋

デハ、青年達ガ何カ煮物ヲシテ居タ。飯ノ皿ガ後カラ後カラト運バレテ来タ。olbed ニハ<sup>B o x</sup>ボックスノ上ニバナナノ総ダ□ノ、何カソソナ食物ガノセラレテ居リ、其ノ上ニKabūiノ葉ガ蔓ノママ山ノヨウニツマレ、ボックスノ傍ニハbūihノ総ガ一山、竹ノ棒ヲ通シタママ置カレ、水瓶ニハ何ガ入ッテ居ルノカ、a keaiデ蓋ガサレテ居タ。家ノ中ハ皿ノ山ト沢山ノ人間トデイッパイダッタガ、下手ノ戸口ノ処ニ幾分ヤツレタ女ガ、生レテ十日程ニシカナラナイ赤子ヲ、赤イ小サナフトンノ上ニネカセテ、一枚ノタオルヲカケ、フトンゴト膝ノ上ニ抱イテ居タ。今日ノ馳走作り、青年男女達ガ馳走ヲ持ち歩キ、<sup>急</sup>□忙ガシクアチコチ行キ来シテ居ルノハ、此ノ一人ノ小サナ赤子ノ為ナノdeal。ソノウチニ何人モノ女ガ、□肉ヒキデヒカレタDiokangノ皿ヲ一枚二枚ツツモッテ来テハolbedニ並ベタ。ソレカラ煮魚ノ皿ガ運バレテ、前ノDiokangノ皿ノ上ニオカレタ。

家ノ中デハ飯ノ皿ニ一枚一枚、ilaotガカケラレ、ソレガ外ノ女達ヤ手伝ヒノ青年ニ手渡サレタ。一人ガタピオカト煮魚ト、飯ノ三皿ツツモッテ向フノ家ニ運ンデ行ッタ。向フニハ赤子ノ父ノ親戚ノ□者等ガ集ッテ居ルノdeal。(金ヲモッテ来テ居ルノdeal)皿ガ行ッテシマフト、コレモ家ノ中ニ所セマク並ベラレテ居タ生ノ食物ヲ入レタorūwīkが、二十程モ向フニ運バレテ行ッタ。

コッチガアラマシカタヅイテ来タノデ、私ハ向フノ家ニ出カケテ行ッタ。隣リノ家ノ前ヲ歩イテ行クト、コロールノ若イ女ガ私ヲ呼ビトメ□タ。「マダミンナコレカラ御飯ヲ食ベルトコロデスカラ、暫ク私達ノ所ニ来テ待ッテ□イラッシャイ」、私ハソノ家ニ行ッテ上リコンダ。ūmノ方ニ若イ娘バカリ七八人モ集ッテ居タ。今日ノ手伝人達deal。ソコデ暫ク女達ヲ相手ニ話シテ居ルト、向フノ家カラ呼ビニ□来タノデ行クト、其ノ又隣リノ家ニ男ノ親戚ノ者達ガギッシリ居テ、皆ノ

二十九日 月 終日ノベツニ雨が降り風が吹ク。

夜、興発倶楽部ニ泉井氏ヲタヅネル。一時間程モシテ赤松氏モ帰ッテ来タノデ、十一時頃頃<sup>(ママ)</sup>モ話シテ居ル。其ノ頃ニナッテ雨ヤム。

三十日 火 晴、午後暫ク雨アリ、

午後、常吉氏ノ南太平洋ノ報告アリ、キキニ行キシモ興味少ナシ。

夜、島民達ニ約束シテアッタノデ村ニ行ク。サーカスヲオゴル筈ダッタガ、活動ガイイト云フノデ活動ニ行ク、KisaūトHamaūトSehabidトRosangト。

三十一日 水 晴、

野球第三回戦、南興水産ト、メチャ負け。

グリーンパレスデイッパ□イガ脱線シテ、夜中一時迄、部長、検事、通信課長、宮下氏等――。

〔欄外に記す〕  
〔前頁ヨリ〕

前ニ馳走ノ皿ガ配ラレテ居テ、コレカラ食事スル所ダツタ。私ガ行クト皆ノ者ハ食ベ出シタガ、私ハ少シ前ニ食ベタバカリダツタカラ、ココデハ食ベナカッタ。食事が終ツタノハモウ三時頃ダツタロウ。此ノ家ガ例ノ Ngkatkip ノ神様ノ家デ、前ノ Olbed ノ一方ノ大キナ木ノ下ニ、全高三尺バカリノ宮ガアツタ。昔 Ngeltelap 神ノ宮トシテ Imür ニ残ツテ居タ。Heyos ノ形式ヲ小サクシタ様ナモノダツタ。

外ニ出テ引返シテ前ノ家ノ所ニ来ルト、石畳道ニ椰子ノ葉ヲ敷キナラベテ座席ガ出来テ居タ、ココニ男ノ親類ノ者達ガ二十人バカリモ座ツタ。丁度此ノ頃雲ガ切レテ黄色イ日ガ照ツタ。Olbed ヨリ又、ボックスガ出サレテ、何かカニカ食物ノ皿ガノツテ居リ、ソノ傍□ニ瓶ガ置カレ、akeai デ蓋ガサレテ居タ。待ツ程モナク産婦——新ラシイ母ガ□裸ニ昔通りノ新ラシイ色トリドリノ腰蓑 Heriut ヲツケテ、幅広ノ革ノ Ptek ヲシメテ、体ヂウニ顔カラ足ノ先キマデ、椰子油 Helüh デ溶イタ鬱金 reng ヲ真黄色ニヌツテ、型ノ如ク大キナ両方ノ乳ヲ両方ノ腕デ抱キアゲテ、中央ノ戸口 Tewangngal カラ出テ静カニ olbed ニオリ立チ、ソノママ静カニ前方ニ歩ンデ、私達ノ居ル一聞程前マデ来テ止ツタ。彼女ノ斜メ後カラ日ガ照ツテ、彼女ノ総身ノ椰子油ガ テカテカ ト光リ、reng ノ黄色ガ稍ドス黒クゴーガンノ絵ノヨウナ金色ニ輝イタ。女ハ流レル様ニ塗ラレタ椰子油ガ目ニ入ルノカ、□痛タソウニノベツニ目ヲシバダタイテ居タガ、乳ヲ抱ヘタ腕ヲ動カスコトガ出来ナイノデ直立シタママ、只々時々目ヲ□ツブツタ。直グニ一人ノ女ガ□バケツニ香湯 osürüh ヲ□汲ンデ来テ、彼女ノ足モトニ置イタ。見物人——男方ノ方カラ三人ノ若イ娘ガ、コレハ洋服ノ上ニソレゾレ Heriut ヲシメテ olbed ニオリタ。一人ノ他ノ娘ガオヒヤノハモニカラ吹き出スト、此ノ三人ノ娘ハオヒヤノ型ヲ踊リナガラ、一列ニナツテ中央ノ「母」ノ方ニ進ミ、彼女ノ後ヲ一廻リマハツテ前ニ現ハレタガ、先頭ノ一人ガバケツノ中カラ香草ノ葉ヲトツテ、踊リナガラ香湯ヲヒタシテハ、二度三度□□「母」ノ足ヲヒタシタ。此ノ三人ノ娘ガ出テ来ヨウトスル時、家カラハ一人ノ女ガ、マダ生レテ十日程モタナイ小サナ赤□子ヲ、小サナフトンノ上ニ寝カセタマ□マ抱□イテ出テ、其レヲ前ノ男方親戚ノ集ツテ居ル所ニ持ツテ来テ、其ノウチノ一人ノ女ニ渡シタ。其ノ女ハ此ノ儀式ノ終ルマデ、其ノ□赤子ヲ彼女ノ膝ノ上ニ乗セテ居タ。三人ノ娘ガ前ノ様ニ踊リナガラ引込ムト、若イ母ハ其場デ静カニ右廻リシテ、元ノ様ニ家ノ中ニ帰ツテ式ヲ終ツタ。島民ガ若椰子ノ実ニ口ヲツケテ、私ノ所ニモツテ来テクレタ。

ソレカラ又雨ガ降り出シテ、急ニ日ガ暮レタ。

## 二月

一日 木 終日雨風、  
笠置、内地向出港。

二日 金 終日実ニヨク降ル。

バラオ丸、内地向出港。

発信 ㊦金井新吉 (ロタ), 中沢英子, 三沢露子, 金子九平次,

受信 金井新吉ヨリ, 電報ニテ, ロタ行き不可能ナラバ杉浦ヲヨコセト。

三日 土 何ウニカ降ラズニモッテ居ル。

夜, Bahasa Melaoe, 後, 剛サント街ニ出, パレス ニ行キシニ, 前田氏ヨリ既ニ酔ヒ居リ, 皆デ ライオン ニ行キシモ, 前田氏オチツカズ, 何デモ金ズシニ行クトテ上ル, 剛サン先キニカヘ<sup>ル</sup>□リシコト知レシヨリ, 余モ直チニ出デテ探シシモ居ラズ, 再ビパレスニツカマリ, 一時半, 剛サンマッテ居リ, 三時頃モ話シ。

四日 日曜日 曇, 驟雨少シ, 午後雨ニナリテ終マズ, 夕刻止ム,

昨日ノ今日ナレド, 六時ニオキテ, 七時研究所ニ行キシモ一人モ居ラズ, 伴氏ガ来テ居タノデ, 二人デ宿舎ニ行ッテオコス, 何ノカノシテ Research<sup>[ママ]</sup>ニノ乗ッタノハ九時ダッタ。朝ノ静カナ海ヲ Research ハ, 揺レモシナイデ ポンポント走ル。

ウルクタブルノ西側ニ添ウテ行ク。岩山ハイツモ青ク, 岩山ハイツモ魅力ガアル。サワラガ一匹引繩ニカカッタガ, ソレカラ一時間ノ余ヲ グッスリ ト寝コンデシマフ。十一時ニ目ヲアイタラ, 船ハ小サイ砂浜ニ入ラウトシテ居タ。エンジンヲ休マセナガラ, 少シ遊ンデ行カウト云フノダッタ。此処ハウルクタブルノ裏ニ出ル水道ノ手前ダッタ。羽根田君ハイツモノヨウニスグニ飛ビコンダガ, 私ハ水□眼鏡ヲカケテオリタモノノ, 水ガアマリ冷サイ<sup>[タ]</sup>ノデ, 泳ガズニ<sup>浜ニ</sup>□□歩イテ浜ニ上ッタ。

別段ノ何物モナカッタガ, 暫ク遊ンデ居ルウチニ, パラパラ雨が来タノデ, 再ビ<sup>本</sup>□船ヲ出シテ Nghūd ニマハル。十二時ニ着ク。南洋真珠ノ養殖所ハ深い入江ノ前ヲ, 大キナ岩山デフサガレタ静カナ美シイ小サナ砂浜ダッタガ, □予想トハチガッテ, 作業室ヲ海ノ真中ニツキ出シ, 陸ニハ大キナ宿舎ガ二棟, ソレニ島民ノ家ガ二軒, 大キナタンク, 其他何カラ何迄行き届イタ設備ダッタ。平生ノ日ハ此処ニ二十人カラノ人が居ルノダソウデ, 土曜, 日曜ニハ皆コロールニ出ルノデ, 今日ハ一人モ居ナカッタ。

和田サン, 島民ノ家ノ方ニ行ッテ来タガ, 何処カニ遊ビニ行ッテ居ナイソウデ, 婆サンガ何か云ッテ居タケド ヨク ワカラナイ ト云フ。↙

六日 火 久々ニ朝カラヨク晴レテ暑イ,

朝役所カラ, 泉井氏ノ所ヲ尋ネタガ, 留守デ, 赤松氏ガ居タノデ, 二時間程話シテ来ル。

夕方泉井氏ガ来テ, 野元氏ノ所ニ一寸行クト云フノデ一緒ニ行ク。泉井氏ハ明日本島ニ行クトカデ, ノートヲ返シテ行ッタ。

茲シバラク痛マナカッタ、オ腹、背中が今日重イノデ、八時頃帰ッテ来テ寝テシマッタラ、十時頃ニナッテ剛サンガオコシニ来ル。

ㄨ島民ノ婆サンガ出テ来タノデキイテミルト、

若イ男達ハ女房ヲツレテ植木島 Orop ニ遊ビニ行ッタ由、三時頃デナケレバ帰ルマイト。Müttükül Hoigüll ハスグコノ裏ニアタル由、Ngirbabl ハ以前ニ人ヲ案シテ行ッタ事ガアルカラ道ガワカルダロウト。

Ngeangngas ニハ、以前ニ Müttükül Hoigüll ニ居タ Ngirapsis ガ南賢カラ頼マレテ開墾シテ居ル由。

明日ハ十六人ノ日本人ガ来ル由。

作業室ノ土台ノ周圍カラ附近ニカケテ、何万ト云フ Mekkūd ノ群、加藤君ハ此ノ Mekkūd (鯛) ガ当テ来タノダガ、丁□度沖繩ノ漁師ガ二人来テ居タノデ、一網取ッテ貫フ。明日 Müttükül Hoigüll ヲ案内シテ貫フコトニシ、午後カラ Ngeangngas ニ行カウト、中食ヲシタタメルト雨が降ッテ来、一面ノ雲ニナッテシマヒ、雨ハ益々ヒドク止ミソウモナイ。ソレデ皆ゴロゴロト寝コンデシマフ。

夕方ニナッテ雨止ミ、夕焼ガソレハ美シイ。

夜ニ入ッテ羽根田氏ハ又、草ムラノ中ニ Tililüyüh ヲ探シニ行ク。三人ハハマーチャン。

五日 月 晴レル。夜一寸雨アリ、

〔欄外に記す〕

〔Müttükül Hoigüll〕

朝食後直チニ船ヲ出シテ Müttükül Hoigüll ニ行ク。向フノ砂浜カラハ却ッテ登ル道ガナイサウデ、一寸手前ノ少シばかり入江ニナッタ所ニ船ヲツケ、赤蟲除ケニ脚首ニ油ヲ塗ッテ登ル。加藤君ハ弱氣ヲ出シテ船ニ残ル。

山ハ、ケハシク高く、路ハ往々道デナイ。尤モ私達ハ道バカリヲ歩イタノデハナイカラ、道デナイノガ当り前ダガ、Ngirbabl ハ トゲトゲ ノ岩ノ上ニ裸足デドンドント歩ク。併シナル程道ガナイノデハナクテ、私達ハ時々確カニ明ラカナ道ニモ出、土ノアル所ニモ出タシ、殊ニ北海岸ニ降リル道ハ、楽々ト歩ケルヨウナ明ラカナ道ダ。ソシテナルホド、道跡ト思ハレル所ハ石ヲ平ラニ敷イテ段ニ作ラレテ居ル。ソシテ道ノツキル海岸ニハ一軒ノ家ガ作ラレテ居テ、人ハ居ナカッタガ三四人ノ人が宿ッテ居ルラシク、シャツ、ヅボン等ガカケテアリ、□カマドニハ釜ガカカッテ居リ、<sup>〔帯〕</sup> 一体ガ伐切サレテ居タ。誰ガコンナ所ニ来テ居ルノカ、一人ハ日本人ラシイ。



ルノdeal。岩山ニハ確カニ人ガ棲ンダ。ソレハNgarongholヤNgasaksao或ハPeliliyoūニ近い砂島ノヨウナ所ニ人ガ棲ンダノハ当然dealガ、伝説ニアルヨウニ、Ngarmidノ岩山ニモ、Ngerdwaisノ岩山ニモ、ドコニデモ人ガ棲ンダノハ確カダ。先日行ッタRisongアタリハ確カニ人ハ棲ンダガ、地モセマク、年代モ永イトハ考ヘラレナイガ、此ノ水モナイMüttükül Hoigüllニハ相当ノ数ノ人間ガ、相当永イ年月ニ渡ッテ棲ンダコトガ確カダ。ソレガ伝ヘラレルヨウニ、戦争ノ為バカリダツタカ何ウカハワカラナイガ、ソシテアマリ多クナイBisūh芋トMdū li yoūノ外ニハ、Hosēkedダノwosūhダノノ様ナ木ノ実バカリ食ベテ居タトシカ考ヘラレナイ事ハ、幾分物足りナイノデハアルガ。シカモ年代モサシテ古イ古イコトデハナイヨウデ、伝説ノヨウニココカラa IraiノHoigüllニ渡ッタトシテモ、ソレハ百年ヲタイシテ越エナイ□新ラシイ事ノヨウニ思ハレル。

丁度昼前ニNghūsニ引カヘシ、中食後——中食後間モナク南洋真珠ノ一隊ガコロールカラヤッテ来タノデ、会社ノ和田氏ト西川氏？トヲ誘ッテ皆デNgeangngasニ行ク。丁度前ニ記シタNgirapsioニヨッテ開拓除草サレタアトラ一廻り向フ海岸迄マハツタガ、ドコニデモ、殊ニa Bakaiノ□塚ニハ無数ノ貝殻ガアリ、中ニポツポツ刃ノツイタ貝器ガ見当ツタ。三時ニ一度Nghūsニ引返シ、両和田氏ト西川氏ヲ上ゲテ、其ノママコロールニヒキカヘス。六時ニ新波止場ニ帰ル。

七日 水 晴、

昨日カラ又、稍背中痛シ。

〔欄外に記す〕

〔34頁ヨリ〕

●三十一日 晴、

十時頃ニナツテ、皆デ一寸学校ニ行ッテ校長ニ挨拶シテ、南貿ノ分店ニ行ク。少シ早カッタケレド、店先ニ腰カケテ、オ茶ヲ入レテ貰ヒ、用食ビスケヲ出シテ貰ヒ、持ッテ行ッタ罐詰ヲアケテ食事ヲスマセル。ソレカラプラプラNgesangノ方ニ行キカカルト、マングロープノ中デ、一人ノ男ノ子ガ手拭ヲカブッテ、ピスカンヲモッテ魚ヲ突イテ居ル。羽根田君ハサキカラ海ニ入り度イト云フノヲ、此処ハ遠浅デシカタガナイカラ、Halapニ行ッテ泳ガウト云ッテ止メテ居タノデアツタ。ソレデ子供ガピスカンヲ持ッテ潜ッテ居ルノヲ見ルト、又一ツオボエノKaū mei ! Kaū mei !ヲハジメタ。子供ハ自分ガ呼バレテ居ルト思ッテ頭ヲアゲテコチヲ向イタ。ソコデ私ハ羽根田君ノ応援ニ出タノダツタ。ソシテバラオ語デ、「ソノピスカンヲ見セテゴラン。先キハ一本ナノカイ、ソレトモタオヅ（三本銚）カイ」。子供ハ何ダカヨクワカラナイ様ナ風ナノデ、私ハマスマス大キナ声デ、「オ前ノソノ銚□ハタオヅヂヤナイノカイ、一寸其ノ先キヲミセテゴラン」、ソシタラ其ノ子、大キナ声デ答ヘテ曰ク「僕、南貿ダヨ」。其ノ子ハ、今寄ッテ来タ南貿分店ノ子供ダツタノダ。二ノ句ガツゲナイト云フ言葉ガソノ通り我々ニアテハマツタ。

皆デ逃ゲル様ニシテ其処ヲ過ギタ。アノ子ハ家ニカヘッテ、今ノ有様ヲ喋ルニチガヒナイ。羽根田君ハ私ニ八分ノ罪ヲ主張シタガ、中正ナル和田、加藤ノ両君ハ、羽根田君ノ一ツ覺エノ Kaū mei ノ方ニ八分ノ罪ヲ認メテクレタ。

八日 木 晴,

夕方一寸村へ、明後日ノ Ngermülüngüi 行キニ就イテ。

夜、南郷熟宴会、豚ノスキ焼キデ ビール。後皆デ ゾロゾロ 出テ、結局二時半就寝。

九日 金 晴,

早朝、名護屋丸入港、田山氏ニ会ヒニ行ク。

十時、図書室デ羽根田君ニ会ヒ、帰ッテ寝テシマフ。夜一寸 Tehkī 迄。

十日 土 曇後雨,

今日出カケルト云フノニ、朝カラ雨が降りハジメル。シカシ間モナク止ンダノデ、八時半頃 Tehēkī へ。Kisaū ト Singei ト、ソレカラ昨日出テ来タ Mehelings ト Midori デ Almettengngel<sup>216</sup> へ。Imilik<sup>217</sup> ノ所デモウヒドイ雨ニナツタガ、Ngatpang ヲ過ギテ一寸止ム。昼ニ<sup>アルマテ</sup> Almettengngel ニ着イタ時ハ幸ニ薄日ガ差シタ。Irisong 家ニ行キ、中食後、皆デ川ニ水浴ニ行キ永イコト泳グ。後 Mehelings ハ a Imeyong<sup>218</sup> ニ行ク。ソレカラ又々雨ニナツテ止マズ。夜、背中キリキリ痛ミ、湯タンボヲ入レテ寝ル。

十一日 日曜日 紀元節 終日曇、東北風、昼前一寸雨、

<sup>[音]</sup> 痛中モドウヤラ痛マナイノデ、三人デ a Imeyong ニ行ク。途中マデボーキサイドノトラックデ飛上ガル程ユラレテ。Mehelings ハ緑丸デ帰ルトテ行ッテシマフシ、Almettei デ紀元節ノ式ガアッテ野球ガアルトカデ、村中ノモノガ皆行ッテシマフ。仕方ナシニ三人ダケデ Ngürūthei カラ真直グ Hetilwil ニ登ル。ヒドイ急ナ坂ダガ、上ノ方ハ草ガナイノデ見透シガヨク、案外氣持ヨク、水サヘアレバ咽ヲウルホシテ一時間余デ頂上迄行ク。

一番上ハ又草ガ深クテ、i ニ行ク道ガドウシテモワカラズ、下山トキメ、Rois belūū ノ道ヲ探シテモ是亦見付カラズ、仕方ナク登ッタ道ヲ真直グ降りテクル。a Imeyong ノ aprül a hong ニツイタノガ丁度十二時、一寸休ンデ村ニ入ッタガ、ドコニモ人が居ナイノデ、思ヒキッテ Almettei ニ引返シタガ、空腹ナノデマングロープノ橋ノ手前ノ芝生ノ道端ノ蔭デ、オ弁当ヲヒライテ食べ、一時半カ二時前ニ Almettei ニ帰ッテクル。又々背中ガヒドク痛ミ出シ、湯タンボヲ入レテ寝ル。二回。

十二日 月 曇、薄日、

背中ハドウニカ痛マナイガ元氣ガナクテ、半日グヅグヅシテシマヒ、一時半アルミ<sup>□</sup>

ニュームノ船□ニ便乗サセテ貰ッテ Horeor ニ帰ル。ポーキサイトノ大キナサンパンヲ引イテ居ル上ニ、東風ガハゲシク、a Irai 寄りニ廻ッテ来ルノデ、□<sup>M</sup>Ngmalahal ラマハッテ、サンパンヲ置イテ、波止場ニ入ッタノハ六時前ニナッテ居タ。宿ニカヘルト、南洋神社ノ提灯行列ガ出ヨウトシテ居ル□ノデ、誘ハレテ一寸オ茶ヲノンデ直グニ出カケル。大変ナ大ゲサナ行列デ、先頭ガ神社ニ着イテ万歳ヲ唱ヘテモ、後ノモノハマダホテルノ辺ニ来タバカリ。廻レ右シテ戻リ、マダライニ集ッタ時ニ忽チドシヤプリニ降ラレ、万歳ヲ叫ンデ雨ノ中ヲ倶楽部ニ引上ゲタノガ九時、濡鼠ニナッテ帰ル。

十三日 火 <sup>[ママ]</sup> 早雨、後止ンデ晴レル。

夕方カラエイ子ガ遊ビニ来ル。

又、独身合宿ノ對抗野球試合ガアルトテ、応援団ガ張りキッテ居ル。

十四日 水 晴、

第一カラ第五合宿ノ聯合軍ノ名ガ飛龍軍ト云フコトニナッタソウデ、何デモ其ノ飛龍軍旗ヲ画イテクレト云フノデ、大キナ紺地ノ人絹ニ飛龍ヲカカサレル。

夕方、泉井君ガ本島カラ昨日帰ッテ来タテクル。夜、赤松君ノ所ニ油ヲ分ケテ貰フツモリダッタノデ、興発倶楽部ニ行キ、泉井君、赤松君ノ所ニヒッカカッテシマッテ、十時半頃マデ遊ンデ来ル。

日暮、Kisaül ト Baüdong トガ遊ビニ来ル。

十五日 木 晴、

吉本君ノ所カラ、今度産業協会カラ「産業ノ南洋」ト云フ雑誌ヲ出スノデ、ソレモ原稿ハモウ集ッテ印刷所ニマハッテ居ルノダカラ、急イデ表紙ヲ作ッテクレト云ッテ来ル。仕方がナイカラ役所デ画イテクル。

夜、藤井病院長<sup>219)</sup>ヲ訪ネタガ、留守。一寸門前デ奥サント立話シテ後、泉井君ノ所ニ行ク。

十六日 金 晴、雲多シ、

野村君ト陣内君ト、徳村君ノ所ニ夕方ヲ呼バレル。アヒル<sup>[食]</sup>ノヂャヂャ。

九時半ニ帰り、剛サント村ヲ一マハリ散歩。

十七日 土 晴、

山城丸ガ今日入ッテ明朝未明出ルコトニナッテ居リ、ソレデ泉井君ガヤップニ渡ルト云ッテ居タノデ、朝十時頃、泉井君ノ所ニ行ッテクル。

羽根田君ガ来テ、明日ノ南星丸<sup>ナツ</sup>デボナベニ行クコト□□ニナッタカラトテ、挨拶シテ

行く。

午後二時カラ飛龍ト南賀ノ試合ダッタノデー一寸行ッテミタガ、三回デ九対一ニナッテシマッタノデ、ツマラナクテ帰ッテ来テシマフ。

夕食後、堂本部長ヲ訪問、二時間程モシテ帰ラウトシテ居タラ、赤□松君ガ、コレモヒョッコリ訪ネテ来タノデ、又一時間程話シコンデシマヒ、八時半頃一緒ニ辞ス。赤松君ハ検事ノ所ヲ訪ネルトテ行く。自分ハ村ニブラブラ出タラ、Maria ニツカマリ、オミヤゲヲ買ッテ Tehekī ニ行く。Kisaül ト Maria ト Baüldong ト、冷タイモノヲオゴレト云フノデ行ッテ居タラ、堀君達ニ会ヒ、小林君ニ逢ッテ又、ヒッパラレテシマフ。

十八日 日曜日 曇、雨何回モ降ツタリ、止ンダリ。

早朝、南星丸ニ羽根田君ヲ送りニ行くツモリダッタガ、雨が降ッテ居タノデヤメテシマフ。ボンヤリ家ニ居タラ、昼前ニナッテ徳村君ガブラットヤッテ来ル。ソレカラ、Kisaül ト Baüldong ガ来ル。三時ニ皆帰ル。

山城丸ハ昨日夕方ニナッテ入港シタノデ、明朝出ルコトニノビタノデ、今日夕方乗込ミト云フノデ、泉井君ノ所ニ Orsahar ヲ オミヤゲ ニ持ッテ行ッたら、泉井君ハ留守デ、二十四日ノ泰安丸ニ延バシタトノコト。赤松君ガ五十号ノカ**ンバス**ヲカカヘテ出カケル所ダッタノデ一緒ニ引カヘシタガ、自分ハソノママ宿ニカヘッテシマフ。

十九日 月 雨、午後僅カニ晴ル、

夜、舟木氏ノ処へ。

夕方、一寸泉井氏来。

一昨日話ガアッタノデ、<sup>[ママ]</sup>早ノウチニ堂本部長ガ一緒ニ Dülüi ノ a Diangngal ヲ見ニ行くアウト云フノデ行く。帰り林氏ノ所ニヨッテ、高松君ノ作ッタ Bai ノ模型モ見セル。

二十日 火 晴、西北ノ風ガ寒イクライ。

夜、堀君ト Baüldong 達ノ所へ島民食ヲ食ベニ行く。田沼サンモ来ル。後**コロール**波止場へ。日暮、泰安丸入港。

二十一日 月 <sup>[曇]</sup>雲、午後雨、ヒドク寒イ、

夜、Kisaül、Baüldong 遊ビニ来ル。高松君来ル。背中痛ム。

**[受信]** 高野次郎、吉田謙吉、安達玉枝、柏村幸太郎、三沢寛、雑誌「太平洋」

二十二日 木 雨、午後ヤミ、夕方薄日、

泉井君、此ノ泰平丸デ、アンガウルニ行ッテクルトテ、役所ニ挨拶ニ見エル。

夜、藤井院長ノ所ニ遊ビニ行ク。

二十三日 金 晴、午後曇、夕方パラパラ雨、夜十六夜ノ月美シ、  
夜、村ニ出、Kim ニ行キ食事。Baıldong, Diratūli, Kisaūl トナガイコト喋ッテ居  
タガ、後更ニ Baıldong, Kisaūl トコロール波止場へ。

二十四日 土 晴、夜九時頃驟雨、  
夜十一時過ギテ、小林、堀君トコロール波止場へ月見。

二十五日 日曜日 晴、午後驟雨アリ、夜モ驟雨アリ、  
発信 土方久顕、土方静子、杉浦健一、柏村幸太郎、安達玉枝、高野次郎（日本大学  
生）、麻原□三子雄、柴山昌生、三沢寛、中沢忠久、

昨日ハ南進寮ト飛龍ノ野球アリ、八対二ニテ飛龍勝、今日又飛龍ト旭トノ野球アリ。  
非常ナル接戦ニテ、一点ノ差ニテ飛龍ガ勝ちサウニテ、合宿ハ大変ナ勢ナリ。

午後二時頃ニ、栄子、佐和子来リテ五時半迄モ遊ンデ行ク。

夜、堀君ト山田君ト<sup>o b e h e t e l</sup>□□□□□□□□ Teheboet ニ ngduul ヲ食ベニ行ク。田沼サンモ  
後カラ来ル。

二十六日 月 晴レタリ曇ッタリ、驟雨がアツタリ、朝ヒヨヒヨ涼シク、午後蒸々ア  
ツシ、

午後四時出港ノ泰安丸デ、泉井氏ガヤップニ行クノデ送りニ行ク。

二十七日 火 朝カラ雨が降ッテ居ル、チキ止ンダガドンヨリ曇ッタ□ママデ、午後  
ハ又ズット雨ニナル。夜、降ッタリ、止ンダリ、

夜、Kisaol, Baıldong 来ル。

二十八日 月 ヨキ晴、

今日又、野球。南拓荘ト飛龍デ、十対五デ大敗ナリ。

夜、Kisaol, Baıldong 来ル。

二十九日 木 晴レタリ曇ッタリ、何度トナク通雨ノヨウナ驟雨

夜、堀君ト Tehekī ニ行ク。パンノ実ノ焼イタノト煮タノト、餅ニ搗テ disūh ヲカケ  
タノト、大魚ノ塩煮ノ馳走。

此ノ週、防空週間デ、今日明日ハ警戒管制デ、十時迄ハ燈ガツカナイノデ、シメキッ

夕家ハマタ暑ク、皆デ焼場ニ散歩ガテラ涼ミニ行ク。

## 三月

一日 金 晴レタリ曇ツタリ、何□度トナク霧ノヨウナ雨が降ツタリ、風ガナクナル。  
常吉サンガ十一時半頃ニナツテアワテテ来テ、直グニア・バイノ模型ヲ見ニユカウト  
云フノデ、昼前ニ行ッテクル。

二日 土 晴、

朝九時カラ、土地調査内審議会ガ内務部長室デ□行ハレタ。出席者、内務部長、法院  
長、検事、□常吉事務官、地方課長代理トシテ林サン<sup>(茂)</sup>、税務課長代理中尾氏、ソレニ調  
査員ノ国実氏ト宮本氏トデアル。

夕方、舟木ノ所ヘ行ク。

朝パラオ丸入港。

受信<sup>(補)</sup> 後藤貞二、園子、土方愛子、金子九平次、村田勝四郎、大和田正人（日本大学生）

三日 日曜日 晴、

朝、高松君来ル。十時半頃カラ一緒ニ街ニ出、昼頃帰ッテ来ルト、Kisaül, Singeko  
ニツカマル。

午後三時過ギカラ又野球。飛龍ト颯風、七回迄得点ナク八回ノ裏デ飛龍ガ一点ヲ得テ  
勝ツタ。是レデ全成績ノモノガ三組バカリ残ツタ訳ダ。

○サイパン丸入港、コレデ六七人文士活動舞踊人ガ来ル。

四日 月 晴、朝一度、午後三時頃一度、夜一時過ギテ二度驟雨アリ。

午後マタ法院ノオ客サンノ案内ヲタノマレル。守屋氏ガ二時ニ□車デ迎ヘ□ニ来タノ  
デ、一緒ニ南洋ホテルニ行ク。

司法省ノ行刑局第二課長、河辺湛然氏、全行刑局保健技師、野崎陽之輔氏。野崎氏ハ  
名詞ヲ出シテ、私ハ斯ウ云フモノデスガ、覚エテオイデデショウカト云フ。□咄嗟ニハ  
思ヒ出サナカッタガ、顔ノ印象ニハ確カニ覚エガアッタノデ、ワカッタコトニシテオイ  
タ。多能医院ノ野崎サン、節分ノ豆マキノ野崎医師ノ弟、其ノ野崎ノオバサンガ、陽チ  
ヤン、陽チャント云ッテ居タ人ダト思フ。

ソレカラ横浜刑務所長 東邦彦氏、等デアル。

皆デ二台ノ連<sup>(車)</sup>デアバイニ来テ、ソレカラ街中ヲオ土産買ヒ、夕方ホテルニ引上げ、一

緒ニ夕食ヲ馳走ニナッテ、八時半頃、守屋氏□ト帰ッテクル。

守屋氏、急ニ元氣ヲ出シテ飲ミニ行カウト云フ。二三日続ケテ背中ガ痛ムノデイ□ヤダツタガ、ソコデ又井森氏達ニ逢ッテ、又ゾロゾロ引張ラレル。十時半ニ失敬シテ帰ッテ来テ寝テ居タラ、十二時ニナッテ、剛サンガ酔ッパラッテ来テ、何デモ何か食ベニ行カウト云ッテキカナイ。出タハ出タガ、モウ何処モアイテヤシナイ。「ヤブ」ニ入レテ貰ッテヤッテ居タラ、水産ノ浅野君ガ来、一時過ギテ帰ッテ来ル。

#### 五日（火） 晴、

十時ニ、昨日ノ司法関係ノ人々ガパラオ丸デ帰ルノデ、船ニ行ッテ来ル。

役所ニ帰ッテ来ルト、赤松サンガ部長ニ面会ニ来テ居タ。□□部長ガ会議ガアツタノデ、話ヲキイテクレト云フ。ソレデ南貿ニ行ッテオ茶ヲノミ乍ラ、話シ、十一時過ギ図書室ニ野口君□ニ話シニ行ク。是レハ赤松君ノ展覧会ノコトト、ソレカラ丁度丸山晚霞老<sup>220)</sup>ガ来テ居ルノデ、一日文化協会ニ美術講演会ヲヤラセヨウト云フノデアル。野口君ハ大賛成ダシ、一切ノ便宜ト世話トヲ引受ケルガ、一応部長ニ話シ、部長カラ課長代理トシテノ林サンニ声ヲカケテ貰ヒ度イト云フノデアル。ソレデ午後一時ニ部長ヲ訪ネル約束ヲシテ、十二時ニワカレル。湯タンポ。

一時、赤□松君ト部長ヲ訪ネテ話スト、直チニ林サンヲ呼シテ話シテクレル。ソレカラ赤松君、私ノ処デ永イコト話シテ居タガ、真珠養殖場ノ佐伯氏<sup>221)</sup>ノ処ニ遊ビニ行カウト云ヒ出ス。ソレハシヤリヤッピンノレコードヲキカウト云フノデアル。三時前、一寸興発倶楽部ニ寄り、自動車ヲタノンデ「アラカベサン」ニ行ク。佐伯サンノ処デ蓄音機ヲキキ、コーヒーヲ飲ミ、ソシテ永イコト永イコト、古イパラオノコトナドヲ話シ、ソレカラ晚餐マデ馳走ニナッテ、七時半、自動車デ送ラレテ帰ッテ来ル。

#### 六日 水 晴、

朝、野口君ト丸山晚霞氏ヲ興発倶楽部ニ訪ネル。

午後、晚霞氏ノ水彩十四点ヲ昌南倶楽部ニ飾ル。

夕方六時、南洋ホテルヘ行ク。文化協会ト新聞社ガ主催デ、先日サイパン丸デ来タ文化使節団ノ為ノ座談会デ、役所カラ部長、各課長、武官、民間カラ南拓其他会社代表者若干、町総代等デ主客三十名程出席、会後十一時迄。視察団ノ一行ハ明朝未明、アンガウルニ行クトテ、会後十一時ニ船ニ行ク。

八木隆一郎氏<sup>222)</sup><sup>〔土方〕</sup>ガ愛子叔母様カラノ手紙トオミヤゲトヲ持ッテ来テクレル。

#### 七日 □木 晴、小サナ驟雨ニ回程、

博物参考館準備案、資料蒐集保護ノ件ニツキ、内務部長室ニテ打合ハセ（林サン、徳村サント）。各支庁ニ対シテハ通牒ニ止メズ、庁令ヲ定メ、告示ヲ出ス様、改メテ立案ノ

コト。

夜、村へ行く。

八日 □金 朝カラ雨ニナリ、夜中迄降ツタリ止ンダリ。

〔発信〕 後藤禎二、土方愛子、三木道夫、大和田正人（日本大学生）

十一時ニ永来重明君ガ役所ニ尋ネテ来ル。南貿ニ行ツテ弁当ヲ食べ乍ラ、島民ノ歌、踊ニ就イテ話シ、ソレカラ物産陳列所ニ行ク。丸山氏夫妻モ検事ノ案内デ来テ居ル。南豊産業カラ、Oreklil ヲ呼ビタツオヲ呼ンデ、倶楽部デ踊ノ型ヲシバラクヤラセタガ、更ニ夜□村吏事務所ニ娘達ヲ少シ集メテヤラセルコトニシテ、街ニオ□土産物ヲ見ニ行ク。新聞社ニ来テ居タ八木君モ一緒ニ行ク。Tekekī デ永来氏ニ別レ、八木君ト引返シ、カナリヤデオ茶ヲ飲ミナガラ、ラジオドラマノヒントトシテ「大工サン」ノアラマシヤー通り話ス。五時頃八木君トモ別レテ、宿ニカヘリ、七時ニ倶楽部ニ行ク。丸山晚霞氏ト赤松君ノ講演ヲタノンデアツタカラデ、スグニ二人モ見エタガ、相ニク其頃ニナツテ雨ガ降り出シタノデ人が集ラナイ。七時半ニナツテ二十人程モ集ツタノデ、話ヲシテ貰フ。九時半頃ニ終ツテカラ、一時間程モ座談、十時半近ク□開散、丸山氏等ヲ送リトドケテ、又倶楽部ニ引カヘス、林氏、林氏、高松氏、野口氏等残ツテ十一時半頃マデモ話シテ帰ル。

九日 土 朝迄雨降りシモ、止ミテヨク晴ル、

夜、飛行機デ来タ新聞記者団ト文化使節団トノ為ニ、村吏事務所デ踊ガアル。

パラオノ女子青年団ノ Matomatong トトラック離島民ノ踊ト、スンデカラ、永来氏ト鈴木氏夫妻ト、Kisaül, Mehelings, Tatsuo ヲツレテ南洋ホテルニ行キ、十二時カヘル。今日サイパン丸ガ出ル筈ダツタノガ、急ニ明日ニノビタノデ。

十日 日曜日 晴、

九時ニサイパン丸ガ出ルノデ行ク。丸山氏夫妻、文化使節団ノ一行、小林君、鈴木氏夫妻等行ク。

帰り赤松氏ノ所ニ一寸。赤松君ハ Uheliyang ヲ画キニ行クト云フデ昼頃行ク約□東シテ別レ、ゴロゴロシテ居ルト、Hobhoū ト Sailong トガ Hohop ヲツレテ来ル。□□<sup>十時</sup>十二時過ギ Tehekī ニ行キ中食、Kisaul ト Heteet ニ行キシ所、下ノ家ニ居ルト云フノデ行ク。

二時近クナツテ三人デ Ngermid ニ行ク。Mehelings モ先キニ来テ居タノデ、皆デ ataoh ニ行キ、涼シイ Bai ニ寝コロブ。大分タツタ頃、松沢氏等ガ来タノデ、ataoh ノ突端マデ行ツテミル。ソレカラ赤松君ハ Mehelings, Kisaul ト永イコト踊ヲ習ツテ居タ

ガ、私ハ背中ガ痛ンデ来ル。夕方 Mehelings ノ所デ食事シテ帰ッテクル。家ニ着イタノガ八時、背中ガ苦シイヨウニ痛ムノデ、九時ニ寝テシマフ。

十一日 月 晴、

夜、研究所ノ和田サンガ来ル。二人デグリーンパレスへ。

十二日 火 晴、昼暫ク雨アリ。

赤松君ノ展覧会ヲ開イテヤルコトニ就キ、十時、文化協会ノ野口君、新聞社ノ森田君、養殖場ノ佐伯君ト、当ノ赤松君ト倶楽部ニ集ッテ相談、南貿ニモッテ行カウカト思ッテ皆デ南貿ニ行ツタガ、面白クナイノデ、結局倶楽部ノ二室ヲ使ッテヤロウト云フコトニナル。

南貿デ林氏カラ、高松君ノアバイノ模型ニツキ、吉本君カラ面白クナイ態度ニ出ラレテ気持ヲ悪クシテ居ル由。其上、高松君ハ経済的ニ逼迫シテ居ルノデ何トカシテクレトタノマレタノデ、午後、早速林君ヲ訪ネ、八十円ダケ渡□シテ貰フ。ソレカラ興発倶楽部ニ赤松君ヲ訪ネ、案内状ニ入レル作者ノ言葉ヲカカセ、デッサンヲ一枚トッテ来ル。ソレカラ、役所ニカヘッテ、推薦ノ言葉、紹介ノ言葉ヲマトメ、アレヤコレヤシテ、新聞社ニ、ソレヲ届ケテ来ル。

□□□<sup>夕方</sup>赤松君ハ全部絵ヲモッテ額縁屋ニ行ッテ居タノデ、夕方行ッテミル。ココデモ一時間バカリ、帰りニ一所ニ食事シテ別レル。

夜、Kisaul ト Shingei ト来テ遅クマデ居ル。

十三日 水 晴、日暮暫ク雨アリ。

昼前役所ニ佐伯君来、一緒ニ南貿ニオ茶ヲノミニ出テ、一時間バカリモ話シテ居ル。

午後、野口君ト□一寸小学校ヘ行キ、展覧会ニ使フ幕ヲ貸シテ貰フ様交渉シテクル。野口君トモ南貿ニ行ッテ三時迄。

夜、舟木サンノ所ニ行ク。留守デ奥サント九時迄話シテ帰ッたら、高松君ガ来、十一時半迄。

十四日 木 晴、夕方小雨、夜遅ク驟雨ニ回、

午後二時頃カラ、赤松君ノ展覧会ノ飾リツケ。額縁ガ乾カナイヤラ何ヤデ遅クナッテ、夜九時ニヤット終ル。終ッテカラ、野口君、松沢君、赤松君ト額縁屋ト川村君ト皆デ宝来軒ニ食事ニ行ク。十二時カヘル。

十五日 金 晴、

カヤンガルニ出張スルト云ヒ出シタノデ、其ノ前ニ例ノ古蹟名勝天然物保存規程ニ就

イテノアラマシヲキメテシマヒ度イト云フノデ、林サント徳村サント三人デ午後四時ニナツテ相談、五時半迄。其ノ間ニ□背中ガキリキリト痛ンデ堪エラレナイ。帰ッテ湯タンボスルト、チキナホル。夜九時過ギテ買物ニ出ル。

十六日 土 晴、

朝、病院ニ行ク。ザルプロ注射。

午後三時カラ、昨日ノ古蹟名勝天然紀念物保存規程課内会議。

十七日 日曜日 晴、朝驟雨、

高松君来、Kisaül, Baüldong 来。

昼、倶楽部へ、二時頃帰ッテ□寝、五時再び倶楽部へ、六時、紀美水産ノ中村陸男サンカラ迎ヘノ車ガ来タノデ、赤松サント二人デ行ク。佐伯サンノ晴サンモ先キニ来テ居ル、話、蓄音器、トマトチーズノスープト ngdūül ノコキールトダックノ丸アブリト、ポテトトニンゲン、ソレカラキウリトアスパラガスト卵ノ皿、ビールノ夕食、パインアップルトパイトコーヒーノデザート、ソレカラ又、話ト歌ト蓄音器ト、笑ヒト親シサト。ソレカラスバラシイ貝ノコレクション□トバリーノ珍ラシイ彫刻物ト。デ十二時前ニナツテシマフ。

迎ヘノ車デ三人、ミュンス<sup>223)</sup> デ清サンガオリ、興発クラブデ赤松サンガオリ、ソシテ十二時少シマハツテ、オ手製ノオミヤゲノパンヲ持ッテ帰ッテクル。バラオデハナカッタ様ナ一夜。

合宿デハ堀サンガ手カラ血ヲダラダラ流シテ居ルシ、剛サンガヨッパラッテイタヅラヲ企テル。二時マデオコサレル。

十八日 月 晴、夜驟雨、

赤松サンノ展覧会カタツケ。

夜、舟木サンノ所ニ行ク。

発信 「中沢英子、(後藤ヘノ言伝)(舟木氏ニ依頼)

十九日 火 晴、

十時出航ノちちぶ丸デ和田君、赤松君ト Ngheangngal ニ行クコトナツテ居タノデ、八時半ニ倶楽部ニ赤松君ヲ訪ネ、九時自動車ヲ頼ンデ一緒ニ熱帯生物研究所ニ和田君ヲ誘フ。九時半、コロール波止場ニ行ツタガ、ちちぶガ来テ居ナイ。又機械ガ悪いソウデ、マラカルデナホシテ居ル由、十時ニナツテモ来ナイ、十一時ニナツテモ来ナイ、三人デ波止場ノ先キニ行ッテ居タガ、十一時半ニハオ腹ガスイテシマツテ、オ弁当ヲ、乾パントチーズトヲ出シテ食ベテシマツテ、十二時過ギテモ来ナイノデ、アキラメテ帰ル相談

ヲシテ居ルト、船ノ人が来テ、何デモ会社デハ出シ度イノデ、二時半迄ニ来ルヨウニ云ッテヤツタカラ待ッテクレト云フ。ソウシテ随分タツタト思フタ頃、二時ニNgūrūkノ<sup>島</sup>□鳥カゲニちちぶが姿ヲ現ハシタ。二時半ニ波止場ニツイタノデ早速乗りコンダガ、船長ト機関長トノ間ニ又々話ガヒッカカッテシマッテ、結局二人ハ荷物オートバイデ会社ニ行ッテシマフ。ソシテ三時半ニナッテ、今日ハ出ナイデ明日ノ十時ニ出ルト云フコトニ決ル。Kisaulモ来テ居タノデ、皆デオートバイデTehekiニ行き、少シ早カッタケレド食事ヲスマセ、別屋□ヲアケテ貰ッテ三人トモ寝テシマフ。目ヲサマスト□日ガ暮レテ居タ。赤松君ハ島民ヲツカマヘテ踊ヲヤリ出シタノデ、和田君ト二人デアラバケツノ和田君ノ家ニ帰ル。八時半。コーヒーク入レテ十時頃マデ喋ッテ寝ル。

#### 二十日 水 晴,

九時半ニ波止場ニ来ルト、十分程シテ赤松君モ来ル。十時半出航。風ナクベタナギニ近イ静カナ海、三時半オコトル着、四時村役場ニ行ク。パント□キユカンバー・サントキッチトクカウトオムスビデ、早ク夕食。夜、Holleiニ行クaked道ヲ遠クマデ散歩、月ガオボロデパットシナイノデ惜シイ。

#### 二十一日 木 晴,

七時半オコトル発、十一時過ギNgheangngal着、Likangニ宿ルコトニスル。昼食後、南ノ休場ニ行ッテネコロブ。和田君ハ早速海へ。

夜又、<sup>(南)</sup>海ノ海岸ニ行ッテ十時過ギマデ。月明ルシ。オ茶ヲ入レテ十時半就寝。

#### 二十二日 金 晴,

終日ブラブラシテシマフ。昼寝ヲシタリ、休場ニ行ツタリ、森ノRosiyang達ノ所ニ行ツタリ。

夜、Marūkūpガ来タノデ、少シ話ヲ取ル。

#### 二十三日 土 晴, 稍雲多ク、パラパラ雨アリ。

朝三人デ海岸ヲ一週スル。腹、背中痛ム。

夜、十時半迄□□□□noteヲ取り、ソレカラ南海岸ニ行ク。和田君ト、四人ノ娘達ト月ノ浜デ十二時頃、歌ツタリ、フザケタリ、ウカレル。

#### 二十四日 日曜日 晴, 稍風強シ,

午前、MakarトNgardohoニ行ッテ、南ノDelonghoklヲ全部キイテ来ル。午後、昼寝シテ後、Brottohニ行ク。夜九時頃カラ南ノ浜へ。沢山ノ女達。赤松君ハ汀デ終始踊ヲ習ッテ居ル。十二時前ニ帰ッテ来ルト、三四人ノ女達ガ又家マデツイテ来ル。又休ミ

場ニ腰ヲオロシテ一時過ギマデ話シテ居ル。ソナニ惜シイ月。

二十五日 月 晴，風強シ，夜パラパラ雨，  
前(午)前 Tebong，午後 Ngardoho，夜 Ngūrūdong，十時頃カラ又浜デ遊ブ。

二十六日 火 昨夜半過ギカラ雨ヒドク，朝迄降りツツケタガ後止ム，但シ風強ク終日暗ク曇リ，時々雨来ル。

夕方，Motir ノ処ニ行ッテ話。

夜ハ Ettelngal ニ女子供達ガ沢山集ッテ来ル。

二十七日 水 ドウニカ雨止ミシモ終日曇，薄日，  
昼前 Brottoh，午後，干潟ヲ皆デ Ngeriyūngs<sup>224)</sup> ニ行ク。夜ハ Ettelngal ニ皆ガ集マル。海デ背中痛ム。

二十八日 木 晴レテ風モ稍シツカニナル。  
午前 Tebang，午後一寸海ニ行ッテ Orūwal ヲ探ス。後 Delebohol。

二十九日 金 晴，  
午前，Makar，Ngardoko，午後皆デ海。

三十日 土 曇，午後雨，  
朝，Tebang，□昼前ちちぶ丸来ル。アルコロン巡査ト ガラルド校長来。  
明朝早イノデ，ポツポツ荷物カタヅケ。

三十一日 日曜日 朝□カラ曇，□□<sup>時々</sup>(終日) 雨降ツタリ止ンダリ，  
朝六時，Ngkeangngal 発，十時 okotol，午後四時頃，コロール着。  
夜，赤松君，和田君ト南洋ホテル へ晩□餐。

## 四月

一日 月 晴，雲多ク一二度小雨，  
興亞奉公日，早朝遙拜式，体操。  
病院ニ行キザルプロ注射。  
夜，舟木氏訪問。

二日 火 晴，夜ニ入り雲多ク，パラパラ雨アリ，  
夜，赤松氏ト一緒ニ内務部長ヲ訪ネル。暫クシテ一緒ニ活動写真ヲ見ニ行カウト云ハレ，夫人ト皆デ若葉館ニ行ク。

受信 柴山昌生，柏村幸太郎（自彊術本），中西悟堂（野鳥二冊）  
（雑誌太平洋），安達玉枝，

### 三日 水 神武天皇祭 晴，

十時頃，藤井院長ノ所ニ行ク。留守ダツタガ，奥サント話シテ居ルウチニ，昼前ニナツテ帰ッテ来ラレル。午食ヲ馳走ニナツテ暫クスルト，病院ノ中原氏が見エル。三時迄モ居テ帰り，夜，永田氏ヲ訪ネ，八時過ギテ辞シ，a Kim ニ行ク。栗山君ガ来テ寝コロガッテ居タ。十時半頃帰ル。

ドウシタノカ，日記ヲツケルノガ面倒臭クテ仕方ガナイ，ト云フヨリ記スコトガ出テ来ナイ。マトマツテ来ナイノダ。手紙サヘ□書ケナイデ居ル。何ウシタノダカ。

〔欄外に記す〕  
〔Terrid〕

○カヤンガルニ行ク半月程モ前ダツタカ，隣リノ三瓶サンガ小サナ Terrid ノ子ヲツカマヘタ。ソレハ鶏ノ雛ト寸分タガハナイヨウナ，ソレデモット小サナモノデ，毛モ鶏ノ雛ノ柔毛ト全ジヨウ。ソシテ色ハ〔全身〕漆黒ダ。Terrid ノ親鳥ニハ何処ト云ツテ真黒ナ羽ト云ツタラ一本ダツテ無イノニ。鳴方迄ガ只ピーイ，ピーイ ヲ繰カヘスバカリデ，鳴音モ鶏ノ雛ニ似テ居ル。今頃ガ産卵季ト見エテ，ソノ頃カラ方々デ度々□二三羽ノコノ様ナ小雛ヲツレテ居ル Terrid ヲミカケタガ，カヤンガルノ田圃デモ全ジ Terrid ノ雛ヲ見カケタ。三瓶サンガ Terrid ヲツカマヘタノハ朝早ノコトダツタガ，三瓶サンガ，其ノ子雛ヲツカマヘルト親鳥ガ襲ヒカカッタソウダ。三瓶サンハ廊下ニ上ツテ来タガ，手ノ中ノ雛ハ，ピーイ，ピーイ トノバツニ鳴イタ。スルト二羽ノ親鳥ハ心配サウニアトヲツイテ来テ，アチコチトセワシク歩キマハツテ離レヨウトハシナイ。Terrid ハ少クトモ□<sup>産</sup>蕃殖季ニハ夫婦生活ヲスルラシク，雄モ我が子ニ対シテ相当強イ愛情ヲモツテ居ルラシイ。ソシテ育児ノ責任ノ一半ヲ感ジテ居ルラシイ。併シ結局「母ハ強イ」デアル。人間ヲ恐レテハ居テモ，何トカシテ取りカヘシ度イト近ヅイテ来ルノハ母親ラシイ。Terrid ハ雄モ雌モ全ジヨウナ大キサデ，全ジヨウナ横斑ノ——サザナミノ様ナ羽毛ヲシテ居ルガ，胸ノ部ニ幾分<sup>紺</sup>□茶ガカッタ赤色ヲ帯ビテ居ルノガ雄ラシイ。Terrid ハ——此ノ辺ノ Terrid ハ人家近イノデ，人ガ行ケバスバシコク逃ゲルガ，ソレ程極端ニハ人ヲ恐レナクナツテ居ルノデ，窓カラデモ静カニ見テ居ルナラバ，随分近イ所マデ平氣デ寄ツテクル。トハ云ヘ一寸デモ動イタリ音ヲタテタリスレバ，忽チ要心深く チョコチョコット 或ル遠サマデ走り去ツテハシマフノダガ。所ガ母親□ Terrid ハ雛ガ鳴クノデ，頸ヲノバシノバシ，頭ヲカシゲカシゲ，右ニ行キ左ニ行キ，サテハ階段ヲ上ツテ二度三度ヴェラ

ンダノ上迄モヤッテ来ルノダツタ。三瓶サンハ、此ノ調子ナラバ、此ノ雛ヲ使ヘバ、キ  
ット親鳥ヲツカマヘルコトガ出来ルト云ツテ、サテ何か毘ニナル様ナ籠様ノモノガナイ  
カト、シキリニ物色シテ居ルガ、ウマイモノガナイ。モウ役所ニ<sup>出ルニ</sup>□□□出ル時間ナノデ、  
兎モ角ボール紙箱ニ小サナ穴ヲイクツモアケテ、雛鳥ヲ中ニ入レテ、其ノ箱ヲヴェラン  
ダニ置イタ。親鳥ハヴェランダノ下ヲ相カハラズノベツニ頸□ヲノバシノバシ、頭ヲカ  
シゲカシゲ、セワシゲニ歩キマハッテ居ルガ、子供ヲ呼ブ為ニ□声ヲ音テヨウトハ決シ  
テシナイノデ、箱ノ中ノ雛鳥ハ親鳥ノ姿モ見エズ、更ニ近クニ居テクレルコトモ知り得  
ナイデ、只々ムナシクピーピー鳴キツツケテ居ル。

雄親ハ<sup>姿ヲ見セ</sup>□□□□サッキカラ姿ヲ見セナクナッテシマッタ。諦ラメテシマッタノダロウ  
カ、ソレトモマダ他ニモ一羽カニ羽ノ雛ガ居テ、其ノ方ヲデモ見守ッテ居ルノダロウカ。  
私ハ其後三羽ノ黒イ雛ヲツレタ Terrid ラ見タコトガアルガ、其レ以上沢山ノ雛ヲツレタ  
ノヲマダ見タコトガナイ。

昼ニ帰ッテ来タ時、雛ハダマッテシマッテ居テ、親鳥モ近クニ居ナカッタ。夕方雛ハ  
小サナ声デピーピート間遠ニ鳴イテ居タ。私ハ見ナカッタガ、親鳥モ暫ク来テ居タン  
ウダ。

翌朝モ親鳥ラシイノガ暫ク来テ左右シテ居タガ、昼ニハボール紙箱モナクナッテ居タ。  
雛ハ死ンデシマッタノカ、逃ガシテヤッタノカ、三瓶サンニキイテモ見ナイ――

<sup>〔欄外に記す〕</sup>  
[mīyūh]

○暮ニアルコロニ行ッタ時、マガンランノ村吏事務所ニ宿ッタガ、前ノ休ミ場ノ大キ  
ナ a mīyūh ノ木ガ□黄葉シテ落葉シテ居タ。先日モ（三月二十日）カヤンガルニ行ク  
時、其処ニ一泊シタガ、大キナ<sup>a mīyūh</sup>□□□□□ a mīyūh ノ木ガ殆ド裸ノヨウニ落葉シテ、  
木ノ下ハ一面大キナ枯葉ガ散ッテガサガサシテ居タ。カヤンガルニ行ッたら、mdūlbai  
ノ大キナ a mīyūh モ他ノ二三ノ a mīyūh モ皆落葉シテ、裸ノ枝ヲゴツゴツヒロゲ、下  
ニハ一面ノ枯葉ニ交ッテ、青イカタイ実ガパラパラ落ちテ居タ。Makar 家ノ庭ニハ青  
イノヤ、枯葉色ニカハリカケタノヤ、a mīyūh ノ実ガ沢山ヒロヒ集メテ、砂地ニヒロゲ  
テ乾シテアッタ。a mīyūh ノ黄葉ハ内地ノ楓ノ様ニ一斉ニデハナイガ、大キナ葉ガ真紅  
ニナルノデ、南洋デハ珍ラシイ眺メヲ呈スル。他ノ木々が真夏ノヨウニ青イノデ。

今迄一向気ヲツケテ居ナカッタケレド、ズット以前ニ、昭和五年ノ一月カラ三月マデ  
マルキョクニ滞在シタ時ニ、ウルボサンノ浜辺デ、半分落葉シタ a mīyūh 黄葉ヲ絵イタ  
コトヲ覚エテ居ルカラ、丁度此ノ頃ガ紅葉ノ時季トミエル。

ソシテ近頃ニナッテ、パンノ実ガスッカリナクナッタヨウダ。

<sup>〔欄外に記す〕</sup>  
[Mdūū]

四日 木 朝ニナッテ雨ニナリ、昼頃迄降ツタガ後止ム、但シ殆ド曇ッタママ、此ノ節ズツ北東風、

ザルプロ注射。

午後三時半ヨリ、昌南倶楽部新館デ社会部ノ相談会合、音楽部組織ニツイテ。

夜、Kim。

五日 金 晴、

ザルプロ注射。

今日ハ手紙ヲ書カウト思ッテ一日トツテ置イタノデ、家ニ引込シテ居テミタガ、何ダカ体が重クテゴロゴロシテ、ウトウトシテ、結局夜ニナッテ一通ノ手紙ヲ書イタダケ。何ヲ見テモ、何ヲ考ヘテモ、書クコトガナツナッテシマッタヨウダ。

六日 土 晴、午後雨、四時過ギテ止ム

ザルプロ注射。

夜、地方課ノモノ皆デ南洋ホテル。

七日 日曜日 晴、

Baıldong, Kisaül ト Ngatkip ニ行ク筈ダッタノデ、九時頃 Tehehī ニ行キシモ、船ノ都□□合悪クテ、Viselti ダケ早くボートデ行ッテシマッタ由、Teheboet ニ行ッテ、Note ヲトリ、昼寝シ、食事シ、Lūsi ノ処ニ行ッテ Tnger ノ Ohoraol ノ様子ヲキキ、— 久々デ背中イタミ、夕方帰ル。

杉浦健一様

ソレカラ御尋ネノ件ニ就イテ御答ヘ申シマス。

1, oūwetkeū ト云フノハ sūūs トハ全然別デ、「挨拶」ト云ヘバ云ヘマスガ、必ズシモ「挨拶」デハナクテ、寧ロオ世辞ノヨウナモノデス。例ヘバ家ニ居ル時ニ向フカラ Rūbak ナドガヤッテ来ルノヲ見テ、Alī! ngī el rūbak a meremang! トカラ、イヨイヨ近ヅイテ来タ時ニ、ke meremang!?! ト驚イタ様ナ喜ンダヨウナ表情ヲ見セタリ、更ニ bem tūū el tiei! ト云ッテ招シタリスル。ソウ云フコトガ oūwetkeū ナノデス。従ッテ、2, oūwetkeū スルコトガ sūūs デハナ□イノデ、oūwetkeū シナイデモ、sūūs ラスルコトハ出来ルノデス。3, sūūs ノ内容ト云フノハ極メテ簡単ナノデアリマシテ、何モ口ニ出シテ何カ云フ必要ハナイノデス。云ハバ鞠躬如<sup>225)</sup>タルコトガ sūūs ナノデシテ、一般ニハ前コゴミニナッテ物静カニ振舞フノガ、其ノ鞠躬如<sup>鞠躬</sup>タル姿トサレテ居マス。一々ノ例ヲ取レバ、taoh ノ前ヲカヌーデ通ル時、必ズ座ッテ棹ササネバナラナイトカ、道デ Rūbak ニ行キ合ツタ場合ニハ、道ヲオリテ□鞠躬如<sup>鞠躬</sup>トシテ其ノ行キ過ギルノヲ待ツ— 此ノ場

合、男ハ男ニ対シ、女ハ女ニ対シテダケスルノデ、meteet ノ男ガ来テモ女ハワヅカニ道ヲ譲ルダケデ、立ッタママ過ギルコトガ出来ルコトハ御存ジノ通りデス。又、meteet ノ家ノ側ノ道ヲ通ル場合、道ノ家ト反対側ノ方ニヨケテ、家ノ方ヲ見ナイヨウニシテ静カニ通り過ギナケレバナラナイシ、宴席ノヨウナ人出ノ席カラ帰ラウトスル時、hebūil ノ者ハ大キナ声ヲ出シテ rūbak ニ直接挨拶シタリスルコトナク、相当ノ人ニ云ッテ、自分が先キニ帰ル旨ヲ、ソット rūbak ニ伝ヘテ貰フト云フ風ナモノデアリマス。meteet ノ者ニ対シテ、此ノ様ナ sūūs ヲ欠ケバ、勿論罰金ニ処セラレマス――。

〔発信〕 中沢英子、後藤禎二、後藤八重子、杉浦健一、中西悟堂、柏村幸太郎、

八日 月 晴、

カヤンガルカラレモンガ、私ト赤松サント和田サント三人ニ届ク。手紙ガアッタソウダノニ、ワカラナイノデ誰ガヨ□コシタノカワカラナイ。ドウモ連中ニハチガヒナイノダガ。晩、和田サンガ来ル。赤松サンモ呼バウトシタガ、ドウシテモ電話ガカカラナイノデ二人デ散歩ニ出ル。十時半頃帰ッタガ、和田サント十二時頃迄シャベッテ居ル。

九日 火 晴、スバラシイ上天気、空ガ青クテ高クテ、湿度ガ低クテ、風ガソヨソヨ、ソウシテ日ハマブシク、ギラギラト強イ、ザルプロ注射。

昨日、役所ニ小楠氏が見エ、コロール附近ノ調べモノニ就イテ相談アリ。今日カラ直チニカカルコトニナッテ、今日ハ「アラバケツ」ノバイニ島民ノ老人達ヲ集メル筈ダッタノデ、午後行ッテ居タ処、支庁カラ何ノ通知モナカッタトカデ、老人等ハ先約ノ南拓ニ行ッテシマッテ居タ。空シク小楠氏ト話シナガラ帰ッテ□来タガ、私ハ熱帯生物研究所ニ寄り、大王椰子ノ蔭ノ寝椅子デ昼寝シテシマフ。和田サン、加藤サンノ仕事ヲ見タリ、喋ッタリシテ、五時迄モ居テ帰ル。

夜、七時半カラ南方倶楽部ノ人々ガ集ルカラ、何か話シテクレト野口氏カラタノマレテ居タノデ、昌南倶楽部ニ出カケル。博物参考館設立問題ヲ中心ニ「島民学」?ノコトナド十時頃迄座談式ニ話シテワカレル。

十日 水 快晴、昼ト夜ト通り雨、  
十時ヨリ午後マデ、地名変更審議会。

夜、Ilamms。

夕方、舟木氏ノ所ヘ行ク。

〔受信〕 中沢英子、河辺湛然（司法書記官）

十一日 木 快晴,  
夜, Kim ニ行き Mirair ノ話。  
ザルプロ注射。

十二日 金 快晴,  
拓務省南洋課ノ事務官デ, オリサントカ オリキサントカ云フ人ノ表南洋視察談ガアツ  
タノデ聞ク。

山城丸出航, 林サン休暇デカヘル。  
夜十時頃ニナツテ赤松君ガ Kisaül, Baüldong, Maria 三人ヲ引張ツテ来テ, 熱帯生  
物ニ和田サンガ待ツテ居ルカラ行カウト誘ヒニ来ル。行ツテ, 十一時半迄遊シテ来ル。

十三日 土  
夜, Kim。  
サイバン<sup>(江)</sup>近海丸入港。  
受信 野<sup>野</sup>崎陽之輔, 中西悟堂, 泉井久之助, 『オール女性』,

十四日 日曜日 晴, 夜驟雨アリ,  
朝七時半, 興発倶楽部ニ赤松サンヲ誘ヒニユク。  
倶楽部ノ手前デ松沢君ニ逢ヒ一緒ニ。八時, 赤松サント二人デアラカベサンニ向ツテ  
ポツポツ歩いて行クト, 連絡道路ニカカル所デ, 後カラバスガ来タノデ乗ル。  
バラオ水産ノ所デ降り, 佐伯君ノ所ヲ訪ネル。佐伯サンハ待ツテ居タガ, 遅イノデ来  
ナイト思ツテ食事ヲシテシマツタカラ, 少シ待ツテクレトテ, 三十分程シテ, 又皆デ  
朝食ヲヤリナホス。

ホットケーキノオ招キナノダ。タラフク食ベル。  
ソレカラ海岸ノタマナノ樹ノ下ニオリテ行クト, ソコガブランスト高松君ノ仕事場ニ  
ナツテ居ル。涼シイノデソコデ話シテ居ルト, 高松君ガ教会カラ帰ツテ来ル。仕事場ダ  
カラデハアルガ, 木ノ切り屑, 削り屑デヒドクチラカッテ居ルノデ, 皆デ「勤勞奉仕」  
スルコトニ一決シテ, ソコラ一面ヲ片ヅケニカカル。薪ニナルヨウナ木切ヲカタヅケ,  
芥ト削り屑ヲ傍ニツミアゲテ火ヲカケ, 長イ板ヲマハシテ休ミ場ヲ作り, 中央ニ爐ヲ作  
ル。タツプリ昼ヲマハツテ, 奥サンガ昼御飯ニ呼ンデクダサル迄カッテヤット出来ル。  
上ニアガツテ昼食ヲ済マセルト, 又オリテ来ル。爐ニ火ガタカレ, タマナノ木カラロ  
ーブヲオロシテ大キナヤカンガカケラレル。山ノ様ナ火ガ, ヨク燃エツツケテミゴトナ  
燗ガ出来タノデ, ソコニサツマ芋ガイケコマレル。オ湯ガ沸イテオ茶ガ入り, オ芋ガホ  
カホカト焼ケテ, 皆ガ集ツテ食ベテ居ル時ニ, 陸夫サント紀美水産ノ人達ガ来ル。

キャッチボールガハジマル。ソレカラ二羽ノ鶏ガ殺サレ, 晴サンノコック長デ, ソレ

が丸ザキニサカケテ燠ノ上デアブラレル。ソレカラ清サント高松君トハ、奥サンノ夕食ノ献立デ——ソノ頃ニハ海ガスッカリ引イテ居タ——ソノ干潮ノ海デ、カキラムキニカカル。

ソレカラ夕方ガ近ヅキ、<sup>[壇]</sup>花壇デテーブルノ花ガ切ラレ、日ガ落チテ賑ヤカナ夕食ノアトガ、マーチャンニ寄ルモノ、ソシテ私達ハ十時迄ノ永イ間、蓄音器ヲカケテ紅茶ヲノム。

花壇ノ花、無花果、テルヲチャン、食後ノスコール、イカダカヅラノ柵、モツァールトノピアノ、コンチェルト、ト ドボルジャック ト 沢山ノシャンソン モノ、

十五日 月 晴、  
夜、月半分、堀君ト散歩。

十六日 火 晴、  
午前、熱産ニ相沢氏ヲ訪ネシモ逢ヘズ、帰り、<sup>伯</sup>□佐伯氏兄弟ニ病院デ逢ヒ、共ニ南貿デ中食。

夜、六時パレスデ赤松サンノ送別会、文ノ家、沖縄踊、佐伯、野口、森田、松沢。  
[発信] 中西悟堂、野崎陽之輔、竹下源之介、

○画ニ添ヘテ (『南洋群島』へ)<sup>226)</sup>

○赤キ佛桑華ナリ、  
朝赤ク 昼赤キ佛桑華ナリ  
日ニ赤ク 雨ニ赤キ佛桑華ナリ  
夏モナク 冬モナク 日毎咲ク佛桑華ナリ  
ミツスヒノ遊ブ佛桑華ナリ  
楽ミニ赤ク、悲シミニ赤キ佛桑華ナリ  
切ラレ摘マレ、又伸ビテ赤キ佛桑華ナリ  
シカシテ、シカシテ夜ハシボム佛桑華ナリ

○昼寝ノ娘  
「寝ル子ハ育ツ」ト云ヒ  
昔、私ノ友達ガ  
「カラタチノ蔭ニ イモムシ ガ居ル  
物モ思ハズマルマルト太ッテ居ル」

ト云フ意味ノ歌ヲ詠ンダノヲオボエテ居ル  
生キル為ノ食物ヲ植エ、作り、穫リ  
働イテ、タラフク食ベテ□  
腹クチテ 寝ル娘ハ 幸ナルカナ

## ○真昼

窓ニモノウイ娘ノ眼  
外デハ風ガ死ンデ  
佛桑華ノ赤ガナヤマシク  
空ガ蒼ク  
遠イ雲ニ檳榔樹ガ高イ  
ソシテ瑠璃色ノ「ルリ」公ガ相手ノナイタイクツヲ  
ソッポラムイテゴマカシテキル

## ○——サテワヌ島——

ヨクフトッタ子供デス  
両方ノ手ニ、半分ニ切ッタ  
焼キタテラシイバンノ実ヲモッテキマス  
マダ昼ヲマハツテイクラモタツテキマセン  
「マウエジ」——オ利口チャンハ  
ドコヘモッテ行クノデショウ  
キット「マヌーム」——料理小屋デ御馳走作りニ忙ガシイ ネーチャンカラタノマレテ  
オ隣リノ、オ隣リノ、オバチャンノ所ニデモ持ッテ行クノデス

十七日 水 晴、午後曇、夜雨降ル。

終日、背中痛ム。

十八日 木 雨終日降ツタリ止ンダリ、

背中痛ム。

十九日 金 朝迄曇ッテ居タガ、漸次晴ル、

夕方、相沢氏ヲ訪ネシモ不在。家人氏ノ処ヲノゾキテモ不在。高島氏ノ処ニ行キ雑談、  
九時前辞ス。

二十日 土 晴, 夜驟雨,

午後一時間ばかり昼寝シテ後, 油絵ノ道□具ト Hebakl トヲモッテ, 車デ佐伯サンノ所ニ行ク。陸男サンモ来テ居テ, □野村君モ居テ, 皆デ休場ニ居タノデ, スグニオリテ行ク。高松君ハ更ニ休場ヲ, 完全ヘト手入シテ居タ。長イ腰カケニモ彫刻マデシテアッタ。暫クスルウチニ本目サンガ来タノデ, 皆ハマーヂェンニシテ上ッテ行ツタ。自分ハ夕方マデ腰カケニ Hebakl デ彫物スル。夕方上ッテ行ッテバスヲアビテ, 皆ト一緒ニギヤカナタ食。食後モ皆ハマーヂェンヲシツツケル。私達ハスケッチヲシタリ, 蓄音器ヲカケタリ。皆ハ夜明マデ勝負スルト云フノデ, 私ハ十二時ニ寝テシマフ。

二十一日 日曜日 晴, 朝及ビ午後驟雨。

二十二日 月 晴, 昼前ト夜九時頃驟雨アリ。

夕方チョット舟木サンヘ。後街ヲズット, スペイン教会ノ方マデ歩く。月ガスバラシク明ルイ。夕ノニ, モクモクト雲ガアル。八時過ギテ帰ッテ来ル道ニ, ブラブラ出テ行クイロンナ人ニ逢フ。

二十三日 火 晴レタリ曇ツタリ, 二三度雨モ降ツタリ,

午後, 湯浅君ガ土地ヲ見ニ行クノダガ, 一緒ニ行カナイカト云フノデ, 一緒ニ行キ, 熱産ニヨッテモラッテ相沢氏ヲ訪ネタガ, 二十五日ニ帰ッテ来ル事ニナッタ由。

夜, 剛サント南賀, カナリヤ。

パレス。帰ッテ堀サン, 北村サント朝ノ四時マデ。

二十四日 水 終日雨降ツタリ止ンダリ。風時々ハゲシ。

夜, Kisaol, mehelings ヤッテ来ル。

二十五日 木 靖国社大祭 曇, 薄日, 夜小雨。

十時頃カラ熱帯生物ヘ行ク。和田サン, 加藤サント喋ッテ居タラ, Kisaül ト□<sup>M</sup>Namiko ト来テ, ギキニ帰ル。昼ニ辞シテ帰ル。

日暮, 院長ノ所ニ行キ, 夕食ヲ馳走ニナリ, 九時帰ル。

二十六日 金 ドウニカ晴, 時々曇, 日暮雨降ル。

夕刻, 相沢氏ヲ訪ネシモ留守。

Ilamms ニ行キ, Kim ニ行ク。

Rūbasah, 今朝死ニシ由。

二十七日 土 晴,

午後一時ノバスデ、野村君、徳村君トアラカベサンニ行き、歩イテ紀美水産ニ中村サンヲ訪ネル。私ハ佐伯サンノ所ニ行く心算リダッタノヲ、二人ガ向フマデ行クト云フノデ、ソレナラ陸夫サンノ所ノバリーノ鳥ト蛇ノ三ツ組ノ彫刻<sup>227)</sup>ヲ前カラ写シ度イト思ッテ居タノデ、一緒ニ行くコトニシタノダッタ。昼ニ高松君ガ来タノデ、ミュンスニハ夕方行くヨウニ言伝シテ置イタノダッタ。

四時半頃辞シテ帰り、野村君、徳村君ハソノママ帰ッタ。陸男サン<sup>228)</sup>ハ夜、晴サント二人デオ客ノ接待ガアルトテ、一緒ニミュンスニ出テ来タノダッタ。夕食後、テルヲチャント遊ンデ居たら、高松君モ来タノデ蓄音器ヲカケテ待ッテ居タガ、十一時ニナッテ晴サンハ帰ッテ来タ。明日ハ早朝ガラガサン<sup>229)</sup>ニ行クト云フノデ、一時頃マデ話シテ居テ寝ル。奥サンハ歯ガ痛ンデ一日寝テ居タ。

横浜丸入港。

二十八日 日曜日 晴,

朝八時半ニナッテ十馬力デ出発。一行ハ私ト佐伯サント高松サント、モ一人熟産ノ若イ人ト、テルヲチャントブラレストオルクリール。マダイクラカ汐ガ浅カッタガ、ドウニカアルミツ水道マデ真直グ出ラレタ。オゴログル水道ヲヌケテ、アイライノ前カラコ<sup>o</sup>イク<sup>ル</sup>ル水道ヲ通ッテ——Hoigūllノ<sup>水</sup>長イ長イ水道ハ、外海ノ単調ナ航路トチガッテ実ニイイ。

今日ハ晴サン達ガカカオノ実ヲ取りニ行くノガ目的ノナダ。ガラカソウ<sup>230)</sup>ノ手前ノ辺ニ小サナ波止場ガアッタノデ、其処ニ船ヲツケテキカセタガ、ヨクワカラナイノデ、<sup>N g k</sup>□□□ Nghesar<sup>231)</sup>マデ行く。上陸シテバイデ昼食ヲヒライテ、ソレカラ村ニ入ッタガ、ココノカカオノ木ハ二三本シカナク、ヨイ実ハ一ツモナカッタノデ、Ngersūil<sup>232)</sup>マデ行ッテ、小宮山君ノ所ヲ訪ネル事ニシテ引カヘス。

Ngersūilニ船ヲツケテ、ソコカラ歩イテ小宮山君ノ所ニ行く。小宮山君ガ自分デ案内シテクレテ、結局Ngarangasang<sup>233)</sup>ノ部落マデモドル。山ノ上ノ旧部落ニ、ナルホド四五十本ノカカオノ木ガアッタガ、手入サレテ居ナイノデ実ハ少ナカッタ。ソレデモヨイノガ十程アッタノデ取ッテ引カヘス。全ジ道ヲヒキカヘシ、小宮山君ノ所ニ一寸ヨッテ、遅クナルノデ直グニ辞シテNgersūilニ戻ル。Ngersūilヲ出タノガ五時十分過ぎ、a Iraiノ岩山ノ前デ日ガ暮レテシマフ。勿論今度ハ外海カラマハッタノダ。晴サンハ、何ガ悪カッタノカ、サキカラ上ゲタリ、降シタリデ、船ニノルトスグニタボレンヲカブッテ寝テシマッタ。テルヲチャンモオ腹ガイタイトテ、シクシク泣キ寝入ニ寝テシマッタ。

美シイ星空ダッタ。サッキアイライノ沖デハ厚イ、雲カラボチボチ滴ガ落チタノダッタガ。Miyūngsニ着イタノハ九時ダッタ。ソレカラ風呂ヲアビテ夕食ヲタベテ、蓄音器ヲカケテ紅茶ヲ飲ンデ居たら、今度ハ急ニ私ガ上ゲタ。高松君モ上陸シテ直グニ降ダシ

夕由。十一時ニ寝ル。

二十九日 天長節 朝カラ昼迄雲厚ク、何度モ雨ガ来ル。午後晴レル。

昨夜二時前ニナッテ目ガサメルト氣持悪ク、便所ニ立ツ□ト ヒドク 上ゲ、ヒドク降シタノダツタ。ソシテ朝ハ体ガダルクテシカタガナカッタ。清サンモグヅグヅシテ居タノデ、奥サンハ齒ガ痛イシ、皆デオートミールヲ食ベル。

昼迄ソレデモ下ニ行ッテ何かシヨウトシタガ、一向氣ガムカナイ。オ昼モ皆デ□オカユヲ食ベタ。又ゴロゴロ寝コロガッタ。テルヲチャンハオヒナ様ヲ飾ッテイタダクノデ大喜ビ。

二時ノバスデ帰り、夕方ウトウト寝ル。夜、akim へ。田沼君、中村君ト、モ一人田沼君ノ友達ト云フ女ノ人ト来テ居ル。

三十日 火 晴、

受信 浅見耕士、羽根田弥太、泉井久之助、丸山□晚霞、八幡一郎、  
雑誌「太平洋」、稿料 30—

午後二時カラ、<sup>〔利三郎〕</sup>田山氏、金平氏ノ話アリ。久々デ田山技師ニ会フコトガ出来、<sup>〔ママ〕</sup>速早博物参考館ノ話、ドウヤラ熱産ノ方ニ脈ガアルラシイ。明日ノ船デ直グ立タレルガ、五月末ニハ帰ッテ暫ク滞在スルカラ、其ノ時ニ何トカ形ガツク様ニシヨウ、大イニ準備ヲススメテクレト。ソナ風ニ行ケバ、一寸樂觀出来ル訳ダガ。

〔1 頁白紙〕

## 五月

一日 水

受信 丸山晚霞、泉井久之助、倉橋弥一、土方愛子、太平洋協会、羽根田弥太、八幡一郎  
〔朝〕名護屋丸入港、午後四時、神戸向出航、此ノ船デ田山氏、野□元氏ガ行カレルノデ、見送りニ行ク。

夜、和田サント Kisaul, Mehelings ト来ル。九時半、Kisaul, Mehelings 帰ッテカラ□和田サント散歩。

船ニ行ツタ帰り、相沢技師ニ逢フコトガ出来タノデ、博物参考館ニ就イテノ話ヲ一通リスル。双手ヲ上ゲテノ賛意ヲ得タシ、出来得ルカギリ助力ヲスルカラト激励サレル。皆ガコンナ調子ダト、スグ出来ルノダガ。

二日 木 晴，昼前通り雨アリ，

夕食後，熱帯生物ニ行ク。和田君ハ居ナイデ，加藤君ト話シテ八時半頃帰ル。

先日来煙草ガ切レテシマツテ居ルコトハ，書カナカッタカ知レナイガ，一昨日カ入港ノ横浜丸デ 響 ガ千包バカリ入ツタ。ソレヲ昨日朝九時カラ南貿デ売ルト云フ。一人三箇ト云フコトダツタノデ，ソシテ南貿ノ前ハ黒山ノヨウナ人ダト云フノデ，十時一寸行ツテ見ル。丁度黒山ノヨウナ人ヲギッチリ中ニ入レタママ，両方ノ大キナ表戸ガ上カラ閉メオロサレタ所ダツタ。ソシテ外ニハマダマ沢山人々ガ居テ羨マシゲニ中ヲノゾイテ居ルノダガ，中ニ入ツタ人々ハ恐ラクハ羨□マレル所カ，身動キモ出来ズ，流れ出ル汗ヲ拭フコトスラ出来ナイデ，蒸サレテ居ルコトダロウ。

三袋ノ煙草ノ為ニ，此ノ光景ガ現ハレト思フトアサマシクナツテ，久保デ冷タイコーヒーヲ飲ンデ，オバサンニ煙草ガ買ヘタラ買ツテオイトクレトタノンデ帰ツテ来タノダツタ。後デキクト，ショーウィンドーハ壊サレ，警官ガ出テ行ツテ整理シタノダト云フ。アサマシキカナデアルガ，是レガ米デデモアツタラ，女ノ人マデガ見エヲ忘レテ叫ビ合ヒ，ヒシメキ合フコトダロウト想像シテ憐愍ニ似タ氣ガシタノダツタ。

マッチハ既ニ先日各所デ日時ヲキツテ，一軒アテ十二個ノ配給売リガナサレタバカリデアル。

九時頃ニナツテ堀サンガ，散歩ニ出ヨウト誘ヒニ来ル。ソレガ パレス カラ ニホン ソレカラ 栄寿司 スター ト大変ナ事ニナツテシマフ。

三日 金 晴，

昨日ノ今日デ，背中稍イタシ，

夜，Kisaul ガ来テ，九時ニ帰ルトスグ寝タガ，剛サンガ来ル，Maria ガ来ル。相手ニハナラナイデ，寝テシマフ。

夜中ノ一時半ニナツテ，北村君ガ寿司ヲモツテ ドナリコンデ来ル。

四日 土 晴，

午後，南洋神社勤勞奉仕，モッコカツギ。

六時半頃，佐伯サンカラ電話デ，宿リニ来ナイカト云ツテ来タノデ，アラカバサンニ出カケル。

五日 日 晴，午頃一寸驟雨，

油絵，午後又マーチャンノ連中。

夜十一時前帰ル。

六日 月 晴,

背中痛シ, 病院長カラ役所ヘ電話デ, 夕方行クヨウニ云ッテクル。七時ニ行ク。今度  
ガラスマオ ノ小学ニ校長ニナッテ行ク森田氏アリ, 十時頃帰ル。

七日 火 晴, 午後軽イ驟雨アリ,

夜, a Kim。背中ガ痛ク Tulik ニ揉ンデモラフ。

毎日会議デ, 昨日ハ夜十二時過ギマデヤツタ, 明ケ方ノ四時迄ニモナツト云ッ  
テ居タノガ, 昨夜ヨリ徹シテシマツテ, 今朝六時ニ終ツタ由, 朝ノウチ三四人シカ役所  
ニ居ナイ, 課ノモノハコレデ済ンダラシイ。

八日 水 十時頃カラ雨ニナリ, 夜迄降ル。雷

午後カラ夜迄背中痛ム。気分悪ク病人ノヤウデ, 只々寝コロンデバカリ居ル。此ノ節  
日記モナイ。

九日 木 十時頃カラ雨ニナリ, 夜迄降ツタリ止ンダリ。

夕方, 舟木サンノ所ニ行キ, 八時頃帰ツタラ剛サンガ来テ, 雨ニ降ラレテ十時半頃マ  
デ居ル。

十日 金 晴,

役所ガ退ケテカラ地方課全員テニス大会。

夜, 北村君, 佐野君, 近藤君, 堀君, ×君等大挙来室。

十一日 土 晴, 小驟雨アリ。

午後, アラカベサンニ行ク。

十二日 日曜日 晴,

油, 二枚。

午後, 飛行艇来, 宝塚カラノオ客ヲ迎ヘニ徳村君ガ誘ヒニ来タガ, 一人デ行ッテ貰フ。

夕方, 泰安丸入港。

六時半, 佐伯サンガコロールニ出ルノデ, 全ジ車デコロールニカヘル。

夜, Sailong ト Ebilülükd 来テ, 喋ッテ行ク。

十三日 月 晴, 午後ト晩ト小驟雨,

朝, 金子九平次君ノ紹介ヲモツテ, 西尾善積君ト云フ画家<sup>234</sup> ガ訪ネテ来ル。

ソレカラ, 昨日飛行艇デ来タ宝塚音楽歌劇学校ノ宇津秀男氏ト東宝映画配給部ノ石田

建氏トガ訪ネテ来ル。□スケジュールヲタテテ、内務部長ニ面会シテ居ルト、新聞社ノ山本君ガ、今度サイパンカラ変ッテ南洋新報者<sup>(社)</sup>ニ来タ某氏ヲツレテ来ル。ソレデ昼ハ、部長ノ招待テ皆デホテルニ昼食ニ行ク。宇津氏、石田氏、ソレニ新国劇文芸部ノ阿久津源作氏ト新聞社ノ某氏、常吉サント野口君ト私ト山本君ト森田君ノ十人。

皆ガ帰ッテ後、私ト野口君残り、暫ク雑談後、宇津氏、石田氏ハ航空会社ノ人ト見物ニ出ル。後、阿久津氏ノ室ニ招カレテ暫ク、阿久津氏モ街ニ出ルト云フノデ、皆デ一緒ニ車ニ乗り、三時役所ニカヘル。

○大博物館ト博物参考館ノ計画ト予算ノ編成デ、吉本君ノ所デ「物陳」ノ状態ヲキキ、農林課長、水産課長ニ関係事項ノ計画予算ヲ依頼。

受信 後藤八重子、赤松俊子、「オール女性」

発信 杉浦佐助、赤松俊子、後藤八重子、忠久 (djalam ke Salatan タノミ)

十四日 火 朝カラ雨降ッタリ止ンダリ。

運動週間体操。

九時、徳村君ト車デホテルニ宇津氏達ヲサソヒニ行ク。一□行ヲマルキョクニ案内スルナリ。十時ノミドリ丸デマルキョクニ向フ。宇津氏、阿久津氏、石田氏。一時半過ギマルキョク着。二時過ギ中食、三時公学校ヲ訪レル。暫ク話シ、徳村君ヲオイテ、旧マルキョク部落ヲ一マハリシテ□□Obū adokoニ出ル。

事務所ニカヘルト、ポツポツ暗クナル。ホセーゲヅガ鶏ヲ殺シ、魚ヲモッテ来テ夕食ヲ作ッテクレル。夕食ヲ終ッたら、校長カラビールヲトドケテ来タノデ、飲ミナガラ十時半頃迄雑談。

船ユレテ阿久津、石田、徳村氏酔フ。

十五日 水 風雨、後静マリシモ暗ク曇リ、時々小雨。

朝オキルトヒドイ雨風ダツタガ、朝食ヲ終ル頃、静カニナル。九時半頃、ミドリ丸ガ来タノデ、ソレデコロールニ帰ル。船デMariaト□一緒ニナル。□阿久津氏酔フ。昼一寸過ギコロールニツク。荷物ダケオイテ、役所ニ行ク。

夕方南洋ホテル。宇津、石田氏ト夕食、七時半、清サン来ル。昼打合ハセアリシナリ。皆デ鶴ノ家、ソレカラ文ノ家デ文千代ノ踊、文ノ家酒ナクテ葡萄酒。

十六日 木 終日降ッタリ止ンダリ、午後殊ニハゲシ。

役所ニ西尾氏来、明日マルキョクニ行ク由、森校長ニ紹介スル。野口氏ヨリ鍋田君ニ紹介シテ貰フ。□清サン一寸来ル。

午後□宇津氏、石田氏来。

カヘリ熱生ニ一寸行ク。時岡サント云フ新ラシイ研究員ガ来テ居ル。  
カヘリ一寸、湯浅君ノ所ニヨリ、夜、剛サン一寸来ル。

十七日 金 曇、夕刻ヨリ雨遂ニ降り、夜ハ□ゲシ、

夜、急ニ宇津氏、石田氏ノ為ニ踊ヲヤルヨウニナリ。徳村君カラ電話ダツタノデ方々ニ知ラセ、六時半過ギ村吏事務所ニ行ツタガ、一向用意ガ出来テ居ズ、雨ハ降り出スシ、Bai デスルコトニシテランブヲ用意サセたら、七時ヲ過ギテ、ヤップノ踊手ト一緒ニオ客サンガ来テシマフ。ヤップノ踊手ト一緒ニオ客サンガ来テシマフ。ヤップノ踊ト、ポノワット、ボンナップノ連中ト、ソレカラバラオノ女達ノ踊ヲバイデヤリ、後雨ガヤンダノデ、外ニ火ヲタカセテ、更ニヤップトポノワットノ踊ヲ出ス。踊ガ終ツたら雨ニナリ、小松君、田沼君トズブヌレニナツテ帰ル。

受信 雑誌「太平洋」 (笠置入港) 泰安出港—野村氏出張

十八日 土 曇、午後晴、

午後、南洋庁野球戦、第一戦支庁対地方課。二時半ヨリ五時半迄カカッテ七回十七点対十七点ノ無勝負。

夜、武官ノ宇津、石田氏招待デ金寿司。

舟木、高崎両武官、宇津、石田氏ニ野口君。

十九日 日曜日 晴、夜遅ク雨。

八時ノバスデ清サンノ所ニ行ク。油、

午後二時、近海丸入港、予定通りサイレンガ鳴ッタノデ、スグ車ヲ呼ンデ波止場ニ出ル。清サンノ所デハ、此ノ船デ兄サンガ来ラレルノデ、社員マデ総出ダ。波止場ニ行クト、此ノ船デ課長ガ来ルノデ、課ノ者ガ皆居タ、ガ、栗山君ト二人ダケ波止場ニノコル。清サントハ別レバナシデ、宇津氏、石田氏ト、野口君トオートバイデホテルニ引上ゲル。五時頃、野口君トブラブラ歩イテカヘル。

夜、剛サンガ来、九時半頃カラ、パレス、カナリヤ……

受信 西尾善積、金子九平次

二十日 月 晴、午後驟雨、

九時前、宇津、石田氏役所ニ来ル。Maria ノ Varentina 来ル。写真。

宇津氏、石田氏ヲ支庁ニ連レテ行き、後、商工課ニツレ行き、西本君ト展覧会□即売物ニ就イテ。

□晴サン、兄サンヲツレテ役所ニ挨拶ニ来テ居ル。

武田氏ト云フ画家<sup>235)</sup>、展覧会ノ紹介文ヲ書イテクレテ来ル。デ、午後山田旅ニ武田

〔館脱〕

氏ヲタヅネ画ヲ見テクル。

夕方、役所ノカヘリ、宇津君、石田君ト一緒ニホテルニ行キ、風呂ヲアビテユックリスル。清サン、約束シテアッタノデ七時ニホテルニ来ル。皆デ夕食、本日サンカラ電話ガアッタノダソーデ、皆デ鶴ノ家ニ行ツタガ、本日サンガ居ナイノデ、祇園ニ行キ、パレスニ行キ、遅ク皆デコロール波止場ニ行ク。月ヨシ。一時半。

二十一日 火 晴、午少シ前驟雨、

午後、清サント、宇津君、石田君ト皆デ軍艦島<sup>236)</sup>ニ行ク約束ダッタノデ、一時半ニ新波止場ニ集ツタガ、モーターボートガ来ナイ。アラカベサンカラノ電話デ故障シタコトガワカリ、皆デ清サンノ所ニ行ク。

新波止場カラ海軍ノ士官兵士、続々上陸。予告ナシニ、巡洋艦一隻(タマ)、駆逐艦三隻(モツヅキ、ヤヨヒ、外一隻)来ル。

アラカベサンデハ Ngeptahas ノ我等ノ巢デコーヒーヲ飲ンデ休ミ、夕方鶏ヲ焼き、アセチリン ランプデ夕食。後モーターボートデ飛行場ノ前ニマハリ、シバラク流シ——満月ナリ——後、コロール波止場ニ上陸、モーターボートヲカヘシテパレスヘ。巖サン<sup>237)</sup>、本日サン、新聞社ノ山本君ナド既ニ出テ居ル。十二時ノカンバン迄居テ後、車デ海軍墓地ノ先キヘ月見ヘ出ル。女達三人、アトカラ二人。一時半カヘル。

二十二日 水 晴、

軍艦ノ司令官(十八戦隊)ハジメ、続々上陸、朝カラ、夕方マデ、物陳、バイ等案内サセラレル。

今日モ軍艦二隻(チトセ外一隻)入港。

夜、野口君十時頃来ル。

月ガスバラシクイイノダケド、モウ体ガ疲レテシマッタ。

二十三日 木 晴、

朝ノウチ、武田範芳君ノ展覧会ノ飾リツケ。

午後、海軍ノ長官一行ガ上陸シタノデ、二時半カラ、bai 及ビ、物陳ノ説明ヲ頼マレ、商工課長ト bai デ一行ヲ待チアハセ、後物陳ニ行ク。

又々軍艦入ル。

又、昨日一昨日カラ背中痛ム。

二十四日 金 晴、

朝カラ海軍水路部ノ人ノ案内ヲタノマレ、午後四時迄モカッテシマフ。

武田君ノ展覧会ノ様子ヲノゾキ、夜ハ課長ヲ訪問、博物参考館ノ件、ポナベ土地調査

依頼ノ件，古蹟名勝天然紀念物ノ件。

二十五日 土 晴，

佐伯サンノ篤チャンガ入院シタト云フノデ，夕方見舞ニ行ク。

六時半「トキワ」ニ水路部ノ田村氏ヲ訪ネル。徳村君モデキ来ル。夕食，後，パレス，ウキシマ，地名変更ニ就イテノ打合ハセ。

二十六日 日曜日 晴，午後，車軸ヲ流ス如キ驟雨，遠雷，後止ミシモドンヨリ曇ツテシマフ，

明日ガ海軍紀念日ナノデ，今日ハ小学校デ祝賀運動会ガ，国民精神総動員会デ催サレル。昼間一寸行ッテミタガ，又背痛ガヒドク□ナッタノデ帰ッテ，湯タンポヲ入レテ寝テシマフ。

発信 杉浦健一，[今年ノボナベ土地調査ノ件]

夜，「熱生」ノ和田サンガ来ル。八時過ぎ散歩ニ出ルト，加藤サンニ逢ヒ，三人デKimニ行ッテ，「熱生」ノ島民傭人ヲタノミ，カナリヤ。

二十七日 月 海軍紀念日 曇，雨明方ト九時頃トヒドク降ル。

常吉事務官カラ，中外新報社ノ吉田氏ニ話シテヤッテ貰ヒ度イトノ事デ，九時半野口君ト車デ雨ノ中ヲホテルニ行ク。コーヒーヲ飲ミ，一寸雑談後，野口君ハカヘル。十一時過ぎマデ話シ，南貿ニ案内スル。宮下氏ハ留守デ手島氏ニ面会，中食ヲ馳走ニナリ，二時過ぎマデ話ヲキキ，役所ニクル。

役所ノカヘリ，武田君ノ展覧会ニ行ク。暮レカケテ陸男サンガ来テクル。

今日デ終ヒナノデ，武田君ガ何デモ一緒ニ食事シヨウト云フノデ，其ノママ街ニ出ル。オデンヤ，パレス。

二十八日 火 晴，

朝，パラオ丸入港，出張所ノ文協大和君来。

午後，水兵サンノ力角大会。<sup>〔ママ〕</sup>

武田君ノ展覧会取片ツケ。

受信 三沢寛，泉井久之助，羽根田弥太，久頭，竹下源之介，「オール女性」

「南支風土記」著者，吉田謙吉ヨリ，

二十九日 水 晴，午後驟雨，後無風蒸暑シ，

十二時パラオ丸出□航，<sup>〔佐伯〕</sup>伯佐巖氏ボナベニ向ハレルヲ送り，晴サン達ノランチデ帰

り、晴サント□照男チャント、一寸病院ニヨリ、パレスニ昼食ヲ食べニ行ク。山本君、中外ノ吉田君モ来、皆デ中食、別レテ役所ニ行ク。一雨ノ後、山田旅館ニ武田君ヲ訪ネシモ留守、晴サント、陸男サンノ絵ヲ取ツテ病院ニ行ク。晴サン、絵ヲ一枚取りカヘタイト云フノデ、又山田屋ニ行ク。武田婦ツテ来ル。絵ヲ取りカヘ、武田氏モ誘ツテ皆デアラカベサンヘ。自分ハ背中ガイタンデ寝テシマフ。夕食、高松君モ来、男バカリデ。遅クマデ話シテ十二時就寝。

三十日 木 晴、無風蒸暑シ。

十時ノバスデ役所ヘ出ル。

晩、剛サン来、カナリヤ。

三十一日 金 晴、雲稍多シ、

軍艦多摩ニ講演ヲタノマレテ居タノデ、九時半ノ汽艇ニテ多摩ニ行ク。十時過ギヨリ、二時間程話シ、昼食ヲ馳走ニナリ、三時過ギ汽艇デ送ラレル。

夜、学務ノ者皆デパレス、金寿司、オデンヤ。

〔1頁白紙〕

## 六月

一日 土 晴、

興亞奉公日。

午後一時ノバスデ、アラカベサンヘ。赤チャン退院シタレド奥サン、元気ナシ。宿ル。

二日 日曜日 晴、僅カニ雨。

晴サント高松君、岩山ヘ行ク。

午後、野口君、子供サンヲツレテ来ル。清サン三時カラ海軍トノ野球デ出テ行ク。野口君カヘルト、宮地サン、三島サント奥サント来ル。

夜十時、車デ帰ル。

三日 月 晴、午前午後雨、午後四時半頃雨、夜九時又雨ニナル。

四時カラ地方課ト支庁ト野球試合、雨ニテ中止、公園デ課長ノ振舞酒、後若イ者皆パレスヘ。

四日 火 雨，午後ダンダン止ム。

朝早ク名護屋丸入港，午後出港。

十時半，サイパン丸入港，近藤□新長官着任<sup>(238)</sup>。

中村新拓殖部長着任。

夜，舟木氏訪問。

受信 杉浦佐助，

五日 水 曇，

水路部ノ田村氏ヲ案内シテ紀美水産ニ中村サンヲ尋ネ，午後二時モーターボートヲ借りテマラカルニ一寸寄り，波□止場カラー寸，トキワヘ寄ッテ直チニ公学校ニマハリ，小楠氏ヲタヅネ，トキワデタ食ヲ馳走ニナリ夜，幸樂ヘ。

六日 木 曇，晴，

午後四時，中外商業ノ吉田氏ニサソハレ，ホテルヘビール飲ミニ行ク，夜迄。

七日 金 晴，漸次雲多ク，午後五時頃ヨリ雨，暮ニテ止ム，

十一時□二十分，由良汽艇デ由良ニ行ク。司令官等ト中食，一時カラー時間余講演，二時半ノ汽艇デ司令官，船長以下皆上陸，自動車ニ分乗シテ，バイト公学校トヲ案内スル。後，公園テニスコートデ艦ノ士官ト役所ノ仕合ガアルノデ，皆デソノママ見ニ行ク。

ドウモオ客ガ多スギル。永イ間自分ノ事ト云ツタラ，一向マトマツタ事ヲシナイ。

発信 羽根田弥太，吉田謙吉，土方久顕，泉井久之助，

八日 土 晴，午後曇，夜雨ニナル。

朝，水路部ノ田村氏訪ネテ来ル。

部長室ニテ登記制勅令案審議，部長，金井事務官，地方課長，警務課長，若旅警部ト自分ト。

午後一時ノバスデアラカベサンニ行ク。額板仕上ゲ。

今日ハ晴サン達ノオ母サンノ命日ト，篤男チャンノ全快祝デ，陸男サン夫婦トリクチャン，トキキチャンモ来テ賑ヤカナ楽シイ夕食。若イモノマーヂェン，宿ル。

九日 日曜日 風，ノベツナ風，雲多ク，時々パラパラト雨。

額板仕上ゲ，油，晴サンノプロフィール。

夜，稍背中イタム，十時晴サンガ街ニ出ルノデー緒ニ車デ出，一緒ニ明日カヘル坂田君ヲ見舞ッテ別レル。

十日 月 薄曇，風南西，

役所二名鉄観光団ノ人三人訪ネテ来ル。南賀ニツレユキ手嶋支店長ニ引合ハセル。鍋田君，絵ヲナホシテ来ル。悪クナル一方。三嶋君ト南賀。

夜，高松君来，商工課勤務依頼ノ件。

受信 宇津秀男

発信 宇津秀男（公学校児童成績品），竹下源之介（絵・短文）

十一日 火 曇，暗ク，雨降ツタリ止ンダリ，風南西，

朝，名鉄観光団ノ人来ル。

昼，高松君キスキーヲモッテ来ル。

役所ノカヘリ娘サン達ト南賀ニ行ッテ，帰ルト高松君来テ寝テ居タノデ，風呂ヲ浴ビテ舟木氏ノ所ニ行ク。暮レテ帰ルト，高松君起キ，九時半迄キスキーヲ飲ンデ話シコンデユク。

十二日 水 雨風，

夜，舟木ノ和子サント文化教会ノ活動写真「女ノ教室」ヲ見ニ行ク。

十三日 木 曇，午後四時半過ぎ雨アリ，

山城丸四時入港，田山技師ガコレデ来タノデ迎ヘニ行ク。花井囑託来。

夜，宮川君トパレスニ行ッたら，晴サンニ逢ヒ，文家マデ行ッテ，十一時車デ送ラレタガ，更ニ宮川，堀君ト出テオデン屋，スターデ，三時半就寝。

十四日 金 曇，小雨，

朝，田山氏，花井氏役所ニ出ラレル。

夜，田山氏ノ所ニ訪ネテスケジュールヲ作ルコトニスル。

午後四時カラ調査課トノ野球試合。小学校ニテ。3対4Aニテ勝。

夜，大平君ト田山氏ノ所ニ行ク。商工課ノコンノ氏来テ居ル。十時半帰ル。

受信 玉枝。南条蘆夫，杉浦健一，宮本技師（水路部），泉井久之助，Un Coup d'Œil sur la Langue TS'U: K（言語研究 15.5. 抜刷）

天城丸入港。

十五日 土 晴，夜雨。

昼前，田山氏，花井氏来。

佐伯氏来。昼一緒ニ車デアラカベサンヘ。武田君モ高松君ノ所ニ来テ居ル。

明日ノ船ヲ園長君カヘルノデ，夜ハ皆デ送別会ニ出テ行ク。

高松、武田君ト蓄音器ヲキイテ遅クマデオキテ居ルト、十二時ニナツテ園長君、死ンダヨウニナツテツレ帰ラレル。

十六日 日曜日 晴、雲多ク昼前パラパラ雨、午後五時頃ヨリ本降り、一寸ヤミシモ、夜又雨ニナル。

午後二時頃ニナツテ、皆デ「十バリキ」デ園長君ヲ送ツテ山城ヘ行キ、ソノママ皆ニワカレテ帰ル。

夜、花井氏ノ会デ南洋ホテルニ行ク筈ダツタガ、面倒臭クナツテ断ハル。

受信 雑誌「野鳥」

十七日 月 晴、

午後、花井氏来、一緒ニ支庁ニ行キ、南拓ニ行ク。旅行用買物。

三十日 日 雨、後止ミシモドンヨリ曇、夕方又雨、

●十八日、午後三時、はやし丸<sup>(重次)</sup>ニテ花井氏ト本島ヘ。昨日午後三時半帰ツテ来ル。風呂ヲアビテ野球ノ決勝戦ヲ見ニ行ク。地方課ト旭。十三回表マデノビテ ドロンゲーム。ソノママ地方課ノ者皆デ松島公園ニ行ク。プタノスキヤ□キデ、ビール、酒、十時前課長達ト一足サキニ帰ツたら、北村君ノ所ニ酒アリ、堀君、北村君、大平君、佐野君、緑川君、宮川君、上地君皆来ル。一時半ニナツテ皆ヒキアゲテ行ク。今日ハ昼前、高松君来、二人デアラカベサンヘ。

## 七月

一日 月 始政紀念日 雨降ツタリ止ンダリ。

朝早クカラ又雨が降り出シタノデ、マタ グズグズ シテシマフ。

午後、晴サンガ電話デ訪ヒ合ハセたら、一時カラ運動会ダケヤロウトシテ居ル由ナノデ、晴サント一時半ニ車ヲ呼ンデ出ル。三時近ク又雨が降り出シタノデ帰ツテシマフ。夕方、田山氏訪問。大平氏ヲ課長ノ所マデ連レテ行ク。夜、堀君、北村君、大平君来テ、十時半迄話シテ行ク。

二日 <sup>水</sup>□火 相変ラズドンヨリシテ居タガ、午後四時頃カラハヒドイ雨ニナリ、嵐メイテ西風ガ吹き荒レル。

受信 宇津秀男、全（電報三通）

発信 宇津秀男（電報）

三日 水 曇, 西風ハゲシ,

夕方、舟木氏ノ所ニ行ク。帰ルト、田山氏ト花井氏トガ丁度訪ネテ来テ居タノデ、誘ハレテホテルニ夕食ヲ食ベニ行ク。ホテルニ清水村<sup>239)</sup>ノ校長ノ及川氏<sup>(淳太郎)</sup>ガ出テ来テ居テ待ッテ居タ。学務ノ連中ガ皆来テ居タ。皆デ プラプラ 歩イテ帰り、南貿デ果物ヲ食ベテ暫ク話シ、帰ッテ別レル。

発信 八幡一郎、(今年来寫予定問合セ)

◎六月十八日

長イ長イマンダロプノ水道ヲ一時間アマリモ曲リ曲ッテ、朝日村<sup>240)</sup> 植民地 (Ngermisi kang) ノ岸ニ着キシハ、既ニ日暮レ前ナリシ。岸ニハ沢山ノ小供大□人ガ出テ居リ、何十ト云フ木箱ニ各種ノ野菜類ガギッシリトツメテ置カレタリキ。トウガン、ナス、インゲン、バナナ、キウリ、マクワウリ、シロウリ、ズキキ、パインアップル、カボチャ、ショウガ、ネギ、サツマイモ、ミツバ、エダマメ、等々一通リ有リケリ。コレハ明早朝コロールノ市場ニ運バルルナリ。余等ハ午後三時コロール波止場ヨリ、はやし丸ト云フ怪シゲナル小型機械船□ニ乗リコミテ、本島一週ノ旅ニツキタルナリ。余ト花井氏トノ外ニハ、カレコレ十人近キ客アリシガ、皆々此処ノ植民地ノオ百姓サンナリシ。皆ツツマシク座ニツキケルガ、余ノ隣リニ席ヲ占メタル老農夫ハ、稍過グル程ニ酩酊シ居リ、花井氏ガ繰リヒロゲル地図ニノシカカリテ、ヤレモ細カシキ質問ヲ発シテ止マザリキ。花井氏ガ十六ミリノフィルムヲ入カヘレバ、又此ノ機械ヲツクツクトノゾキコミテ々々質問ヲ繰リ返ヘシ居タルガ、ヤガテ大イニ感じ入リタル後、自己ヲ紹介シテ、先生方ハ何処カラ見エナシタカ知ラネド、イヅレハ内地ヨリ見エシコトト存ズ。ワレラハ北海道ヲ食ヒツメテ此ノ南洋ノ果テニ来リシ者ナレド、今ハ植民地ニ入りテ、毎日僅カノ泡盛ト取りクミテ、日々ノ野菜ヲ作り居ルナリ。ヨクヨク南洋ノ事状ヲ視察シテ行カレ、内地ノ人々ニ南洋ノ實際ヲ紹介シテ頂キ度シト、クドクドノベシガ、ヤガテイミリーキノ鼻ニカカッテ驟雨沛然□ト来レバ、彼ノ老農ハ稍酔モサメケルカ、口数モ少ナクナリテ、遂ニハ居ネムリニネムリコケテケル。大キク外ヲマハリテガツパン湾<sup>241)</sup> (Ngatpang) ニ入ル頃雨ハ止ミテ、遠ク西ノ空ハ明ルク、黄色キ夕日ノ名残リニ明ルミタリ。影絵ノ如ク□両側ヨリ山ナリニ突キ出デタル岬ノ間ニ、更ニ小サキニツノ小島ヲハサミテ峽マリタル湾ノ入口ノ、鈍ク黄色ク光リタルヲ振り返リテ、マダシカトハ止マヌ雨雲ノ厚キ下ヲ行キテ、マンダロプノ水道ニ入レバ、鬱々ト茂リタルジャングルノ間ニ高ク帯ノ如キ空ヲ見上グル□ノミニテ、船ハ小サキ川イッパイニ波ヲキリツツ、奥ヘ奥ヘト進ムナリ。薄暗キジャングルノ両側ヨリセマリテ、時ニ我等ノ肩ヲ摺リ、背ヲナデルマデハビコリタル。ソノ茂リニ更ニ種々ナル蘭ノ種類、葛草ノ類、寄木ノ類ノカラミツキ、タレサガレルヲ、花井氏珍シガリテ、ノベツニ歎声ヲ発シ、内地ヘハアレモ取りテ行カム、

コレモ土産ニセント限りナキ欲心ヲ声ニ出シタリ。奥マルニ從ヒニマンダロ、紅樹林ハ切レテ、各種ノタコノ木ノ類、ヘゴシダノ類、ニバヤシノ茂リ、名モ知ラス木々ノ広葉小葉ノ相ヒモ変ラズ茂リケル中ヲ、ヤガテ一時間モ進ミテ、ガルミシカン<sup>242)</sup>ノ奥地ニ入レリシヨ。

岸ニ集ヒシ人々ノ、オノオノ我レニ届キシ荷物品物ノ類ヲ受ケトリテ散リ行キケレバ、日ノ暮レヌウチニト、指導所ト云フヲ訪ネシニ、指導員ハアヒニクコロールニ出デテ留守ナリト云フニ、重キリュックヲ背負ヒテ小学校ノ校長ヲ訪ネヌ。船ヨリ品物ヲ受取りシカミサン達ガ、其ノ荷物ヲトロッコニ積ミテコロコロト転ガシ行クヲ見オクリテ、□  
稍長キ道ヲユキケレバ、向フノ方ニ新ラシキ小学校ノ運動場ノ赤土見エテ、ヤガテ其ノ手前ナル校長舎宅ニ着キヌ。

オトナヘバ、スグニ校長先生ノ現ハレテ、話シケレバ、南拓パインノ倶楽部ニ御案内セント云フ。倶楽部ハト云ヘバ、波止場ノ向フノ工場ノ向フノ丘ノ上ナリト云フニ、又荷物ヲカツガネバナラスカトガツカリセシモ、校長サンノ案内サレケレバ、又重キリュックヲ背負ヒテトボトボト後ニツキテ全ジ道ヲ戻リテ、早クモ暮レテ暗クナリシ頃、倶楽部ト云フニ着キヌ、倶楽部ハ立派ナリケリ。課ノ湯浅君、飯田君、農林課ノ緑川君居リテ、広縁ノ籐椅子ニ、□□□<sup>楽々ト</sup>食事モ既ニ終ヘテ、湯上リ浴衣ニ楽々ト涼ミタリケリ。今日一日大和村<sup>243)</sup>方面迄鳩打チニ行キタリトテ、向ヒ側ノ縁外ニ腸ダケヌキテ二十羽程モ鳩ヲサゲタリ。直チニ浴衣ニ着カヘテ話スウチニ、皆ハ一廻リ散歩シテ来ルトテ出カケタル頃、食事ノ用意出来タリト知ラセアリケレバ、食堂ニ行キテ空腹ヲ満タシケリ。既ニ八時ナリシ。夜更クルニツレテ雲ドキタレバ十三日月皎々ト照リテ、川ヨリ僅カニ上リシ低地トモ思ハレズ山深く、静ケク、内地ノ高原ノ如キ涼シサナリ。ヤガテ飯田君等モ帰り来リ、十時ニハ電気ノ消エルサウニテ、九時半ニハオバサンノ来テ床ヲノベテクレケルニ、十時前、蚊帳ニモグリテ長々ト脚ヲノバシケル。

四日 木 ドウヤラ晴ル、雲多く、マダ名残ホド風ダテド蒸々ス。一二度パラパラ雨モアリ。

役所ノカヘリ栗山君ト南賀ヘ。栗山君、剛サン宿ニ来テ風呂ヲアビテ帰ル。三時前、<sup>(註)</sup>近海丸入港、高橋サン帰ル。

◎六月十九日

飯田君達六時ノ船ニテ帰ルトテ、五時半ニハ起キヌ。マダ日ノ上ラヌ山々ニ濃キ霧ノタチコメテ、水墨画ノ如ク、白キ霧ノ中ニクッキリト遠近ヲツケテ山々ノ頂ガ浮カビ、其ノ朝霧ノ中ヨリ、冷々スル山ノ氣ノ中ヨリ朝鳥(Tutao)ノ声、絶エ間ナクキコエシガ、明ルクナルニツレテ、急ニ其ノ声モ稀ニナリユキヌ。三人ガ サウサウト 出デ行ク時ニハ、其ノ霧ガ一面ニヒロゴリテ、向フ側ハ一切見エズナリヌ。サレド ソレモ一シキリニテ、十五分程ノ間ニ薄レ行キテ、朝日ガ忽チノウチニ上リユキ光ヲマシヌ。切り開

カレシ緒土ノ庭ヲ一マハリ見シガ、コンナ所ニモ立派ナ hesūlūh アリ。但シ断面ニハ見ザリシ。鳩ノ鳴キテハ飛ビ、Kelanglang 蟬ノベツニ遠ク鳴キ居リ。

朝食ヲ終ハリテ直チニ花井氏ト農事組合ニ□ユキ、若キ掛リ員ニ案内サレテ指導所ニ行キ、此ノ朝日村植民地ノ状勢ナド細々ト聞ク。

現在ノ此ノ植民地ハ 97 戸 565 人。男 272 人、女 293 人。労働可能者 279 人。内、男 145 人、女 134 人。(十五年三月調べ) ナリト。此ノ外ニ南拓パイン工場ニ働ク社員、人夫ハ別ナリト。牛 31 頭、豚 255 頭、山羊 10 頭、鶏 1448 羽、家鴨 44 羽ナリト。長野県ヨリ優良種山羊ヲ十八頭入レシモ、盛ニ死ニテ今ハ 8 頭残レリト。但シ仔ガ殖エレバ特ニ弱キコトモナカラント。

現在植付ケアルモノハ、

キャッサバ <sup>〔ママ〕</sup>	27 町 3000.
トバ	18 町 7000.
カカオ	6 町 8500.
黄麻	2 町 1500.
落花生	2 町 3000.
レモン	4 町 3500.
果樹	13 町 4000.
蔬菜	33 町 2220.

ニテ、其他ハ殆ド全部パインナル由ナルモ、パインハ罐ノ統制ニテ、軍隊ノ需用ト外國輸出ノミ許サルル状態ナル故、サキノ見透シツカズ、目下パインヲ減ジテキャッサバヲ植付クル様計画サレ居ル由ナリ。然レドモキャッサバモル<sup>〔ママ〕</sup>トニ乾燥スルモノハ、貫四銭ヨリトラスサウナレバ、農民等ハ一向ススマザル様子ナリ。

パインハ段当リ 1200 本ヲ植エ、一年頃ヨリ結実二年目段 25 円、三年目段 20 円位ノ平均収入ナリト。

移民者ハ北海道ヨリ入りシ者大半ヲ占メ居リ、少数ノ古キモノヲノゾキテハ一般ニアマリ質ヨカラズ、一攫千金ヲ夢ミテ質実ニオチツカズ、殊ニ植民地ヲ歩キマハリシ者等ハ何カト補助金ノミヲ頼リテ、溝一ツ掘ルニモ補助金、補助金ニテ誠ニヤリニクキサウナリ。後更ニ案内サレテ山上ノ朝日神社ニ詣テ、全景ヲ活□動ニオサメテ山ヲ下リ、耕作地ヲ一マハリ見学セリ。

昼モ大分遅クナリテ一先ヅ倶楽部ニカヘリ、昼食シテ再ビ出カケヌ。今度ハ南拓パインノ工場ニ行キヌ。此ノ工場ハ昭和十年ニ始マリシモノ□ニテ、此処ニテ扱ヒ居ルパインハ朝日村ノ 200 町歩、新<sup>和</sup>ラシク出来シ□大和村ノ 30 町歩、ガツパン南拓農場ノ 130 町歩(ウチ、スムース 50 町歩)ノモノナリト。

現在年 50000 箱位ヒ扱ヒ居レド、能力ハ 100000 箱余ヲ扱ヒ得ルナリト。女工約 100 名(主トシテ沖縄県人)、ウチ半数ハ寄宿舎ニ居リ。手不足ノ時ハ村ヨリモ手伝人ヲ入ルレ

ド、セイゼイ 30 名位ヨリ多クハ出デザル状態ナリト。男工 40□名常置。五、六、七、八月  
辺ガ収穫繁忙期ナリト。女工ハ沖繩ヨリ二年契約ニテ入レ居レド、期限未了ニテ逃グル  
モノモ相当ニアリ。勞□働□力ガ最モ六カシキ問題ナリト。

台湾ノパインハ形ヨケレド、気泡多ク芯太シ。此処ノモノハ甘味強ク、繊維ノ細カキ  
点スグレタレド、錐形ニ先□尖リタルモノ多キ為、無駄ヲ出シテ不可ナリト。シカシ台  
湾ニテハ収穫迄ニ二ヶ□年半ヲ要スレド、此処ニテハ一年ヨリ一年八ヶ月ニテ収穫シ得、  
且ツ二度目ハ六ヶ月ヨリ八ヶ月ノ<sup>[短]</sup>単期ニテ再ビ収穫シ得レバ、農民トシテハ非常ニ楽ナ  
ル筈ナリト。シカルニ移民ノ大部ハ北海道ヨリ入りシ者ニテ、彼地ノ大農式ニ慣レテ、  
小農トシテハ手不足ノ範圍迄モ手ヲヒロゲル為、除草等手入届カズ、更ニ二回目ニ至リ  
テハ、芽ヲ摘ムニサヘ手届カズ、一本ニ三ツ四ツモ実ヲツケテシマフ為、不良品ノミ多  
クナリテ、仕末ニ困ル次第ナリト。

普通ノパインニアリテハ 400 目以上ヲ一等品トシ、一等品五錢、二等品四錢、三等品  
一錢五厘トセリ。外国輸出ハ<sup>[到]</sup>価格安ニテ、目下ノ状態ニテハ倒底出シ得ザレト、陸海軍  
ニテハ相当ヨク引取リケル為、ドウニカ統ケ居ル有様ナリト。

台湾ニテハ町当り 200 円—250 円取ナレド、昨年ハ 2500 円—2000 円取ノモノ六戸  
アリ。1500 円取以上ノモノ三十戸モアリシト。

現時繊維モ売レル様ナリシモ、遊びノ日ノ日当ニ当ル位ノ収入ナリト。

工場ヲマハリ見テ後、小学校ヘ行ク。三人ノ<sup>[ママ]</sup>先生ト六時迄モ話シテ—其ノ前ヨリ  
雨ニナリシガ、雨ノ止ミ間ニ帰り来ル。六時半過ギテ倶楽部ニ帰り来ルヤ、又モ一雨ザ  
ンザト来ヌ。

夕食ハ大變ナ御馳走ニテ、コロールニハ久シクキレテナクナリシメリケン粉料理、貝  
ノ柱トサヤインゲンノテンブラ、卵ノ目玉焼キニキウリ、ウナギノカバヤキ (但シカン  
ヅメ)、キウリモミニオクラノ茹デタノ、キウリトナスノオ香物、オ食後ガ大キナパイ  
ヤナリ。↙

五日 金 晴、

[受信] 西尾滋、土方愛子、阿久津源作、東宝映画 (石田建)、宝塚少女歌劇団 (宇津秀  
男)、井関鼎、赤松俊子、  
土方愛子 (小包、衣服)、「オール女性」「宝塚グラフ」及「歌劇雑誌」

航空便デ、「過去ニ於ケルパラオ人ノ宗教信仰」ノ校正刷来ル。

夜、堀君、馬來語ノ講習ニ誘ヒニ来ル。

ㄨ昼前、指導所ヨリ神社ニノボリテ後、村ヲマハリ植民村ノ代表家 太田忠義君ノ所ニ行



キ山々ニカコマレテ、永久ニ眠リ続ケル如キ村、ココヨリハ小学校ト神社ノ外ニハ ホンノ二三ノ家ヨリハ見エズ。Ngürüm hais ヲ越エテ タラタラ ト下リタル所ニテ、又々腰ヲオロシテ aked ノ段台ヲスケッチ。左手 Rois ノ古村ヨリ、Hettilwil ヲ背景ニセル段々 aked ヲ。

一寸薄日ノサシカケシ空ガ、マタマタ雲ニトザサレテ、照ラレハセネド、風ガ死ンデ、蒸々ト荷物ガ重ク感ゼラレス。ア・イメヨンニ入りシ頃ヨリ ポツポツ 背中ノ痛ミ出デシガ、一寸 Ngertülong ノ家ヲ見テ — debüll ニアル丸石ガ ngi Ertülong ノ石ニテ、今一ツノ陽石ノ如キハ Teedee bülüngüt ナリト云フ。ソレヨリ Udüs ヲ過ギル頃ヨリ遂ニ雨ニナリシカバ、傘サシテイソギ、十時前アルミニウム鋳区ニツキテ、事務所ニ入ルト、ハゲシキ風ニ乗リテ雨吹き荒レタリ。✓

六日 土 晴、午後曇、二時頃雨、夜又雨風、

午後、□野球ノ決勝戦ガアルトカダツタガ、花井氏ガ来テ鰐ガ見度イカラアラカバサンニツレテ行ッテクレト云フノデ、太平君ト三人デバスデ行き、二時頃紀美水産ニ行く。鰐ヲ見、上リコンデ話シテ居ルト雨ガ来、五時頃辞シテ帰り、バラオ水産ニヨル。花井氏、太平君ハ帰り、自分ハ宿ル。

夜、陸男サン、若イノヲ三人ツレテ来ル。一時過ぎ迄。

七日 日曜日 晴、風ヤヤ荒シ、

木彫レリーフ。夜十時ニ帰ッテクル。

ㄨ直キニトラックガ来ル筈ナレバ待テト云フ。待ツ程ニ来ラズ、雨ハ盛ニ吹き降りシカバ、出ラレモセネバ話シ話シ待ツニ、アルメッテンゲルヨリ来リシ者ノ一台ノトラックハ故障シテ動カザレド、一台ハ間モナク来ルベシト報ジケレバ、待チ待チテ殆ド四十分ニモナリシガ遂ニ来ズ。又ノ止ミ間ヲ又々、荷物ヲ背負ヒテアルメッテンゲルニ行ク道ヲ迂リ迂リ行キヌ。事務所ニ着キシハ十一時ニ二十分程前ナリシ。背中ノ痛ミハゲシクナリテ堪エガタシ。中食ヲ馳走ニナリ、堤氏ニ案内サレテ洗鋳場ヲ見、波止場ニ出デ、直チニ大和丸ニテ、十二時半出発。二時半ニハガルツマオノ外ニ着キシモ、雨降りテ降りテ止マズ、背中ヒシヒシト痛ケレバ、花井氏ニハ先キニ行ッテモラヒ、余ハ荷物ト共ニ梅丸ニ乗りテ一寝入りシヌ。梅丸ハ渡船ニテ、川ヲ上リテ工業区域ニ行く船ナルモ、汐ナクテ入り得ヌナリ。五時メサムレバ、雨モドウニカ止ミタリ、汐モ満チタリ。背痛モマツオサマリヌ。ポカント西ノ空ノ薄黄色キヲボンヤリナガメ居レバ、後ノ方ニ□テガヤガヤト立騒グ音シテ、一艘ノ大型機艇ニギッシリト□七八十人モ水兵ノ乗り組ミテ、沖ノ方ニボンポント出デ行キケリ。沖ニハ一隻ノ軍艦静カニトマレル。

五時半ニ梅丸動キテ、二十分程水道ヲサカノボリテ村ニツキヌ。職員宿泊所ニ入レバ

花井氏先着、軍艦トキワナル由ニテ砲術長、航海長来テ居リ。晩ニ再ビ来ルベシトテチキニ帰りユク。

入浴後、坂口氏ト共ニ御馳走ニビール、此ノ間兵隊達大イニ演習ト見エテ、向ヒノ山ヨリ盛ニサーチライトヲテラシ来ル。後又海軍ノ若キ士官達五・六名来テ、盛ニ地図ヲヒロゲテ会議セシガ、ヤガテ代ル代ル風呂ヲアビテ十時頃帰りユキヌ。ガラヅマノ地、要塞トシテ唯一ナル地形ナル由ニテ、種々設備演習中ナルナリ。夜ハ、又シヨボシヨボト雨ニナリ、冷々ト肌寒シ。寒々ト十一月ノ如ク寒シ。

マンガロノ満汐時ノ水道ハイツモ、ドチラヲ向キテモ、ホント〔小〕少サキ一部分サヘガ、絵ニ画キ度キヨウニ美シ。今日ノ職員宿泊所ハ、朝日村ノ倶楽部ヨリハ更ニ整備サレタルモノニテ、道ニアルミノ大事業地タリ。電気ハ明ルク、風呂場モ気持ヨク綺麗ナリ。近頃ハ、本島トテモ日本人ノ入り居ル所ハナカナカゼイタクナリ。明日ノアルコロンヨリハ、又々ランプノ島民部落ノ旅ナリ。セメテハ天気ダケニテモヨクシタキモノナリ。  
✓

八日 月 曇、風ハゲシ、

夜、Kisaül, Mehelings ガ訪ネテ来ル、一緒ニ出、街デワカレテ松野君ノ所ニ行ク、一時間モ話シテ居ルト、Maria ガ迎ヘニ来ル。

Maria ノ所ニ行キ、Kisaül, Mehelings, 皆デ禧夢羅弥ヘ行ク。

六月二十一日  
↘□□□□□□

アルテマンノボーキサイトハ昭和十一、十二年ヲ調査ニ費シ、十三年六月ニ着手、十四年度迄ニ 18000 噸ヲ出シシト云フ。ココノボーキサイトハ四国ノ新浜揚ガ、住友ニ出シ居レド、住友ニテハ未ダ積ミ置クノミニテ製錬シ□居ラザル由、マルキョク方面ニハ白色ボーキサイトアレド、シリカ多クテ不可ナル由、ココラノ普通ノボーキサイトハ

アルミナ	□□□□ <sup>6.2%</sup>	49%	} 中所
赤 酸化鉄	□□□□ <sup>2.8%</sup>	17.40%	
シリカ	□	1.15%	

アルミナ	62%
白 酸化鉄	2.8%
シリカ	7.0%

ボナペニ大量ニアレド、森林地帯ナル故カ品位ニ於テ劣ル由。シリカ多シ。

価格、山元ニ於テ 12 円—13 円、内地行キ運賃、噸 13 円、油類、タイヤノ高騰ニテ、山元値ハ上ル一方ナル由。本年度ハ 20000 噸ノ予定ナルモ、事実ハ之ニ達セザル由。

労力ハアイメヨン、アルテマン島民 20 名、ヤップ人夫 10 名、邦人約 70 名。✓

〔発信〕 土方愛子、

九日 火 曇、風強シ、

近海丸、未明出港ガ九時ニナリ、十二時ニナル。宮地氏行ク。中村君帰ル。

夜、Bahas a Malajoe、後、堀サントカナリヤ、パレス。

〔発信〕 赤松俊子、金□子九平次、南条蘆夫、阿久津源作、

ㄨ◎六月二十一日

昨夜願ヒシ天気ハ全ク恵マレズテ、朝ヨリザアザアトノベタラナ雨降り居リ。八時、雨小止ミニ止ミシカバ、ボーキサイトノ事務所ニ行キ、案内者ヲ得テ鉦区ノ頂上マデ見ニ行ク。洗鉦場モ見シガ、マダ一部ノミヨリ動き居ラザリシ。十時過ギテ事務所ニ帰り、暫クシテ村ニ帰リシガ、今日ハ海軍ノ司令官一行三十六人上陸スルトテ、小学校ノ生徒出迎ヘハジメ、村モ、職員□宿所モゴツカカヘシテ居リ。一番トツキノ島民ノ家ニ女達踊ノ衣装ヲツケテ集ヒ居リシメバ、花井氏早速活動写真ノ機械ヲ取り来リテ、踊ラセテ写シス。中食モトワリテ十二時半ワシサンニ荷物ヲカツガセテ、村ヲ見乍ラガルゾマオノ突堤ニ出デ来ルト、丁度、ちちぶ丸来リケレバ、乗リコムト直チニ出ヌ。早速弁当ヲヒラキ、船室ニ入りテウトウト居ネムリシニ、二時アウロン<sup>244</sup>ニ着ク。汐ナクテ、コレヨリ行キテモオコトルニハ入レヌ由ニテ、四時迄ココニ待ツト云フ。其間プラプラ歩キテ、クレバヤン迄行キヌ。四時アウロン発、三十分余ニテオコトルニ着キ、村吏事務所ニ入ル。巡查ノ所ニ風呂ヲ浴ビニ行キ、帰リテ食事。南賢ノ大道氏ト、田村亀次郎ト云フ老人ト同宿。✓

十日 水<sup>日</sup>□ 晴、西ヨリ南風吹キツツク、

パレスデ海軍ノ若イ士官達ト痛□飲。

十一日 木 曇、西ヨリ南風ハゲシ、午後漸次晴ル、

昨夜ノタタリニテ背中痛ミ、腹オサマリ悪シ、ゴロゴロシ、ウトウトス。

十二日 金 晴、午後雲多ク、夕方三十分程雨アリ。

小山氏（パラオ水産）ノ結婚披露ノ意味デ、佐伯サン達カラ招カレテ居タノデ、夜ホテルニ行ツタガ、相憎停電デ一時間モ待ッテモツカズ、蠟燭デ食堂ヲ終ル。清サン夫妻、<sup>〔郎〕</sup>睦男サン夫妻、本日サン夫妻、南サン夫妻、山本夫人、野村サン、<sup>〔ママ〕</sup>南サン夫妻、ソレニ紀美水産ト、ミュンスノ若イ人達が来テ居タ。

十三日 土 曇，晴，午後雨降ツタリ止ンダリ，  
一時ノバスデアラカベサンヘ。浮彫。晴サン留守デ，<sup>[ママ]</sup>夜夕事前ニ帰ッテクル。

十四日 日曜日 終日雨，殊ニ午後ハ西風烈シ，  
晴サン，午後出テ行ク。  
浮彫，夕方雨ノ中ヲ帰ッテクル。ガソリンナクテ，ドコノ自動車モ動かヌナリ。  
夜，落合君ガ緑川君ノ所ニ引越シテ来タガ，<sup>[ママ]</sup>緑川君ガ留守ナクテ来テ遊ンデ行ク。

ㄨ◎六月二十二日，

久々ニ朝ガ爽ヤカニ一点ノ雲モナク，晴レタリ。

ビスケット ニテ食事ヲスマセ——大道氏ハ□早朝 Holley ニ出カケシナリ——  
Mangallang ノ裏ノ aked ニ出デヌ。イツカ来シ道，幾度カ来シ此ノ aked。今日モ亦来  
テ，タコノ木ノ斑ヲラ愛シ，段台ノ美シキ青サヲ愛デ，開ケツバナシノ空ヲ，果テシモ  
ナキ海ヨリ吹キ上ル風ヲ，真昼ノ，月ノ夜ノ朝露ノ，夕ノ，ソレゾレノ思ヒ出ヲナツ  
カシミ，サテ Bad'l ūlhaū ヲ見キ<sup>見キ</sup>□□行キケルヲ感違ヒシテ，タンネンニ斜面ノ草深キ  
中ヲ歩キマハレド，遂ニ見出サズテ，山ニ登リ谷ニ降り，一時間余モサマヨヒシガ，根  
□尽キテ遂ニガベイニ行ク道ヲ下リス。Ngabei<sup>245</sup>ノ部落ヲスケテ Mangallang ニ帰リ  
ヌ。Bai ニ人集リテ Uup ヲ取りカヘ居リ，若者ヲハ屋根ニ上リ居ルニ，Bai ノ中ニハ<sup>[R]</sup>  
Būbak ラ例ノ如ク窓際ニ一人ツツ座リテ雑談セリ。其ノウチニ次々ハトボックスガ運ビ  
コマレ，馳走ガハジマル所ナリケレバ，ハツシテ帰りシニ，ボックス一台，後ヨリトド  
ケテ寄来シケレバ，ソレニテ花井氏ト中食ヲスマセヌ。

花井氏，巡査ノ所ニ行キシガ，スグカヘリ来テ，コレヨリ巡査ト Bad'l ūlhaū ニ行ク  
ト云フ。余ハ居残りテ休ミケルニ，Eramadarai 来リテ，何かトシキリニ喋リ居リ。三  
時ニ花井氏帰りシカバ出発セントスルニ，Shokaisang 居ラズ。Eramadalaï ニ探サセシ  
ガ，Shokaisang ハ Holleng ニ行キテシマヒシ由。巡査ガ a Mad ヲツレ行ケト云ヘハ呼  
ビニヤリシモ，之モ居ラズテ，雨ザンザト降り来ヌ。ヤット止ミテ業ヲニヤシ居ル所ヘ  
Eramadalaï 独リ帰り来シカバ，仕方ナク其ノママ出発。既ニ四時ヲ過ギタリ。a Hol  
マデ来シニ，先キヨリ痛ミハジメシ背ノ，烈シクナリシカバ休場ニ入りテヒックリカヘリ  
ヌ。ヨキ按摩ニ Maūi ガ Ngarald ニ行ク由ナリケレバ，荷物ヲ持ッテ貰ヒテ又行キヌ。  
昔ト比ベテ道モヨクナリテ歩キヨケレド，久々ニ歩クトナカナカニ遠キヲ，背ノ痛ミハ  
□ゲシケレバ，一行ヨリ先キニ急行強行，ヤウヤクニ Halap ノ椰子浜ノ Bai ニツキテヒ  
ックリカヘッテ皆ヲ待チシ□ガ，時間ニシテハ間モナクテ皆ニ追ヒツカレケレバ，汝ノ  
来ヌウチニト，直チニ歩キ出デ，六時半ヲ過ギテ Ulimang ニ入リス。<sup>[元信]</sup>永原校長ノ所ニ  
テ風呂ヲ馳走ニナリ，オ茶ヲ馳走ニナリ，村吏事務所ニ引上ゲテ夕食ヲ取りシガ八時半  
ナリシ。校長ノ心ツクシニテ，鶏トマンガロブ蟹ノ大キナルト，魚ト，ナカナカノ料理

ナリ、ボーイ達ト冗談ヲ云ヒ云ヒ、九時半ヲ過ギシバカリヲ早く寝ニ就キヌ。↙

十五日 月 曇り、西南風烈シ。

明日ノ船デ林サンガ帰ルノデ、栗山君今日カラ自分ノ所ニ泊リニ来ル。

十六日 火 晴、午前ト午後ト夜ト小驟雨アリ、

九時半サイバン丸入港、コレデ、野村大将ハジメ地方課デ受ケルオ客ガ六人来ルノデ、皆手ワケシテ迎ヘニ行ク。自分ト徳村君ト、杉浦健一君ヲ迎ヘニ行ク。林サン、野元サン達帰ッテ来ル。上陸、田山サン、大平サント、杉浦君ト、田山サンノ官舎ニ行キ、一休ミシテ、皆デ金寿司ニ行キ中食、後役所ニ行キ、三時半、杉浦君ト村ニ出、Tehekīニヨッテミル、人ナシ。

三時五十分、慶応ノ学生六人、バイニ来ルト云フノデ待ツト、間モナク佐々木君ガツイテ来ル。バイ説明、後杉浦君トMilongニ行ク。ソレカラ野元サンノ所ヘ。夕方六時過ギホテルヘ。田山サン、大平君ト□興発ノ若イ人ト先キニ来テ居ル。後、徳村君、国実サン、中尾サン来ル。夕食、久々ニ月明ルク皆デブラブラ歩イテ、九時過ギニ帰ル。

↘◎六月二十三日

朝マタ天気ヨシ。花井氏トNgesang<sup>246)</sup>ヨリHalap<sup>247)</sup>、Ngabūkdヲマハル。四郎ノ家ニ行キ、Pkūl-aholノ所ニ行キ、Ulimang<sup>248)</sup>ヘノ道悪ケレバ引カヘシテ、Halapノ□<sup>N</sup>□□□<sup>g s s</sup>Ngesangヨリ帰り、更ニUlimangノBai迄、活動写真ヲトリニ行ク。午後暫ラク昼寝シテ、三時、Gorō、Osūbederengニ荷物ヲカツガセテ出発。Ngkeklaō<sup>249)</sup>ニテBaūmertノ家ニヨリテ休ミ、鳩ヲ買ヒテ出発。五時半ヲ□□過ギテUngiwal<sup>250)</sup>ニ着キヌ。午後ノ一時半程ヨリハゲシキスコールナリシ為、出発前寝テ待チシナリ。其ノ後東風ハゲシク、ドンヨリト曇り、小雨時々アリ、豚小屋ノ中ノ如キ道ナリキ。鳩ノ吸物ニテ夕食ニハ舌鼓ヲ打チヌ。

十七日 水 晴、終日風アリテ涼シ、

朝、林サント支庁ニ行キ、支庁長ヲサソヒテ、南拓理事舎宅ニ野村大将<sup>251)</sup>ヲ迎ヘニ行ク。九時過ギ、一行トバイニ出、自分ハバイノ説明ダケシテ役所ノ前デ車ヲ降り、十時半ヨリ、杉浦君、税務課長、中尾氏、国実氏、徳村氏、吉村氏ト倶楽部デ、ポナベ調査方針ニツキ、ウチアハセ。

夜、舟木サンノ所ニ行ク。明日ノ飛行便テ緒方武官が見エル由デ、舟木サンノ所デハ明日ノ朝中ニ興発倶楽部ヘ引移ル由デ、引越シ用意済ミナリ。舟木サンハ南支ニ出ラレル由。

十八日 木 晴，風アレド，稍暑シ，

午後一時半ヨリ，会議室ニテ杉浦君ノ「外南洋ノ土民ノ文化ニ就テ」ト云フ講演アリ。後，杉浦君ト南賢ニ行き，夕方迄話シコム。

夜，杉浦君，大平君ト散歩，帰り南賢デ野口君夫妻ニアヒ，又上ニ行ッテ話シコンデ，九時ニ追出サレテ帰ル。

◎六月二十四日

今日モ床ノ中ニ聞ク雨。六時過ギ ドウニカ止ミシモ見当ツカズ。Ngarmehaū ノ裏ヲ一マハリシテ来レド，其ノ間モ パラパラ ト雨ニ降ラレス，深草ヲ濡レ分ケテ裏ノ aked ノ下ヲ一廻リセシガ，此ノ Nglaitbedel ノ aked ハ稍防禦塞トシテ作ラレタルカノ感アリ。

荷物ハ朝早くみどり丸ニノセテ，Melekeok ニモタセヤリタリ。Ngardok ヲマハッテ Melekeok ニ出ヅル心算ナリシガ，ヒドク雨降り来リテ何時止ムトモ見透シツカザリケレバ，又宿ニ引カヘシテ休ミス。午後ニナリテモ天気ハ一向ヨクナラズ，一寝入シテ待ツホドニ，三時ニナリテヤット雨止ミシカバ出発シヌ。オギワルノ波止場へ出ル aked 道モナガラ，南賢農場ヨリ先キハ，ドブドロノ中ノ如キ道ヲダダラト三時間モカカリテ Melekeok ニ入りシ□ハ，既ニ日暮ナリキ。ビチョ ビチョ ト足ヲ濡レ通シシカバ，背中痛クテ堪エズ。花井氏，橋ノ上ニヘバリツイテ魚ニ見トレ，農場ニヨリテ黄麻ノ話ヲキキ，道ニ貝□器ヲサガストテ，グズグズセル為ナリ。薄暗クナリテ校長ノ所ニ行き，兎モ角モ風呂ヲ馳走ニナリテ，オ茶菓ヲ馳走ニナリテ，話スウチニ八時ニモナリテ，Molongoes ガ役場ニ夕食ノ仕度出来タリト知ラセテ来ヌ。一シキリザンザト雨フリシモ幸止ミシカバ，役場ニウツリシニ，又々雨トナリス。

例ニヨリテ，此処ハ御馳走ナリ。鶏ト筍ノ煮ツケ，鳩ノテリヤキ，オサシミ，ニ焼魚ナリ。タラフク食ベテ早々ニ床ニ就キケレド，寝ハセズテ長イコト話シテアリケル。南賢農場 800 町歩予定。現在鮮人二十五家族ノ由。

◎六月二十五日

段々曇リテ霞ミタレド，朝日ハサシケリ。花井氏ハリキリテ，朝食前ニ公学校ニ活動写真ノ機械ヲカツイデ行キタリ。雨ノ中ヲ毎日ヨク歩キテ，漸クイヤニナリケル折トテ，此ノ天気ヨクナレト願ヘド，イツカナ怪シゲナリ。

Okūmi ヲリ旧村ヲ一マハリシテ Ohūl a doho ニ降りケレバ，<sup>〔善株〕</sup>西尾君，庭ニキャンバスヲタテテシキリニ画ヲカケリ。池辺氏モアリ。カレコレ昼ニ近カリキ。

食後出発，Ngardok ヲマハリテ清水村植民地ニマハル筈ナレバ，一緒ニ Ngardok マデ見ニ行キテハ如何ト云ヘバ，行カント云フ。別レテ宿ニカヘリテ食事セルニ，二人早々ト食事ヲ終ヘテミエタリ。

出先キニナリテバラバラト雨ニナリシガ、島民ノ夜マデハタイシタ事モナカラント云フニ、ツレダチテ出デケルヲ、学校ニ寄りテ挨拶□スル間ニ雨イタクハゲシクナリケレバ、暫シタメラフ間ニ又止ミケレバ、二時ニナリテ出カケヌ。

Ngabūrūh ヲ過ギテ aked ニ出ル迄ハ雨アトノドロコ道ナリシガ、aked ニ出デテハ眺メモヒラケ道モスカルマズ、上リ下リスルウチハ日ノ照ラスガ却ッテ楽ナリキ。十年ブリニ Ngardok ノ湖ニ来タリ<sup>252)</sup>。其ノ頃ニナリテ日モ照リケリ。静カナリケリ。dūloyoh モ飛バザリケリ。此ノ湖四囲密林ニカコマレテ、歩クコトモカナハヌガ惜シキ。只々見□入ルノミナリ。此処ニテ西尾君、池部氏<sup>(ママ)</sup>トワカレ、清水村植民地ヘト道ヲ取りヌ。又々<sup>痛</sup>□背中痛シ。aked 道ヲ幾度カ休ミ休ミ行ケケルガ、植民地ヲ見下シテヨリ先キガナカナカニ長カリケリ。途中農家ニヨリテパインアップルヲ貰ッテ咽ウルホシテ生キ返リケリ。今日モ□マタ小学校ニ辿リツキシハ、日モ暮レ暮レノ頃ナリシ。校舎ニツヅケル校長舎宅ニ厄介ニナル。

◎六月二十六日、

清水村ハ一家ニツキパイン一町二反、キャッサバ一町、トバ二反、カカオ二反、黄麻二反、落花生五段、レモン一反、ガンビール一反、当。総町歩数、パイン 115 町 2 反、キャッサバ 96 町、トバ 19 町 2 反、カカオ 19 町 2 反、黄麻 19 町 2 反、落花生 48 町、レモン 9 町 6 反、ガンビール 9 町 6 反ガ支庁ノ計画ナル由。

現在ハ 96 戸アリテ、パイン 124 町 3 反、キャッサバ 59 町、果樹 16 町 3 反、黄麻 3 町 5 反、トバ 2 町 5 反、雑穀 12 町ナル由。

五月調べ、収益ガ

パイン 8505<sup>円</sup>.98. キャッサバ 435<sup>円</sup>.50. 蔬菜 3921<sup>円</sup>.56. □畜産 795<sup>円</sup>.30. 山林工場 3786<sup>円</sup>. 樹皮其他 344<sup>円</sup>. 計 17700<sup>円</sup>ナリシ由。

キャッサバ・ルート工場ニモ行キヌ。

現在、生芋ニテ一日三千貫ヲ扱ヒ居ル由。

第一農場 40 町歩、外国種苗圃地、

第二農場 300 町歩、コレガ来年六月ヨリ収穫アル筈ニテ、サスレバ一日一万貫ヲ扱ヒ得ベシト。

キャッサバハ植付後一ヶ□年、段当り 600 貫乃至 1300 貫ナレド、普通 800 貫内外ナリト。サウペトロ有毒種(青酸)、清水一号トセルモノヲ農場ニテハ植エタル由ニテ段 1000 貫ヲ計算シ居ル由。有毒種ハ歩ドマリ悪ケレド、総額ニ於テ多量ナル為、ルート用トシテハ得ナル由。✓

十九日 金 晴, 午後一時半頃ヨリ急ニ西風烈シク吹キテ雨ニナル。一□トキ止ミシモ, 日暮頃ヨリ又々風雨ハゲシクテ嵐メキタリ。

ㄨ九時ニ学校ヲ出デ, 指導所ニヨリテ村ノ話ヲキキ, 豊南産業ノキャッサバ工場ニ行キヌ。十時半辞シテ, イヨイヨ aked 道ニカカリヌ。途中三度四度森林地ニ入りシモ概ネ aked ニテ, 上り下リアレド案外ニ楽ナリケリ。途中雨ニモアヒシガ長クハ降ラズ, 蒸スヤウナ aked 道ヲ十一時半過ギテ三角点ノ水路部標識ノアル所ニ着キヌ。又行キテ弁当ニセントテ森林地ニ入りシニ, マタ雨ニナリケレバ, 止ムマデ歩カント, マタ aked ニ出ズレバ, 南拓農場ヲハルカニ見ハルカセリ。雨止マネバ更ニ行キケルニ, 雨ハマスマスハゲシク, 最後ノ森林地ニ入りシ時ハ流ス如キ雨ニテ, 道ハスベリスベリ, スカルミニ落ちケル。森林地ヲ急傾斜ニ降り終レバ農場ニ出デ, 牛馬小屋アリケレバ, 兎モ角モソコニ逃ゲ込ミタレバ, 既ニ濡レ透リケル。暫ラク休ム程ニ, 雨モドウニカ過ギケレバ一山越エテ, 事務所ニ着キヌ。ココニテ弁当ヲヒラキヌ。一時半ヲ過ギケリ。話ナドキキテ三時前マデアリシガ, マダ早ケレバ旧ガツパン部落ニ行キヌ。Ngabiyang 家ニ人多ク居タレバ立寄りテ何かト話シ, 四時半, 裏ノ aked ニ出デシガ, 又々雨ノ来シカバ引カヘセルニ, カランカラント鐘フル音ス。ハツパヲカケルナリ。暫ク腰ヲオロシテ待ツウチニ, ドカンドカント続ケザマニ爆音ノシテ, ヤガテ静マリケレバ, 洗身場ニ降りテ, □土木ノ人達ノ所ヲ通りテ大通ニ出デ, サキ来シ道ヲ戻リケリ。新ラシキ道ハ広ケレ□ド, 粘土, 靴ノ裏ニツキテ気持悪シ。農場ニ戻リテ更ニ熱産道ニカカリシハ, 既ニ六時ナリケリ。ソレヨリドロコンノ道ヲ行ケドモ行ケドモ, 遠クテナカナカニハ着カズ。暗クナリテ七時ニモナリテ着キケリ。足ヲ洗キ, 食事シ, 湯ヲアビ, 小林君来テ, 十時消灯。ホトホト勞レ果テケル。(次々頁へ)

二十日 土 曇, 晴,

午後, アラカベサンニ行キシモ稍□背中痛クテ, 高松君ノ所ニアガッテ寝コロンデ居タラ, 晴サンガ帰ッテ来テ, 報知新聞ノ山本忠次ト云フ人ヲミュンスニツレテ行クカラ一所ニ行カウト云フ。一所ニ行キ, ataoh マデオリテ暫ク話シテ上ッテケル。山本氏ハ夕方帰ッテユク。高松君ト二人ダケデ, 夜ハ久々ニ蓄音機ヲ聞ク。イツダッテ, 蓄音器ナノダガ, イツモハ人バカリ多クテ, 其レモ勝負事ノ連中ガ多イノデ, 陽気ナモノヲ騒ガシクキクダケダガ, 今日ハソレコソ静カニ, モツァールトノピアノ コンチェルトヲ四枚裏表, ドボルジャクノストリング クワルテットヲ三枚裏表, 全部カケタ。遅ク□コーヒーガハイッテ奥サンモ来テ, オカシヲタベ終ッたら, 晴サンガ, パレスノ女二人ツレテ帰ッテケル。

二十一日 日曜日 晴, 雲多シ。

浮彫, ドウニカー一日カカッテ仕上ゲル。

夜、九時頃、雲ノ上ニ見エナイ月アカリヲ、歩イテ帰ッテクル。

二十二日 月 曇、午後雨、四時頃止ム。

昨日□パラオ丸入港□

今日午後二時半、山城丸入港。

午後五時、パラオ丸東向ケ出港。

田山氏、杉浦君達行クノヲ送ッテユク。花井氏モ山城デ来テ、直チニパラオニ乗リカヘタ。長官一行モ東ヘ。野口君モ。沢山ノ客ノ出入デ大変ナリ。

朝、高師ノ川島次郎氏訪ネテクル。神戸商大ノ藤本博信君訪ネテクル。

受信 鈴木俊（東高、法政）——原稿依頼——

◎(前々頁ヨリ)

南拓農場。

総面積 900 町歩。開墾面積 200 町歩。

農夫 男 110 名、家族 19 戸。

契約移民——一ヶ年満期、二ヶ年満期、

コレハ沖縄県人ニテ、渡航費貸付、90 人。

内地人三名、木挽三名、大工四名、

自由移民。(小作移民ハナシ)

現在パイン畑 110 町歩。

台湾ヨリ入レシスムース 400000 本、六分トマリ。

此ノ外、バナナ、タビオカ、パパイヤ、ジュート

陸稲、30 町歩、蔬菜 3 町歩、

禿山ニハ富貴豆、モンゴヲ植エテ、肥料トス。開墾 町当総費 400<sup>円</sup>

人夫賃八月 70<sup>円</sup>ニテ賞与 80<sup>円</sup>。

(熱帯繊維(会社)ハ東洋紡績ト南拓トニテ出資)

(大和村、熱帯農産ハ明菜系)

◎六月二十七日。

八時頃ヨリ二時間程、<sup>〔頼一〕</sup>馬越、<sup>〔新吉〕</sup>谷口技師ニ案内サレテ場内見学、小雨。午後昼寝、散歩。

夜、馬越技師ヲ訪問。

熱産、1400 町歩。現在 40 町歩。

水稻，年三回，苗十五日。

陸稻，百日—百二十日。

シトロネラ香草

ギニヤグラス牧草

バニラ。(一疋 25<sup>円</sup>—15<sup>円</sup>)

ランブータン，

ベニノ木

カカオ，自然発酵，後バタヲトリシカスガ，チョコレート。

丁香。蕾（サキカケ）ヲカゲボシ。

ペパー，赤クナリシ頃トリ，乾燥，1 ピルク 180<sup>円</sup>。

外皮ヲトッテ乾燥シタルモノガ白コシヨーナリ。

◎六月二十八日。

七時半発—拓殖練習生ノ一行ト共ニ。

八時過ギ南拓農場。

十時十分前，林業研究所。

一マハリ造林地ヲ見ル。

ココヤシ。サゴヤシ。サトー□ヤシ。キングヤシ。バルサ。マホガニー。タガヤサン。  
(白檀) タマナ。ウカルル。カボック。パラゴム。カカオ。コーヒー。ペパー。パナマ  
草。セロニ。イラギリン(香木) 油欄。

一時十五分，林業研究所発。約一時間ニテ瑞穂村指導所着。話ヲキキ，花井氏ハ村ヲ見ニ，自分ハ駐在巡査ノ所ニ明日ノオクルアウドイド行キノコトヲ話シニ行ク。

帰レバ学校ノ坂口サン<sup>253)</sup>来リ，一緒ニ学校ニ行キタ方マデ話シコミ，坂口サンノ所ニ行ッテバス。農民ノ斎藤氏ノ家ニ宿ル。

瑞穂村

昭和二年ニ，月給ヅキ試験移民四家族入レリ。初期ニハ特ニ無資本者ノミナリシカバ，薪炭ニノミ手ヲツケテ，農事ニ手ガ届カザリシ。

十三年九月ニ指導所開設。

農事組合，製綿機，製米機設備，

三月調。

戸数 69 戸。337 人。

コロールヨリノ人夫カセギ，十数戸 100 人。

沖繩 10 戸，和歌山 10 戸，山形 14 戸，北海道 8 戸，小笠原八丈 6 戸，愛知 2 戸，朝鮮

2戸、三重2戸、静岡2戸、神奈川、埼玉、鹿児島、<sup>[ママ]</sup>茨木、宮城、樺太各1戸。

総面積 380町歩、未開148町、

パイン72町歩、キャッサバ26町歩、休地73町歩、蔬菜37町歩、其他24町歩。

3年、1戸入。五年2戸。六年5戸。七年5戸。八年4戸。九年3戸。十年3戸。十一年11戸。十二年17戸。十三年2戸。十四年14戸。

二十三日 火 晴、雲多シ。

夜、高崎サンヲ駄語ニツレテ行ク。後、宮川君トヤブ。ヤブデ牧野君、菅君ト一緒、別レテ赤道、剛サン来ル。パレス、菅君一人。遅ク菅君ヲ送ッテヤル。山田君、落合君ヲオコシテ来テ、三時半迄。

二十四日 水 曇、午後カラ雨ニナリ、夜ニ入りテハゲシ。

明日ノ山城デ舟木サンノ皆ガ帰ルノデ、夜、興発倶楽部ヘ行ク。本日サンノ奥サン、酒泉サンノ奥サンガ来ル。

二十五日 木 晴、午後ト夜ト小驟雨、

二十六日 金 晴、

山城丸正午出港、舟木サン一家ガ引上ゲラレルノデ行ッテクル。島民内地観光団ニツ(海浅)イテ浅湯浅君、栗山君行ク。

テルオ チャンノ誕生日デ招カレテ居タノデ、アラカベサンニ行ク。中村サンノ奥サン、リクチャン、トキチャン、ソレニ小山氏夫妻、九時過ギ自動車デ送ッテモラフ。

二十七日 土 晴、

午後、アラカベサン、新ラシイ浮彫。

夜、一人デ蓄音機ヲカケル。SchubertノSymphony No.8 in B minor s mor allegro moderato, 2mor, andante con moto. 三枚裏表。

第一楽章ガ大変イイ。十一時半ニナッテ、晴サン帰ッテ来、ソレカラオ茶。一時迄喋ッテ居ル。

二十八日 日曜日 晴、午後二時間程小雨、夜遅ク、又雨ニナル。

彫物。九時車デ帰ル。途、本日サンノ所ニ花ヲモッテ寄ル。

二十九日 月 晴、

ときわニテ山羊ノスキヤキ会。

三十日 火 晴,  
夜, 北村君, 大平君達トノム。

三十一日 水 晴, 昼二時間程雨アリ。  
パラオ丸, 表ヨリ入港。衆議院ノ議員達ノ案内ヲタノマレ, 南洋神社, アバイ, 物陳  
ニ行ク。

日日モ日日日の日の上

日 = モリ?                      晦日 = ツゴモリ  
一日 = ツイタチ                六日 = ムユカ  
七日 = ナスカ                  八日 = ヨオカ  
日下 = クサカ

---


$$\frac{0 - 3^2}{0.5 + 0.5 \times 4} \quad \text{ヲ読メト。}$$

日ク「五分ト五分トデシカケタ上ハ引クニ引カレヌ身ノ事情」

共ニ吉村君ノ提案ナリ。豈閑人ナラズトセンヤ。

## 八月一

一日 木 晴, 夕方一寸雨アリ。

夜, 野村大将ノ所へ招カレ, 南洋ノ土人ノ話ヲシテ貫ヒ度イトノ事ダッタノデ, 地方  
課長ト府立高等ノ校長 阿部氏ヲ長官邸ニ誘ッテ, 南拓理事舎宅ニ行ク。野村大将一行四  
人ト北岡理事ト, 高橋武官デ, 八名デ晚餐, 雑談, 十時ニ辞ス。

二日 金 朝カラ真暗ダッタガ八時ニハ雨ニナリ, 昼迄ヤマズ, 午後ヤミシモ ドンヨ  
リト暗クヒヨヒヨト冷タシ。

九時, サイパン丸<sup>〔輪〕</sup>出行。野村大将一行, 衆議員一行, 阿部校長, 皆帰ル。徳村君パガ  
ンへ出張。

三日 土 晴,  
用事ガアッテ午後迄役所ニ出タガ, 三時半ノバスデアラカベサンニ行カウトシテ, 南

賢ノ所マデ来ルト、静子サンニ逢フ。バスガ来ナイノデ尋ネルト、三時ニナツタ由デ、次ハ四時半ト云フ。静子サント自動車デ行ク。

彫刻、夜、清サント高松君、武田君ト鯉船ノブイ迄釣りニ行ク。スナクチノ類ガ九尾釣レタ。清サンガ六尾、高松君ガ二尾、武田君ガ一尾、五郎サンガ五尾。

四日 日曜日 朝ノウチ晴レテ居タガ、昼カラノベツマクナシニ降ル。夜止ム。彫物、夜皆ハ又釣りニ出タノデ、八時過ギ車デ帰ル。

五日 月 晴、間モナク雨、午後二時頃止ム。夜又一寸。役所ノカヘリ齒医者ニ行キ、松野君ノ所ニ行ク。後更ニ野元氏ノ所ニ行キ、八時頃帰ル。

受信 太平洋。オール女性。

発信 平野義太郎、

六日 火 朝一寸雨、曇晴。

朝、チェリボン丸入港、西西己ガ役所ニ訪ネテクル。二十年ブリデアフ。

夜、堀、北村、近藤君等ト飲ミニ行ツタラ、アラカベサンノ連中、本日サン、山本、森田君等ト西ガ来タノデ、一緒ニナル。

七日 水 久々ニテヨク晴ル、無風、新月、

高<sup>橋</sup>崎武官ヨリ、神戸ノ学生新聞カラ来テ居ル二人ノ学生ニ逢ッテヤツテクレト依頼サレ、夜、大平君ト一<sup>緒ニ脱カ</sup>広橋旅館ニ二人ヲ訪ネル。

<sup>欄外に記す</sup>  
[受信 田村 清、大和 隆]

八日 木 晴、曇リギミ。無風、夜遅ク雨アリ。

夕方、藤井院長ヲ訪ネ、夕食ヲ馳走ニナリ。夜、奥サントシゲ子サント二葉屋ニ蓄音器ノ新譜発表ヲ聴キニユク。

九日 金 夜明前ヒト□イ雨風ガキチガヒノ様、朝ト一緒ニ止ンデ後天気ヨクナル。

夜、近藤、北村君ガ誘ヒニ来テ、オデンヤ、ツルノヤ、パレスニ行キ、菅ノ酔ヒツブレヲ南進寮マデトドケテヤル。

部長ガ内地ニ帰ツタ時、博物館案ヲ十八年度マデトメラレテクルシ、地方費デ出ス話ガ<sup>ママ</sup>熱産ヲ裁判所ニトラレテ、元モ子モナクナル。

十日 土 夜明前雨，朝一寸止ミシモ又雨トナリ。午後止ミシモ曇ッテアヤシク，時々，パラパラト雨来ル。

午後，アラカベサン，彫刻，一ツ出来上リ，新ラシイノニカカル。晴サン，アメーバノ如ク，元気ナシ。大久保宣教師アリ。

十一□日 日曜日 朝天気ヨカリシモ又漸次雲多ク，夕方ヨリ夜ニカケテ二度三度雨。彫刻。

本日サン一家，野村君来。奥サンハホットケーキ練習，本日サント野村君ハ園。

午後，陸夫サン，小山サン来テマーヂャン。

夜十時，半月オボロナレド風ダッテ雨ガナクナッテ居タノデ，三人デ プラプラ 歩イテ帰ル。

一向オモシロイ日記モナイ。コンナ日記ナラツケナイ方ガイイノダガ，止メタラドコマデ止メテシマフカワカラナイカラ。無理ヤリニ。

十二日 月 晴，夜ニ入りテ一寸雨アリ。昼モ一寸。

十三日 火 晴，雲多ク西風吹き，朝ト午後ト暫ク雨アリ。

午後，物陳ニ行き，土器ノノート。

夜，プラプラ散歩。

十四日 水 曇，小雨アリ。

午後0時半，<sup>(江)</sup>近海丸入港。清サン来ル。三時一緒ニ南貿ニ行き，ソノママ車デアアラカベサンヘ行ク。夕方迄彫刻。

夜又雨来ル。高松君ト三人デトランプ。十五年ブリナランカ。

十五日 木 嵐ノヨウナ西風，終日ドンヨリシテ，時々気チガヒノヨウナ雨。

八時半ノバスデ真直グ役所へ出ル。九時頃カラ十一時半迄ヒドク背中ガ痛イ。カヘリ田沼サンガ来テフトンノキレヲ持ッテ行ク。高崎サンガ来テ本ヲモッテ行ク。

夜，西尾君ガ来テ十時前マデ話シテ行ク。役所ニ矢崎牧広君ト云フ画家<sup>254)</sup>ガ来ル。部長ノ所ニ紹介ヲモッテ来タトカデ，世話ヲタノマレル。

受信 赤松俊子

十六日 金 終日西風，雨降ッたり止ンダリ。

役所ニ，先日来タ殿木栄一郎君（慶応経済生）来ル。ソレカラ吉村正君（慶大医科生）来ル。

十七日 土 晴，曇，相半，朝早く雨アリ。

役所ニ拓大生ノ河崎兵衛君ト云フ人訪ネテ来ル。高松君ガ来ル。西尾君ガ来ル。ソレカラ慈恵医大ノ黒田孝治君ト云フ人来ル。

□□<sup>午後</sup>朝パラオ丸東ヨリ来リ。長官一行帰ル。

報知ノ山本忠次君訪ネテ来ル。野口君帰ッテ来ル。午後五時パラオ丸出ルノデ，佐伯巖サンヲ送りニ行ク。山本君モコレデ行ク。細淵君モ休暇デカヘル。

夕方，永田氏ノ処ヘ行ク。夕食ヲ馳走ニナル。

後，八時半頃アツマヤニ西尾君ヲタツネル。

十八日 日曜日 曇，晴，

朝早くアラカバサンニ行ッたら，既ニ西尾氏ガ来テ居ル。下デ暫ク話シテ朝食ニ上ッテ来ルト，昨日ノ河崎君ト高崎サンガ来ル。待ッテ居テ貰ッテ食事ヲスマセ，皆デ下ニオリテ仕事ヲシナガラ話シテ居ルト，九時ノバスデ山内君ガ南賀ノ女店員一団ヲツレテ来ル。西尾君，河崎君達ハ十一時ニ帰ッテ行ク。南賀ノ連中ハ昼過ギニ帰ッテ行ク。夕方迄仕事。

夜ハ高松君，小山君ガ来テ九時半迄話シテ帰ッテクル。雲アレド十五夜ノ月明ルシ。

発信 田村清，

午後四時，近海丸<sup>(江)</sup>出港。

十九日 月 曇，

役所ニ，慶大経済部ノ学生，高崎洋一君，斎藤友良君，訪ネテ来ル。

(欄外に記す)  
[a Mdūū]

今，村デハ盛ニパンノ実ガアル。

二十日 火 晴，夕方ヨリ□雨トナル。

停電。

二十一日 水 夜明前ヒドイ雨，午後止ンデ晴レル。

夜，菅君来ル。一緒ニ散歩。Maria, Baüldong, □Ebilülik ニアヒ，明後日ノ夕方，食事ヲ用意シテ貰フ様タノンデ来ル。

二十二日 木 又々雨ヒドク降ッたり止ンダリ，モウ毎日毎日ノコトデイヤニナル。西風ガ吹キツツケル。

夕方，田沼サンガパントキウリヲモッテ来テクレル。

発信 赤松俊子，柴山一同，宇津秀男，

二十三日 金 曇, 雨少シ。

昼過ぎ清サンガ来ル。一緒ニアラカベサンニ行カウト云フガ, 夜, 島民料理二人ヲ呼ンデアッタノデ, 夜行クコトニスル。

夕方, 飯田君, 菅君, 高崎サンヲツレテ Obeketel ニ行ク。実ハ慶応ノ学生ニ島民食ヲ食ベサセル約束ヲシタノダガ, 学生達ハアンガウルニ行ッテシマツテ留守ダッタノデ, 飯田君達ヲ誘ッタノダッタ。田沼サンモ一寸オクレテ来ル。

鶏ノ丸蒸シト魚ノ燻製ト, パンノ実ノ焼イタノト餅ト, クカウトブルシーユク<sup>o</sup>トビル ルムト パイニアップルト バナナト パイヤト。

八時過ぎ引上げ, 自動車デアラカベサンニ行ク。コーヒーヲ飲ンダリシテ遅クナツテカラ, 明日持ッテ行クパンヲ焼イテ貰ッタリシテ, 一時半就寝。

受信 中沢英子,

二十九日 水 晴,

停電シテシマツテ何モスルコトガ出来ナイノデ, 早く寝テシマフ。

吉村君ガ terrid ヲ取ッテ来テクレタノデ, 熟生ニモツテ行ッテ, 和田サンニハクセイニシテ貰フ様ニ頼ンデ来ル。

山城丸入港。

三十日 金 晴,

受信 金子九平次, 泉井久之助, 伊沢紀, 赤松俊子, 土方久顕,

染木煦, 民族学研究第六卷, 第二号(昭和 15.7) 抜刷, 「石貨島土俗断片」

「宝塚少女歌劇脚本集」25 卷 8 号, 「歌劇」八月 245 号,

三十一日 土 晴,

午後, アラカベサンニ行キシモ, 背中痛ミテ寝テシマフ。夕方, 前ノ彫刻ノ色ヅケダケスル。

夜, 佐伯サント Pauder bisquito, sponge cake ヲヤイテ, 十二時前マデカカッテシマフ。

[1 頁白紙]

## 九月

一日 日曜日 晴, 興亞奉公日, 震災紀念日,

彫刻。五郎サン夫婦来ル。

奥サンノ誕生日デ、夕方、陸夫サンノ所ノ親子皆来テ賑ヤカナ晚餐、皆ハソレカラ釣ニ出ル。

十時半、車デ帰ル。

二日 月 晴、

七時半ヨリ役所ニテ、興垂奉公日朝礼、長官訓示。

午後、宝塚ノ宇津君ノ紹介ヲモッテ、貫井博ト云フ人訪ネ来ル。

夕方、田沼サンガ布団ヲ作ッテ来テクレル。

夜、熱生ノ和田サンガ今度来タ人ヲツレテ、Terrid ノハクセイヲモッテ来テクレル。皆デ散歩、パレスニー寸、菅君ニアフ。

三日 火 晴、午後驟雨アリ、

貫井氏、昼前役所ニ訪ネテ来ル。夕方、佐伯サン誘ッテホテルへ来テクレト。清サンノ所へ電話セシモ、中村サンノ所ノ誕生祝ヒニ皆デ招カレテル由デ、夕方独リデホテルニ行ク。食後九時迄話シテ帰ル。今日ハホテルデ上條氏<sup>255)</sup>ノ表南洋ノ話ノ会アリ。二十五人集マレリ。

四日 水 晴、西風

防空演習、午後0時十分空襲警報、

午後三時四十分、ト六時十分ト、九時三十五分、警報解除マデ皆役所ニ詰メテ居ル。

五日 木 晴、

午後二時四十分、飛行場カラ、最初ノ島内線ノ帰航機<sup>〔歌〕</sup>ノ観迎式ノ招待ガ来テ居タノデ行ッテクル。

六日 金 晴、

夜、北村、近藤、梶谷君等ト遅クマデ飲ンデシマフ。

七日 土 晴、

明日カラ又防空演習デ、シカモ今夜十二時カラ明方四時頃ノ割当ニアタッテ居ルノデ、アラカベサンニ行クコトガ出来ナイ。寝不足ナノデ昼寝シタラ、四時迄モ寝テシマフ。日暮レテ一寸買物ニ出、南賀デ高松、山内君ニ逢ッテ、九時半過ギテ就寝シタガ、眠ッタノ八十時半ニモナッテ居タラウ。

八日 日曜日 晴,

十二時、警戒警報デ起キテ直チニ役所ニ行ク。四時、交代者が来ルト一緒ニ空襲警報。六時、歩イテアラカベサンニ行ク。清サンノ所ガアラカベサンノ本部ニナツテ居ルノデ、ココニモ沢山ノ人々ガ交代デ詰メテ居ル。

食事後昼寝、午後、内務部長、地方課長が見マハリニ来ル。四時帰ツテクル。六時役所ニ行ク。八時交代、野口君、蓮香君ト街ヲ歩イテミ、ソバラ食ベテ寝<sup>(ママ)</sup>ツテ、暗闇デ風呂ヲアビテ、十時半頃寝ル。

九日 月 晴

空襲サイレンニ飛起キテ役所ニ行ク。零時五十分デアル。一時間バカリテ解除。

午後三時、朝日新聞ノ菊地君来、一緒ニ街ニ出、Mariaヲサガシタガ居ズ、Tadongノ所ニ行ツテ土産物ヲタノンデ来ル。一所ニホテルニ行ク。等々力君、中村君等ト皆デ鶏鍋デ夕食、九時ニ帰ツテ寝ル。

十日 火 晴、午後曇リギミ、

昨夜ハ空襲警報ナシ。

役所ニ三時頃、菊池君来ル。

四時空襲警報、六時前ニ開散セシモ、警報ノ解除セラレシハ七時四十分ナリ。

田沼サン、高崎サン、藤本サン、パンノ実ヲ食ベニ来ル。Terekedヨリパンノ実、バナナ、ソコル貝ヲ届ケ来シナリ。

毎晩真暗デ何モ出来ズ。seselüh arengūh、物陳拡張ニ就キ、拓殖部長、商工課長、吉本君等ヨリ、課長ト自分トニ相談アリ。

十一日 水 曇、晴、

役所ニ矢崎氏来ル。マルキョクニ行ツテ居タ由、生駒丸デヤップニ行ク由。

菊池君来ル。三時半、防空訓練。

家人君ト街ノ方ニ出ル。マリヤヲ探シタルモ居ズ。

夜、宮川、桜井君ト、ヤブ、パレス。

受信 サイパン便 河崎兵衛、

発信 土方久顕、杉浦健一、倉橋弥一、

(航空便) 大和 隆、中沢英子、鈴木俊 (サテワヌ島ニ於ル養育ト性的秩序)

十二日 木 曇、晴、夜雨アリ。

物□陳陳列変ヘニツイテ、会談、拓殖部長、熱産所長、試験場長、田村技師、桜井技師、山本氏、吉本氏等ト物陳ニ行ク。物陳ニテ中食、午後、吉本君ト図書室ニ行キ、復<sup>(親)</sup>

写スベキ写真ヲ撰ブ。

背中、胃痛ミテ堪エズ、四時帰ルトスグ寝テシマフ。

十三日 金 晴、夜明前雨アリ、午後驟雨アリ。

ヤップノ九鬼サンカラ紹介ヲモツテ、水野ト云フ画カキサンガ訪ネテ来ル。丁度菊池君モ来タノデ、一緒ニアバイニ行き、Kim ニ行き、本島カラ来テ居タ Hohop ト云フ娘ニ Heriūt ヲシメサセテ写真ヲトラセル。中食シテ水野氏ト別レテ役所へ。午後四時二十分、空襲サイレンニテ集リ、後今度ノ防空演習ノ公評ニテ、演習終了。

生駒丸、朝入港、栗山君帰ツテクル。今日、本庁、支庁人事大異同<sup>(動)</sup>アリ、林サンハトラック庶務係長ニナル。

受信 三沢寛

十四日 土 晴、午後三時半頃ヨリ、雨アリ、夕方ヤミシモ、十時ニヒドイスコールト風アリ。

朝、外ヨリ山城入港、貴族□院団来島。貫井氏ヨリ、晚六時半ホテルへ招カル。

十時前、伊原□技師ヨリ、放送協会ノ石村企画課長外一人□ノ案内ヲタノマレ、バイニ行き、アルミヅ部落、南洋神社ニ行キテ一時前帰ル。午後□二時半、貴族院団案内ノ為、物陳ニ行ク。土俗品説明、後水産試験場ニ行き、アバイニ行き、前田利為侯<sup>256)</sup>、特ニウドウドヲ見タキ旨ニテ、支庁長ト Hērang ニ案内シテ ūdoūd ヲ見、二個貫ヒ、ソレヨリ町ノ土産屋ニ引カヘシ、島民ヘノ礼物ヲモツテ再ビ Hērang ニ行き、夕方六時ホテルニ全行、貫井氏ト夕食。興発ノ貫井氏ノ知人ト共ニ会談。八時半過ギテ一寸宿迄カヘリ、ūdoūd ヲモチテホテルニ引キカヘス。議員団、九時半ニナリテ長官邸ヨリ帰リ来ル。溝口直亮伯<sup>257)</sup>、前田□侯ト三十分程 ūdoūd、トンボー玉ニ就イテ話シ、三個□所望ニヨリ進呈シテ十時過ぎ辞ス、雨ハゲシ。間モナク雷鳴アリテ止ム。

自動車ヲ降りテ、a Ibedūil ノ家ニ行カウトスル所デ、—— 一団カラハナレテ二人デ肩ヲ並ベタノデ、私ハ「若シヤ覚エテオイデデショウカ。私ハ久路ノ子デ御座イマス」ト前田侯ニ云ツタ。スルト前田侯ハ、久路サント云フト」ト問ヒカヘサレタノデ、土方久路デスト云フト、「アア土方サンガアナタノオ父サンデシタカ、数学ガ大変ニヨク出来ル方デシタネ」ト云ハレタ。

ホテルデ待ツテ居ルト、九時半ニナツテ貴族院ノ一団ガ帰ツテ来タガ、一番先キニ前田侯ト溝口伯トガ並ンデ入ッテ来ラレタガ、前田侯ハ玄関先キカラ「土方サンガ見エテ居ルカネ」ト云ツテ入ッテ来ラレタ。ソシテ□真直グニ私ノ方ニ来ラレテ、私ノ左側ニ椅子ヲトラレタ。ソシテツヅイテ溝口伯ガ私ノ右側ニ椅子ヲトラレタガ、溝口伯ハ椅子ニ腰カケナガラ、「アナタガ□久路サンノ息子サンダサウデスネ、私ハ久路サンノ亡ナルスグ前ニ、茅ヶ崎ニオ尋ネシタノデシタガ」ト云ハレタ。私ハ「有ガタウ御座イマス

タ」トオ答ヘシタガ、コンナ風ニシテ、私ハ今日ノウチニクリカヘシテ、亡クナッタ父ヲ思ヒ出サウトハ思ハナカッタ。実ハソノクセ、此ノ貴族員<sup>[ママ]</sup>ノ一団ノ顔ブレヲ知ツタ時ニ、父ノコトヲ思ヒ出シ、ズット思ヒツツケテ居タノダガ。実ハ此ノ十一日ガ父ノ命日ダッタ。ソシテ朝カラ父ノコトヲ思ヒ出シテ居タノダガ、何ヲ書キトメルコトモナイヤウナ氣ガシテ、何モ書カナッタ。今ココニ、又斯ウシテ□父ヲ思ヒカヘシテ居ルコトヲ書キトメルコトヲ、幸ニ思ハズニハイラレナイ。

先月一日ニ野村大将ニ招カレテ南拓ノ理事舎宅ニ行ツタ時、野村大将ハ「私が若イ時独逸へ留□学スル時、同船シタ、土方久路サント云フ陸軍ノ人が居ラレタガ」ト云ハレタノデ、私ノ父デスト答ヘルト、「サウデシタカ、イヤエライ頭ノエエ人デ、語学ハ余程得意ノヤウダッタ。船ノ中デ薄ッペラナ会話ノ本ナドヲバラバラ見エ居テハ、上陸スル所々デ、兎モ角スグニ其処ノ言葉ヲペラペラ喋ッテ用ヲタシテ来ルノ□ニハ驚イタ。アンタモ南洋ノ言葉ヲ上手ニ喋ルソウダガ、道ニオ父サンノ子ダナ」ト云ハレタ。私ハソレガ本当ナラバ、ドンナニモットモット幸セダカ知レナイノダガ、父トハ似テモツカナイ<sup>[貧]</sup>乏弱ナ語学ナノダ。只父ガ私達ガ小サナ時カラムヅカシイ独逸語ノ音ヤ、支那語ノ音ヤ抑揚ヲ言ハセタリシタノデ、発音ニ就イテダケハ随分細カイ所迄氣ニナルノダ。ソ□□ンナコトハ兎モ角、ソシテ野村大将ハ「アンタハ久路サンノ子供サンカ□、ソレヂヤ俺ハアンタノオ父サン程ナモノダ、アハハハ」トソツテ笑ハレタ。□□□亡クナッタ父ノ小サナ思出ニ、コレダケ記シテオク。

十五日 日曜日 朝雨風、後止ミシモ終日ドンヨリトシテ、時々雨アリ、風アリ、夜モ亦全ジ様ニ雨、風アリ、

朝カラ、アラカベサンニ行クツモリダッタガ、ヒドク□雨が降ッテ来タノデ、止メテシマッテ、グツグツシテ居たら、十時頃ニナッテ大平君ト伊部君トガ来ル。高松君、山内君等ガアラカベサンニ行カウト誘ヒニ来タガ、断ル。天氣ハ悪ク、寒ク、昼頃カラ背中ガ痛ンダガ、油絵ヲ出シテ画ク。三時過ギニナッテ、前田侯カラ使ガ来テ、村ニ行ッテモ一度 ūdoūd ヲ見セテ貰ヒ度イトノ事ダッタノデ行ク。オ土産屋ヲアサリ、Mariyūdノ所ニ行キシモ変ッタ ūdoūd モナシ。

五時前別レテ帰ラウトスルト、栗山君、中村君ニ逢ヒ、一緒ニ宿ニ来ル。三十分程シテ中村君ハ帰り、栗山君モ六時□半過ギニハ帰ッテユク。ソレカラ背中ガ益々痛クナル。入レカハッテ高松君ガ来ル。八時前ニ帰ッタノデ、床ヲノベテ久シブリニ湯タンボヲ入レル。氣持ガ悪クナル程背中ガ痛イノダ。ヤット痛ミガウスライデウトウトシカケたら、十時<sup>半</sup>□ニ剛サンガヤッテ来ル。

又雨ト風ガ来ル。背中ガ痛ム。

十六日 月 晴，夜月ヨシ，

ドウニカ天候回復，朝ノウチマダ背中痛ミシモ，漸次ヨシ。

昼前ニナツテ貫井君カラ電話。午後來ル由ナリシカバ，アラカベサンニ電話シテ，二時ニ物陳ニ来テ貰フコトニスル。

□二時頃貫井氏来，部長ニ面会后，一緒ニ物陳ニ行ク。佐伯サント高松君ト来テ居ル。吉本君イクラ待ツテモ来ズ，皆デ車ヲヨンデアラカベサンニ行ク。

四時半過ギテ役所ニ電話シタラ会議ガ済ンダバカリデ，吉本君ハ今カラ物陳ニ行ク所トノ事，又車ヲ呼ンデ物陳ニ行ク。六時頃帰ル。

十七日 火 晴，夜月明ルシ。

夕食後，安達サンノ所ニ一寸行ク。玉枝ガ帰ツテカラ一度モユックリ逢ハナカッタカラ。帰り Omūtilōu デ Kisaūl ニ呼ビトメラレ，Maria，Baūldong ト一緒ニ出テクル。皆ハ和田サンノ所ヘ。

玉枝ガモツテ来テ居タモノ，楽譜。

綾チャンカラ手紙ニソヘテ，シャツ。

英子サンカラ，アルコール・ランプトシャツ。

十八日 水 晴，暑，

役所ノカヘリ，テニスヲ習ツテミヨウト云フノデ，家入君，高崎君ト行ツタガ，人ガ多勢デ初心ノ者ナド入ル所ガナイ。

夜，落合君ガ来テ帰ルト，和田サンガ来ル。一緒ニ町ヲマハリシテクル。

発信 小倉綾子，赤松俊子，

十九日 木 晴，暑，

生駒，出港。

発信 中沢英子，三沢寛，

役所ノカヘリ，栗山君来テ風呂ニ入ツテ行ク。入チガヒニ高松君来ル。ヂキカヘル。

七時ニ和田サンガ来ル。九時前ニナツテ永田サンノ奥サンガ，島民料理ガアルカラ食ベニ来イト誘ヒニ出ル。和田サント二人デ行ク。十時過ギ辞シテ，和田サント少シ歩イテ，和田サンノ所，南洋真珠ノ宿舍ニ行ク。蓄音器ヲキイテ，ラケットヲカリテ，十二時前帰ツテクル。

役所ニ清サン，陸男サン来ル。貫井君来ル。

二十日 金 夜明前カラ雨，終日曇，時々小雨。

二十一日 土 晴，

午後，アラカベサンへ。彫刻板。

夜八時頃ニナッテ晴サン帰ル。十一時迄蓄音器ナドカケテ喋ッテ居ル。

二十二日 日曜日 曇，晴，夜パラパラ雨アリ。

夜，晴サン，小山サン夫婦，高松君ト釣りニ出ル。一向食ハズ。十時頃雨パラパラ来タノデ引上ゲル。

二十三日 月 曇，夜ヒドイスコールアリ，何回モ，

清サン鳥勢調査ノ下調べ忙ガシ。

彫物。

四時ニオ茶，五時ノバスデ帰り。一寸宿デ髯ダケ剃ッテ南洋ホテルへ。林サン，藤本君ノ送別会ナリ。停電ニテ二次会取ヤメ。課長ト林サント，野口君ト，女ノ人達三人ト金寿司ニ行キ，十時過ギ雨ノ止ミ間ニカヘル。

二十四日 火 曇，何回カ雨。<sup>夜</sup>□昨夜ヒドイ雨風，今日モ午前中雷雨ハゲシカリシモ直キヤム，

〔発信〕 河崎兵衛，

午後二時過ギ貫井君来シモ，会議ノ済ムノヲマッテ部長ニアフトテ，四時過ギマデ待ちシモ，ヤッ□ト終リ一寸逢ヒシノミ。ソノママ一緒ニホテルへ。丁度，熱産ノ所長，馬越技師，吉本君，小林君等ト一緒ニナル。九時ニ車デ帰ル。

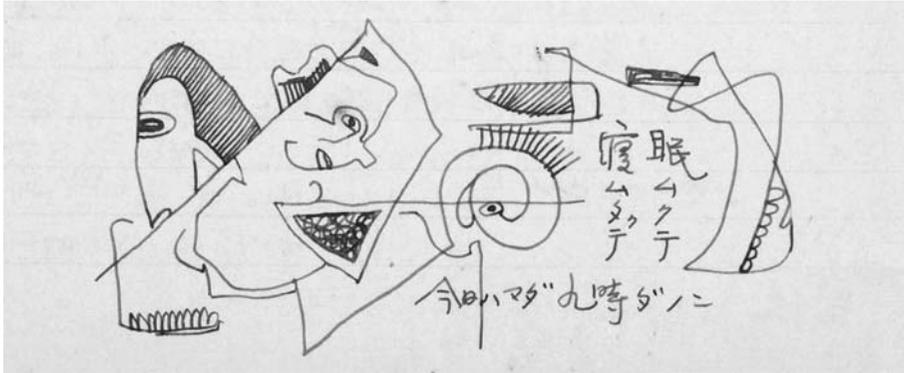
二十五日 水 終日ヒドイ雨が降ッたり止ンダリ。

昼前，貫井君ガ一寸来ル。

午後三時カラ博覧会ノ打合ハセ会ニ招カレテ居タノデ，野村君，徳村君ト一緒ニ行ク。新聞社側ト全部デ三十人程モ集ッタ。五時過ギ<sup>ママ</sup>開散。

昨日ノ天城デ中村君帰り来リ。飛行機デ高橋サン□帰ッテ来ル。

〔受信〕 英子，殿木栄一郎，金子九平次，



二十六日 木 曇，風強ク時々雨アリ。

役所ノカヘリ，田沼君ト街ニ買物，ミルクガナクテ街中サガシマハツテ居タラ，五郎サンニ逢ヒ，ラクトーゲンヲワケテ貰ツテクル。オ茶菓子ヲ買ツテ，田沼君ノ所ニ寄りオ茶ヲノンデクル。

五島商事ニサラサラ見ニ行ツタガ，上物バカリ。永田サンノ子供達ガツイテ来ル。送ツテ永田サンノ所マデ行ク。

二十七日 金 晴，

昼，野村君，徳村君トパレスニ行ク。<sup>(船)</sup>陸男サン，武田君等ト一緒ニナル。

夕方，栗山君来ル。高崎君来ル。後，剛サン来テ九時半頃カヘル。家ヲ出ルト北村君ニアヒ，一緒ニヤブニ行キ，パレスニ行クト，貫井君，清サン，小櫛サンガ来テ居ル。実ハ夕方ホテルニ呼バレテ居タノヲ断ツテヤッタノガ，マタココデブツカッタノダ。ソレカラ住友君ガ来テ居ル。熱帯生物ノ阿戸田君<sup>(川)</sup>，榎並君，時岡君ガ来テ居ル。十二時，熱生ノ連中ドヤドヤト宿ニ寄り，二時前マデ話シテ行ク。

二十八日 土 晴，

天城丸出テ行ク。貫井君，ヤブニ行ク。

午後，アラカベサン。背中痛クテ，仕事ハカドラズ。

夜ハ痛ミナク，清サン，高松君トトランプ。

二十九日 日曜日 晴，快イ程ノ風，

終日仕事ハカドル。夜九時半歩イテ帰ル。

三十日 月 晴, 暑,

夜, 和田サンガ来タガ, 電気が消エテシマッタノデ, プラプラ出テ Omūtilōū ニ行ク。  
Kisaūl ト Baūdong トアリ。パンノ実ヲ食ベテ居タラ電気が来ル。後, EBiltūlik ガ来,  
Maria ガ帰ッテクル。十一時過ギテ帰ル。

〔一頁白紙〕

## 十月

一日 火 興亜奉公日,

朝カラ終日小雨降ツタリ止ンダリ, 夕方カラ烈シイ雨。

雨がパラパラ来タノデ, 国旗掲揚式ナク, 会議室デ長官訓示。

午後, 課内会議。

午後, ヒドク痛ミ来テタヘズ, 四時帰りシママ臥床。

二日 水 昨夜ヨリヒドイ風, 終日, 殆ト降り続ケル。

午後, 奥野氏ト云フ人ノ案内ヲタノマレ, 車ヲ南拓理事舎宅ヘ迎ヘニ行キ, 物陳, 水産試験所, 熟生ヲ案内スル。天気悪ク, 寒ク, 腹背中サツパリセズ, 鈍痛アリ早<sup>床</sup>□寝ス。

三日 木 低気圧過ギテ晴レル。

堀君ガ早々ト役所ヲヤメテ, 又早々ト新聞社ニ入ッタトテ, 北村君ト三人デ出カケル。  
広瀬君, 稲田君ト一緒ニナツテ——後, 堀君ト Maria ノ所ニ行ク。Kisaūl ガ居タシ, 和田サンガ来テ居タシ, Sumang ト Tulik モ来ル。

四日 金 晴,

五日 土 晴, 夜雨アリ。

午後, アラカベサン。夜ハ本社ノモノ多勢来テ麻雀。コチラハトランブ一回。

六日 日曜日 晴,

朝, 大久保牧師一寸来テ帰り。後, 五郎サンガ友達ヲツレテ来テ居ル。夜ハ皆デ釣リニ出タガ, 自分ハ九時過ギ車デ帰ル。

昨日モ今日モ, 何回トナク背中ノ痛ミガ来ル。

七日 月 晴,

夜, 堀君来, グリーンパレス, 後ヤ□ブ。

大平君来，十二時半過ギテ皆デ宿へ来ル。二時半迄。堀君宿ル。

午後一時ヨリ警察練習所へ課外講義。

八日 火 朝カラ雨ニナリ，終日降りツツケテ ヒヨヒヨ寒シ。

□午後一時ヨリ警察練習所課外講義。後，背中痛ミ帰りテ臥ス。

九日 水 ドウニカ晴，午後雨アリ。

夜，プラット小包ヲ出シ乍ラ出ル。南賀ニヨル。高松君来テル。五郎サント三人デオ茶ヲノンテ話シコンデ，九時ニ帰ッテクル。

十日 木 晴，

夜，緒方武官ヲ訪ネシモ留守，帰ルト剛サンガ来ル。後，北村君ト街ヲ公学校ノ方迄一廻リシ，帰りニ金寿司ニ行ク。

十一日 金 一天ノ雲モナク透キ通ルヨウナ高イ空，涼シ過ギル風ガ終日吹キトホス。

背中稍イタク，四時ニ帰ッテウツウツシテ居タラ，大久保牧師<sup>〔問脱カ〕</sup>ガ来，一時半モシテ帰ルト，入カハリニ徳村君ガ来ル。七時半，緒方武官ヲ訪ネ，十時頃迄喋ッテシマフ。

十二日 土 □快晴，暑，

朝早く，落合君，高崎君トテニス。

午後，アラカベサン。夜九時過ギカラ釣。

十三日 日曜日 快晴，風涼シ，

新体制祝賀旗行列，昼頃カラ本目，野村，中村，山本氏等来テ麻雀ヲヤッテ居ル。

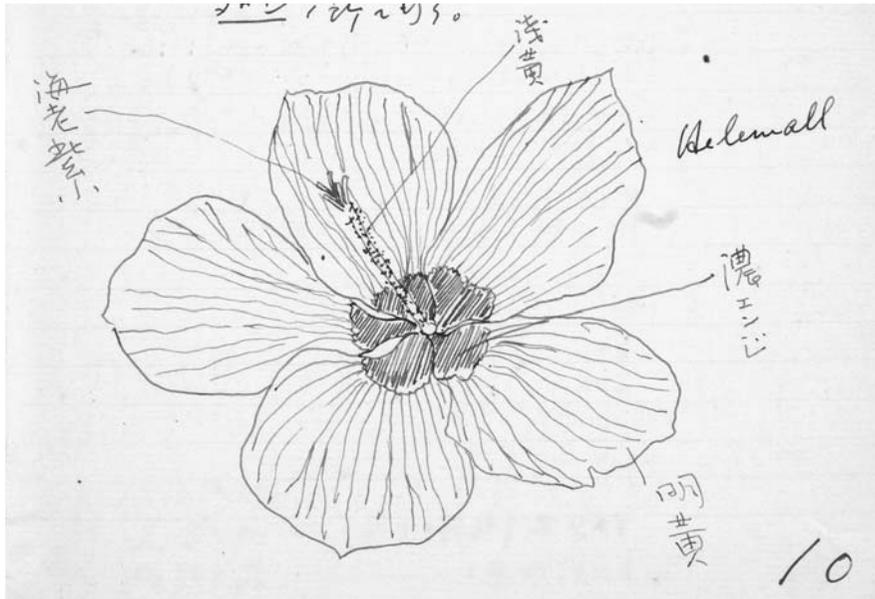
十四日 月 晴，夜バラバラ雨。風風ギテ暑シ。

夜，和田サンノ所ニ行キ，一緒ニパレスニ一寸。後オムティロウニ行ク。マリヤ一人居ル。

十五日 火 晴，風ナクテ暑シ，夜月明タトヘン方ナシ，

役所ノカヘリ，新聞社ニ入ッタ堀君ノ新居ヲタヅネ，夕食ヲ馳走ニナリ，ユックリシテ来ル。

タドンノ所ニ行ク。



パラオ丸入港（昨日），出港（今日）

林サントラックへ転勤，高橋サン東へ出張。

<sup>〔佐伯〕</sup>  
巖サン昨日飛行機デ来，今日パラオデボナペへ。

〔受信〕 菊池陽一（東京朝日），慶応望月南洋旅行隊，等々力栄（読売），西尾善積，山本忠次（報知），野村吉三郎，金井清，原田禎正（太平洋協会）  
後藤八重子，小倉綾子，前田利為，上原一郎・勝雄，下野馨，赤松俊子，中村伸康（同盟）

〔受品〕 オール女性（十月号），——竹下源作，  
拓殖大学新聞——河崎兵衛，  
写真——菊池陽一，  
アトリエ（九月・十月）——西尾善積，  
トンボウ玉——前田利為

〔1頁白紙〕

〔パラオ島民ノ親族縁族〕

杉浦健一（6），倉橋弥一，泉井久之助，平野義太郎，山口宇多子，三沢寛，田山利三郎，染木煦，島村環，伊沢紀，高橋文太郎，三吉朋十，津山尚，赤松俊子，後藤八重

子，八木長人，林茂，野口正章，川島次郎，（地方課旧慣調査），久頭，野村吉三郎，阿部高校長，金井太平洋協会，殿木栄一郎，<sup>金井新吉</sup>□□□□，榊田幸太郎，羽根田弥太，